秋田県文化財調査報告書第336集

大浦遺跡

―― 芋川災害復旧等関連緊急事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 ――

2002・3

秋田県教育委員会

大浦遺跡（おおらいせき）

—芋川災害復旧等関連緊急事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—

２００２・３

秋田県教育委員会

遺跡全景（西→）

遺跡全景（真上）

調査区東側遺構集中部（真上）

道路跡（ＳＭ343）（北西→）

序

秋田県は豊かな自然に恵まれ、その中で先人たちが育み、築き上げた歴史と文化がいろいろな形で受け継がれております。県土に刻まれた埋蔵文化財もその遺産のひとつであります。

現代に生きる私たちが、自然と調和し安全に暮らせる環境をつくる施策のひとつとして、河川改修が進められております。このたび県営芋川災害復旧関連等緊急事業の工事区域内に大浦遺跡が存在することがわかり、平成12年度に記録保存のための発掘調査を実施しました。

調査の結果、大浦遺跡は中世の集落跡であり、その前後の時期にも人々が生活していたことが判明しました。また、検出された中世の道路跡は、県内において調査例の少ない遺構です。

本報告書は、これらの調査記録をまとめたものです。本書が埋蔵文化財の保護に広く活用され、郷土の歴史と文化を研究する資料として、多くの方々に御利用いただければ幸いです。

最後に、発掘調査から本書の刊行に至るまで御協力いただきました秋田県建設交通部芋川災害復旧事務所、本荘市教育委員会ならびに関係各位に対し厚く御礼申し上げます。

平成14年３月

秋田県教育委員会

教育長　小野寺　　清

例　言

1．本書は、芋川災害復旧等関連緊急事業に伴い、平成12（2000）年度に発掘調査した本荘市大浦遺跡の発掘調査報告書である。調査の内容については、すでにその一部を埋蔵文化財センター年報などによって公表してきたが、本報告書の記載内容を正式なものとする。

2．本書に使用した地図は、国土地理院発行の５万分の１『矢島』・『本荘』・『羽後和田』および秋田県建設交通部芋川災害復旧事務所提供の１千分の１地形図である。

3．遺跡基本層位と遺構土層中の土色の表記は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修『新版　標準土色帖』1994年版によった。

4．本書に使用した空中写真は、株式会社ハイマーテック及び株式会社シン技術コンサルに撮影を委託したものである。なお、図版２－１は平成10（1998）年10月27日に撮影されたもので、芋川災害復旧事務所より提供を受けたものである。記して感謝する。

5．第５章「自然科学的分析」は株式会社パレオ・ラボに分析を委託した成果報告である。

6．本遺跡の報告書作成にあたり、以下の方々から御教示をいただいた。記して感謝申し上げる次第である。（順不同、敬称略）

安部　実（山形県立博物館学芸主査）
塩谷順耳（秋田大学教育文化学部非常勤講師）
汐見一夫（鎌倉考古学研究所）
藤澤良祐（財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター副所長）
山口博之（財団法人山形県埋蔵文化財センター調査研究員）
八重樫忠郎（平泉町教育委員会文化財センター文化財調査員）

7．本書の草稿執筆は、第１・２・６章を鈴木茂、第３章を鈴木茂、熊谷誠、第４章を栗澤光男、鈴木茂、田村瑞保が行い、編集は栗澤と鈴木が行った。

凡　例

1．遺構番号は、その種類ごとに下記の略記号、検出順に通し番号を付し、検討の結果、遺構ではないと判断したものは欠番とした。

ＳＢ・・掘立柱建物跡　ＳＡ・・柱穴列　ＳＫＰ・・柱穴様ピット　ＳＫＩ・・竪穴状遺構
ＳＥ・・・井戸跡　ＳＫ・・・土坑　ＳＮ・・・鍛冶炉跡　ＳＤ・・・溝跡
ＳＭ・・・道路跡　ＳＸ・・・その他の遺構

なお、遺構図面中に記したＰは竪穴状遺構、掘立柱建物跡に伴うピット、Ｓは礫、ＲＷは板材を示している。

2．遺跡基本層位にはローマ数字を、遺構土層には算用数字を使用した。

3．挿図中の遺物番号は、遺構内外の出土を問わず通し番号を付し、図版中の番号と対応する。

4．挿図に使用したスクリーントーンは、下記のとおりである。

地山　炭化物出土範囲　鉄滓出土範囲　焼土　上釉　磨面

目　次

序
例言
凡例
目次
表・挿図・図版目次
第１章　はじめに……1
　第１節　調査に至る経過……1
　第２節　調査要項……1
第２章　遺跡の環境……3
　第１節　遺跡の位置と立地……3
　第２節　歴史的環境……3
第３章　発掘調査の概要……12
　第１節　遺跡の概観……12
　第２節　調査区基本層位……12
　第３節　調査の方法……15
　第４節　調査の経過……16
第４章　調査の記録……18
　第１節　検出遺構……18
　　1　掘立柱建物跡……18
　　2　柱穴列……19
　　3　柱穴様ピット……30
　　4　竪穴状遺構……37
　　5　井戸跡……37
　　6　土坑……44
　　7　鍛冶炉跡……45
　　8　溝跡……46
　　9　道路跡……47
　　10　その他の遺構……47
　第２節　出土遺物……50
　　1　土師器……50
　　2　須恵器……50
　　3　陶磁器……50
　　4　木製品……50
　　5　金属製品……51
　　6　土製品……51
　　7　石製品……51
　　8　その他の遺物……52
第５章　自然科学的分析……72
　第１節　放射性炭素年代測定……72
第６章　まとめ……74
図版
報告書抄録
付図

挿図・表・図版目次

挿図目次

第１図　河川改修区域と遺跡……2
第２図　遺跡位置図……3
第３図　地形区分図……4
第４図　大浦遺跡（５－13）と周辺遺跡位置図……6
第５図　遺跡基本層位と東部地区遺構配置図……13・14
第６図　グリッド配置図……15
第７図　ＳＢ03掘立柱建物跡……21・22
第８図　ＳＢ37掘立柱建物跡……24
第９図　ＳＢ39掘立柱建物跡……25
第10図　ＳＢ55掘立柱建物跡……26
第11図　ＳＢ82掘立柱建物跡……27
第12図　ＳＢ214・766掘立柱建物跡……28
第13図　ＳＡ11・280・688柱穴列……29
第14図　ＳＫＩ92竪穴状遺構……38
第15図　ＳＥ01・70・127・176井戸跡……40
第16図　ＳＥ211・220・225・252・358井戸跡……41
第17図　ＳＥ316・324・326・364井戸跡……42
第18図　ＳＥ502・555・715・716井戸跡……43
第19図　ＳＫ109・119・203・294・308・448・503土坑……48
第20図　ＳＫ539・633・636・671・794土坑
　　ＳＮ96鍛冶炉跡　ＳＸ385・804種別不明遺構……49
第21図　土師器（１）……53
第22図　土師器（２）……54
第23図　須恵器……55
第24図　陶磁器（１）……57
第25図　陶磁器（２）……58
第26図　陶磁器（３）……59
第27図　陶磁器（４）……61
第28図　陶磁器（５）……62
第29図　木製品……64
第30図　金属製品……65
第31図　土製品（１）……67
第32図　土製品（２）・石製品（１）……68
第33図　石製品（２）……70

表目次

第１表　大浦遺跡周辺の遺跡一覧表……8
第２表　掘立柱建物跡柱穴掘形観察表……20
第３表　柱穴列柱穴観察表……23
第４表　柱穴様ピット観察表（１）……31
第５表　柱穴様ピット観察表（２）……32
第６表　柱穴様ピット観察表（３）……33
第７表　柱穴様ピット観察表（４）……34
第８表　柱穴様ピット観察表（５）……35
第９表　柱穴様ピット観察表（６）……36
第10表　土師器観察表……56
第11表　須恵器観察表……56
第12表　須恵器系中世陶器観察表……60
第13表　陶磁器観察表……63
第14表　木製品観察表……66
第15表　金属製品観察表……66
第16表　銭貨観察表……66
第17表　土製支脚観察表……69
第18表　土製品観察表……69
第19表　土錘観察表……69
第20表　羽口観察表……69
第21表　石製品観察表……71
第22表　砥石観察表……71

図版目次

図版１　遺跡遠景
図版２　遺跡遠景・調査前　遺跡全景・調査後
図版３　調査区東　調査区西
図版４　ＳＢ03・37・39掘立柱建物跡
図版５　ＳＢ55・82・214掘立柱建物跡
図版６　ＳＡ11・280柱穴列　ＳＫＩ92竪穴状遺構
図版７　ＳＥ01・70・127・176・211・220・225・252井戸跡
図版８　ＳＥ316・324・326・358・364・502・555・715井戸跡
図版９　ＳＥ716井戸跡　ＳＫ109.119.203.294.308.448.503土坑
図版10　ＳＫ539・671土坑　ＳＮ96鍛冶炉跡検出状況　ＳＮ96鍛冶炉跡　ＳＤ212・297・311・531溝跡
図版11　ＳＭ343道路跡　ＳＸ385種別不明遺構　ＭＨ44グリッド遺物出土状況　ＳＫＰ161柱穴様ピット遺物出土状況　ＳＭ343道路跡遺物出土状況
図版12　土師器
図版13　須恵器
図版14　陶磁器（１）
図版15　陶磁器（２）
図版16　陶磁器（３）
図版17　陶磁器（４）
図版18　木製品・金属製品
図版19　金属製品・土製品
図版20　石製品

第１章　はじめに

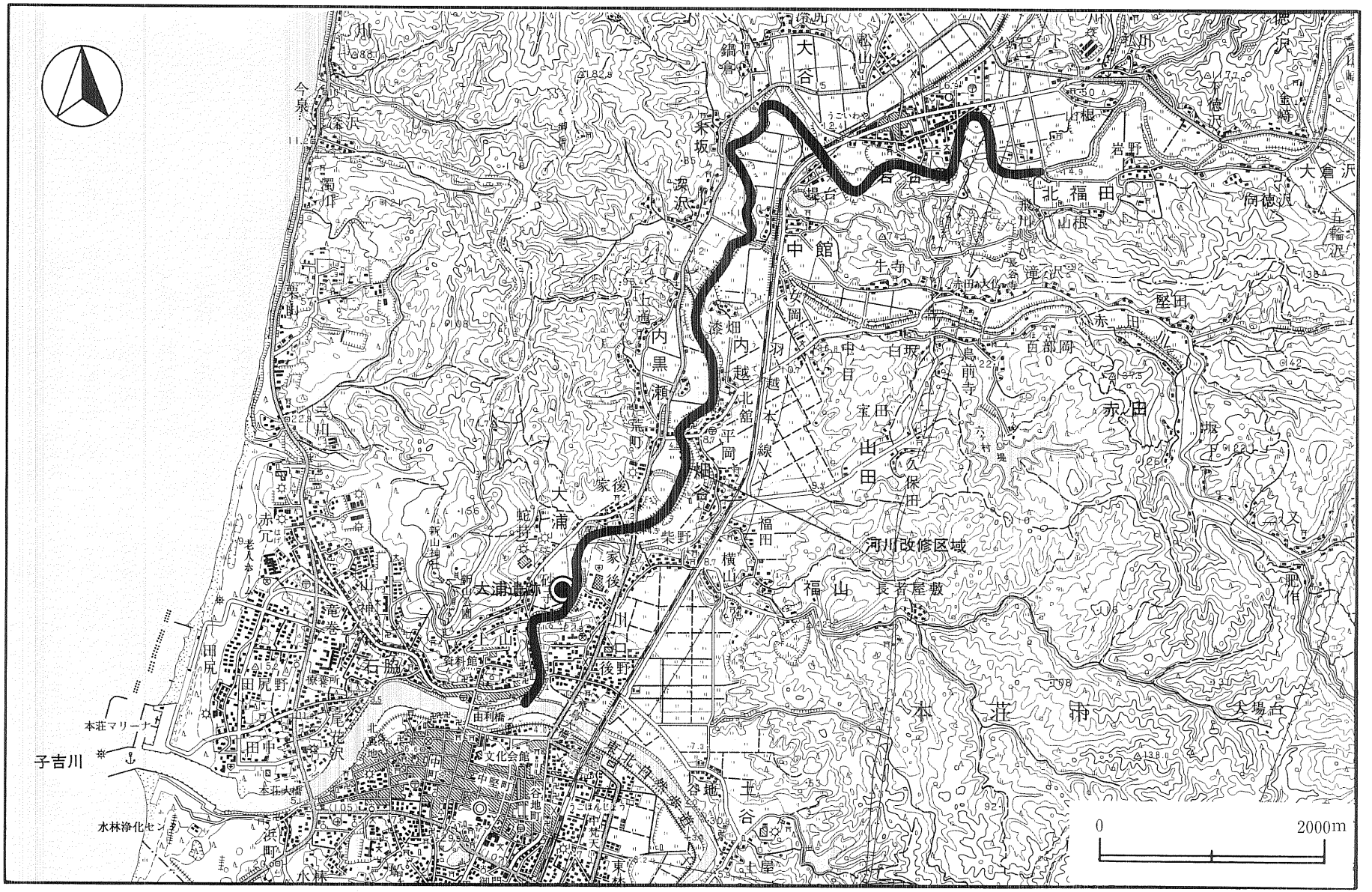
第１節　調査に至る経過

大森町保呂羽山（標高438m）北麓を源流とする芋川は、子吉川水系最大の支流であり、大内町・本荘市を主な流域とする。その流域面積は234km²を有し、米をはじめとする農産物を育み、周辺地域における社会・経済の基盤をなしている。しかし、川幅が狭く蛇行箇所が多いため過去に何度となく氾濫を繰り返し、道路・住宅・農業施設等に多大な被害をもたらしてきた。このため芋川改修は、流域住民が積年の願いとするところであったが、平成10（1998）年度から災害復旧助成事業の拡充・河川災害復旧等関連緊急事業のひとつとして改修されることになった。平成11（1999）年度に着工した工事は、平成14（2002）年度までに完成する予定である。

河川改修区域（第１図）には埋蔵文化財が包蔵されている可能性があることから、埋蔵文化財包蔵地の確認と今後の対応について、芋川災害復旧事務所より秋田県教育委員会に調査の依頼があった。秋田県教育委員会では、工事対象区域内の分布調査を実施し、工事対象区域に係る埋蔵文化財包蔵地と確認された地区については、今後範囲確認調査が必要であること、範囲確認調査の結果、記録保存の必要な埋蔵文化財包蔵地については発掘調査を実施すべきことを回答した。平成11（1999）年度に大浦遺跡の範囲確認調査を行い、遺跡の一部が工事対象区域に及んでいることを確認し、協議の結果、事業計画との関連から平成12（2000）年度に発掘調査を実施するに至った。

第２節　調査要項

遺　跡　名　大浦遺跡（おおらいせき）（遺跡略号６ＯＲ）
遺跡所在地　秋田県本荘市大浦字八走145番地外
調査期間　平成12年５月22日～10月13日
調査面積　13,700m²
調査主体者　秋田県教育委員会
調査担当者　栗澤　光男（秋田県埋蔵文化財センター調査課　文化財主査）
　　鈴木　　茂（秋田県埋蔵文化財センター調査課　学芸主事）
　　熊谷　　誠（秋田県埋蔵文化財センター調査課　非常勤職員）
　　田村　瑞保（秋田県埋蔵文化財センター調査課　非常勤職員）
総務担当者　佐藤　　悟（秋田県埋蔵文化財センター総務課　課長）
　　佐々木敬隆（秋田県埋蔵文化財センター総務課　主事）
　　八文字　隆（秋田県埋蔵文化財センター総務課　主事）
　　（平成13年４月転出　現　中仙町立清水小学校　主事）
調査協力機関　秋田県建設交通部芋川災害復旧事務所　本荘市教育委員会



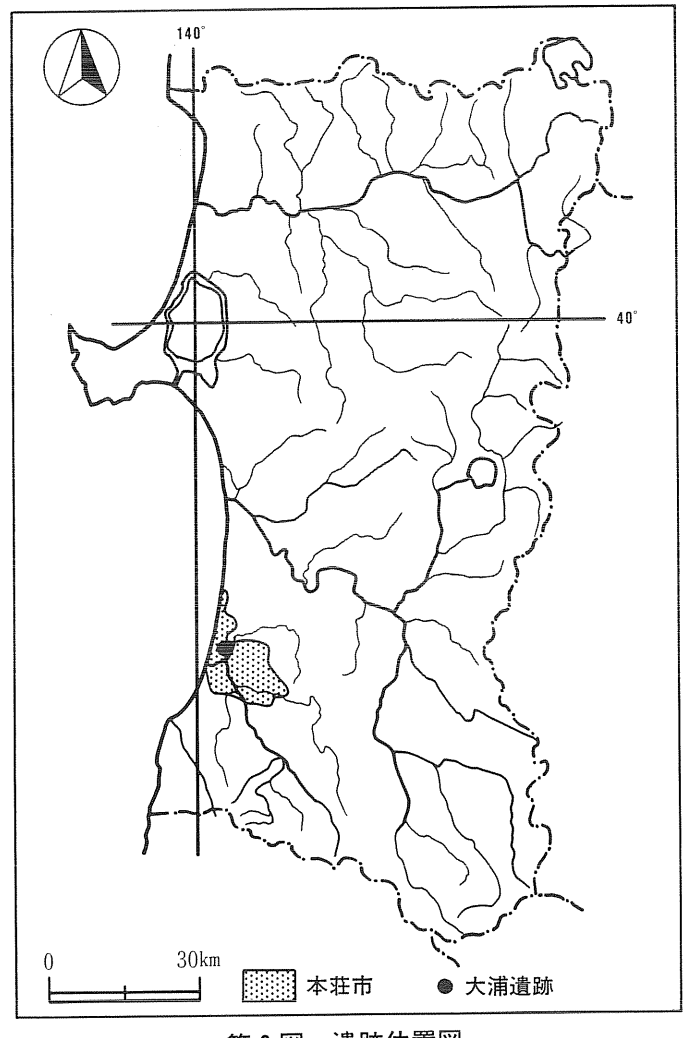
第1図　河川改修区域と遺跡

第２章　遺跡の環境

第１節　遺跡の位置と立地

大浦遺跡のある本荘市は、秋田県南西部に位置する本荘・由利地方の中心都市である。東方は東由利町に、北は大内町・岩城町に、南は由利町に、南西は西目町に接し、西方は日本海に面している。鳥海山麓に源を発し芋川・石沢川等の支川をもつ子吉川が、市内のほぼ中央部を北西に向かって流れ、河口部に本荘平野を形成している。また市内を南北に羽越本線が縦貫し、南東にのびる鳥海山麓線が市内と矢島町とを結んでいる。さらに、海岸沿いに秋田と山形とを結ぶ国道７号線が走り、これに接続する国道105・107・108号線がそれぞれ内陸にのびており、交通の一大要衝地となっている。市域は東西方向約16km、南北方向約20km、周囲約91.5kmにわたり、総面積は約189.50㎢にのぼる。本遺跡は、北緯39°24′01″、東経140°03′35″、ＪＲ羽越本線羽後本荘駅の北約1.8kmの地点にあり（第２図）、由利組合総合病院の移転、秋田県立大学本荘キャンパスの設置等により、開発著しい子吉川北岸地域に位置している。遺跡が隣接する砂子地区にも近年新興住宅地が造成されるなど、遺跡周辺部はその景観を大きく変えようとしている。

遺跡周辺の地形を地形区分図（第３図）によって大まかに見ると、東から権現山山地（Ⅰａ）・鬼倉山山地（Ⅰｂ）、出羽丘陵に連なる中央丘陵地（Ⅱｃ）、子吉川・芋川低地（Ⅲａ・Ⅲｃ）、北由利・子吉川丘陵地（Ⅱｂ・Ⅱｄ）があり、その西に本荘・西目砂丘地（Ⅲｇ・Ⅲｈ）があって海岸線に至っている。遺跡は芋川低地の西端、北由利丘陵地の麓にあり、芋川右岸に形成された標高6.0m～6.8mの河岸段丘上に立地している。

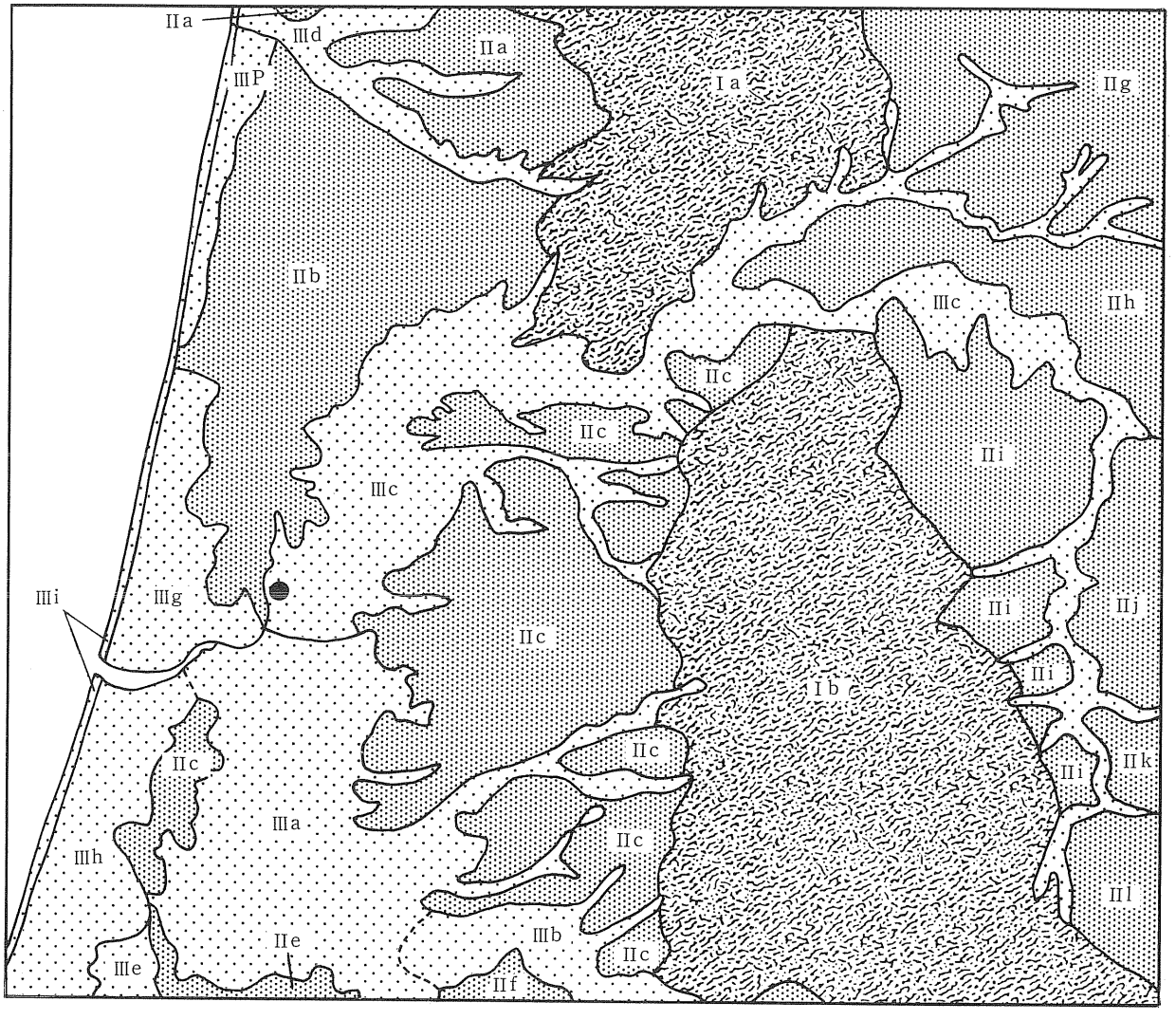


第２図　遺跡位置図

第２節　歴史的環境

大浦遺跡は、中世を主体とする遺跡である。このほか、平安時代や近世以降の遺物も確認した。『秋田県遺跡地図（由利地区版）』によると、本荘市内では縄文時代から近世までの遺跡が83箇所で確認されているが、ここでは大浦遺跡の周辺に位置し、発掘調査された遺跡を中心に歴史的な環境を概観する。

今のところ、本荘市内においては旧石器時



	権現山山地	（Ⅰa）・鬼倉山山地	（Ⅰb）		―山　地
	岩城山陵地	（Ⅱa）・北由利丘陵地	（Ⅱb）・中央丘陵地	（Ⅱc）	―丘陵地
	子吉丘陵地	（Ⅱd）・葛法丘陵地	（Ⅱe）・石橋丘陵地	（Ⅱf）	
	中ノ俣丘陵地	（Ⅱg）・扇森丘陵地	（Ⅱh）・上川大内丘陵地	（Ⅱi）	
	岩野目沢丘陵地	（Ⅱj）・小羽広丘陵地	（Ⅱk）・桧山丘陵地	（Ⅱl）	
	子吉川低地	（Ⅲa）・石沢川低地	（Ⅲb）・芋川低地	（Ⅲc）	―台　地
	衣川低地	（Ⅲd）・西目低地	（Ⅲe）・由利砂丘地	（Ⅲf）	―低　地
	本荘砂丘地	（Ⅲg）・西目砂丘地	（Ⅲh）・海浜低地	（Ⅲi）	

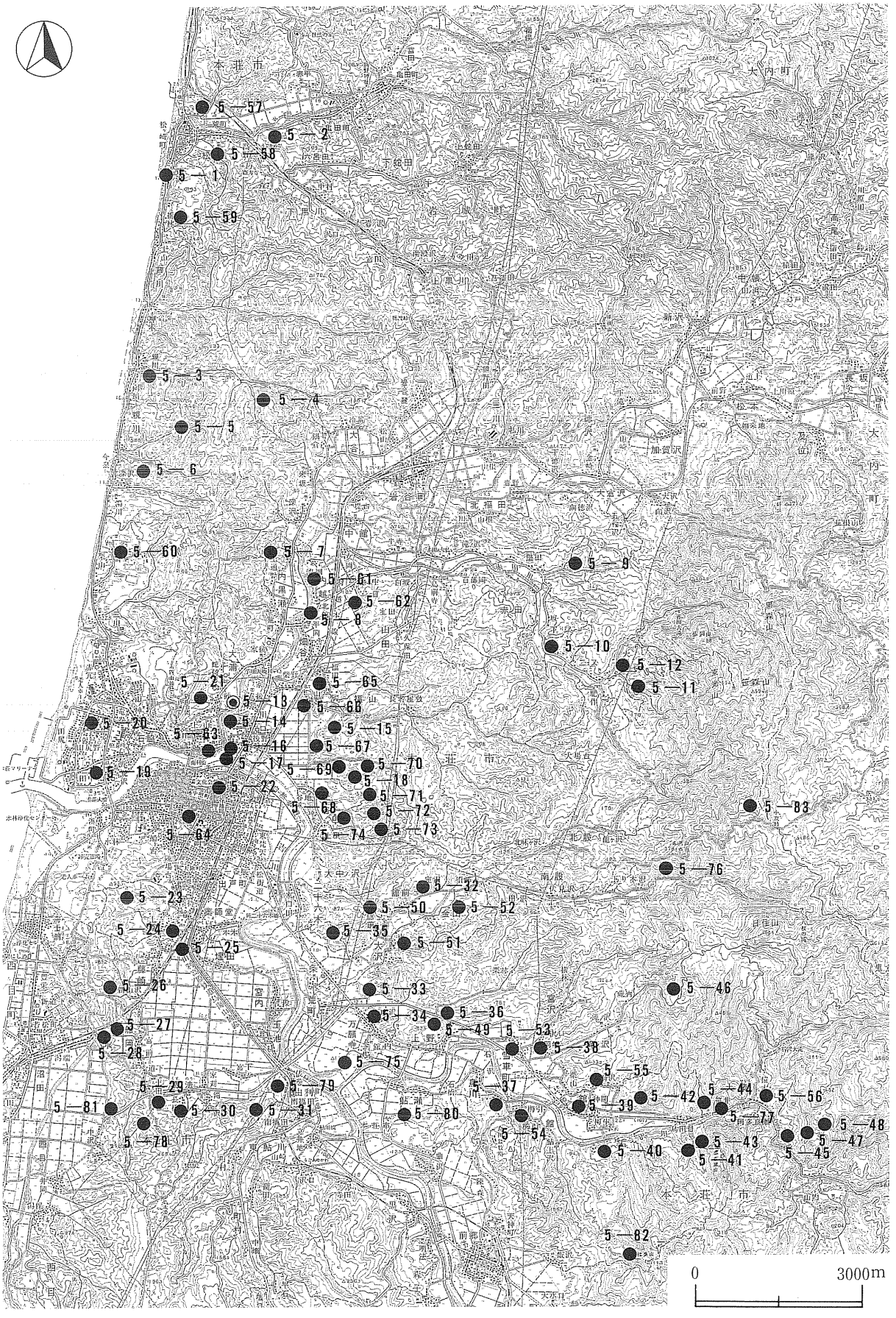
●大浦遺跡

第３図　地形区分図

代の遺跡は確認されていない。しかし、近接する大内町才ノ神・鳥海町国見などで旧石器時代の遺跡が確認されており、この地域の豊かな自然が、古くから人々に多大な恩恵を与えていたことを窺わせる。

縄文時代では、早期から晩期まで計30遺跡が確認されている。早期の神沢遺跡（５－１）・菖蒲崎貝塚（５－16）・子吉川底遺跡（５－17)、前期の親川冷水遺跡（５－４）・深沢遺跡（５－６）・菖蒲崎貝塚・子吉川底遺跡・船岡台遺跡（５－27）・土谷白山遺跡（５－74)、中期の田尻遺跡（５－19）・薬師堂遺跡（５－24）・梵天野遺跡（５－40）・船岡台遺跡・鳴瀬遺跡（５－79)、後期の親川フタノ沢遺跡（５－５）・大浦遺跡（５－13）・田尻野遺跡（５－20）・熊野神社遺跡（５－51）・上谷地遺跡（５－68）、晩期の大浦遺跡・田尻野遺跡・長老沼遺跡（５－21）・東町遺跡（５－22）・小友金山遺跡（５－52）、時期不詳の三条山遺跡（５－35）・山内Ⅰ遺跡（５－45）・滝ノ沢遺跡（５－46）・山内Ⅱ遺跡（５－47）・山内Ⅲ遺跡（５－48）・宮ノ腰遺跡（５－57）・光禅寺前遺跡（５－58）・石脇中町遺跡（５－63）・大原田遺跡（５－76）・小友峠遺跡（５－83）がある。碁石遺跡（５－81）は、本荘市・西目町の境界に位置する。本荘市域分の遺跡の詳細は不明だが、西目町側からは縄文時代前・中・後期の土器が出土している。これらのうち調査が行われたのは、神沢・船岡台・菖蒲崎貝塚・鳴瀬・上谷地の５遺跡である。神沢遺跡は、昭和43（1968）年に本荘市教育委員会が発掘調査し、縄文早期後半の土器・石器が出土した。船岡台遺跡も同年、本荘市教育委員会が発掘調査した。この調査では竪穴住居跡１軒、土坑８基が確認され、縄文土器や石斧、石鏃、凹石、魚形文刻石が出土した。また、菖蒲崎貝塚は、昭和59（1984）年、遺跡の範囲確認を目的に本荘市教育委員会が詳細分布調査を行っている。同遺跡は芋川が子吉川に合流する突端、標高１ｍ前後の低いところにある。貝層は地表下３ｍ程の所にあり、厚さ30cmほどで西南に向かって傾斜していると考えられる。また、鳴瀬遺跡は昭和59（1984）年に本荘市教育委員会が分布調査を行い、縄文中期中葉の土器片が出土した。上谷地遺跡は、本荘市教育委員会がこれまで４次にわたる調査を行い、平安時代の遺跡として周知されてきた。同遺跡は、早くから郷土史・考古学上の大きな関心事である由理柵の所在地としての可能性も指摘されてきたが、平成13（2001）年に行われた秋田県教育委員会の発掘調査では、トチの実のあく抜きをした縄文時代後期前半の水さらし場遺構が確認され、縄文時代の遺跡として注目された。なお、弥生時代の遺跡としては、親川遺跡（５－３）が１箇所確認されているのみである。

奈良・平安時代では、土谷遺跡（５－18）・葛法窯跡（５－31）・雪車町遺跡（５－53）・新漆畑遺跡（５－61）・中ノ目遺跡（５－62）・新ウルイノ遺跡（５－65）・横山遺跡（５－66）・大覚遺跡（５－67）・上谷地遺跡・新谷地遺跡（５－69）・土花遺跡（５－75）・子吉大堤遺跡（５－78）と12遺跡が確認されている。これらのうち調査が行われたのは、土谷・葛法窯跡・新漆畑・横山・大覚・上谷地・新谷地・土花の８遺跡である。葛法窯跡は、昭和51（1976）年、本荘市教育委員会が分布調査を兼ねた発掘調査を行った。窯跡３基が確認されたほか、須恵器の坏・台付坏・台付椀・壷・甕などが出土し、操業時期は８世紀後半から９世紀初頭までと考えられる。土谷遺跡は昭和62(1987)年、本荘市教育委員会が範囲確認調査を行い、羽口・鉄滓などのほかに須恵器系中世陶器なども出土した。新漆畑遺跡は平成10（1998）年、大覚遺跡は平成12（2000）年、いずれも本荘市教育委員会による工事立ち会いで調査が行われ、新漆畑遺跡からはフイゴ羽口や大量の鉄滓などが、大覚遺跡からは祭祀用木製品などがそれぞれ出土した。平成13（2001）年、横山遺跡を秋田県教育委員会が、新谷



第４図　大浦遺跡（５—13）と周辺遺跡位置図

地遺跡・土花遺跡を本荘市教育委員会が、また前述した上谷地遺跡は秋田県と本荘市の教育委員会が、別々に発掘調査をしている。このうち横山遺跡では、県内で初めて平安時代の水田跡が確認された。このことは、文献上「由理柵」「由理駅」「蚶方駅」があったとされる本荘・由利地方はもとより、出羽地方における古代社会の様相をより具体的にするものとして特筆に値する。本荘市教育委員会の長谷川潤一氏は、「本荘由利で発掘調査が実施された遺跡数は決して多くはないが、偶然にも発掘調査されたほとんどの遺跡から同年代の遺物が出土している上、未調査遺跡からの出土例も多い。これより以前の平安時代初頭までの遺物の報告例が少なく、この傾向は県内の他の地方でも大凡同様と思われるが、この地方における集落数の増加がうかがわれ生産活動が活発になった時代なのだろう」(註1)とし、９世紀後半から10世紀前半までをこの地域における大きな変革の時期としているが、ここ数年の間に行われた発掘調査の成果が長谷川氏の指摘をさらに裏付けていくものと思われる。

平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての由利郡を支配したのは、由利氏であるというのが通説である。『吾妻鏡』には、文治５（1189）年の奥州合戦の際、鎌倉方と戦い捕らえられたものの、武人らしい振る舞いが評価され、本領を安堵された由利維平の記事が見られる。その後、由利郡地頭職は建保元（1213）年の和田合戦を経て、幕府女房であった大弐局の手に移り、その死後は一族・小笠原氏が郡内の所領を管理していくことになる。その後の詳細は明らかではないが、郡内における小笠原一族を称する国人の活動から、小笠原氏の後裔が郷単位に分立支配をしていたものと推定される。小笠原氏は当初一族を通じて郡を支配したものと思われるが、分割譲渡を重ねる間に地縁的結合を深めた庶子が郷名を姓とするに至り、党的成長を遂げて独立的勢力になったものと判断される。(註2)北条得宗家の専制化・鎌倉幕府の瓦解・南北朝の争乱と時代が激しく推移していく中、由利郡内においても大きな変遷が見られたことは想像に難くないが、やがて当地域は小豪族が割拠して抗争を繰り返す、いわゆる「由利十二頭」の時代に入っていく。以上が、文献が示す極めて大まかな由利中世史の概略であるが、当時の支配の様相を具体的に示す文献史料は極めて乏しい。それ故に統治・軍事上拠点となった中世城館跡は、当時の人々の生きた証を今に伝える史料として第一級の価値をもつと言える。本荘市内では、これまでに29箇所で中世城館跡が確認されている。これらの城館は立地上、山城・平山城・平城に大別されるが、いずれも子吉川・石沢川・芋川の各流域の段丘や丘陵上の要衝に位置しており、軍事・交通・経済等に対する配慮が窺える。古くからの港である松ヶ崎にほど近い深沢遺跡からは、昭和59（1984）年に須恵器系中世陶器に入った中世銭貨２,343枚が見つかるなど、由利郡内においても貨幣経済が相当程度発達していたこと・日本海交易が活発に行われていたことを想像させる事例も報告されている。(註3)

「由利十二頭」の時代は、天正18（1590）年の奥羽仕置・太閤検地をもって終焉を迎える。豊臣政権下での軍役維持を目的に設定された由利五人衆は、中央政権の一末端機構に組み込まれていくが、その体制も長くは続かない。慶長７（1602）年、由利一円は関ヶ原の戦いの功により最上義光に与えられ、その重臣楯岡豊前守満茂が新領主として入部した。これまで３回にわたって本荘市教育委員会が発掘調査している本荘城（５－64）は、満茂が由利統治の拠点として尾崎山に築いた。その後、領主の交代を見るが、本荘は江戸期を通じて近代城下町としての発展を遂げていくことになる。

第１表　大浦遺跡周辺の遺跡一覧表

『秋田県遺跡地図（由利地区版）』収載の周知の遺跡

番号	遺跡名	所在地	時代	備考
5－1	神沢	本荘市神沢	縄文(早期)	1968(昭和43)年、本荘市教委による発掘調査。縄文早期後半の土器・石器出土。
5－2	大野館	本荘市松ケ崎字築館	中世	別名築館。周囲１本の帯郭をまわした単郭。館主についての伝承あり。
5－3	親川	本荘市親川字ツツヂ山	弥生	土器片が出土。宅地。
5－4	親川冷水	本荘市親川字槻木林	縄文(前期)	土器片が出土。畑地。
5－5	親川フタノ沢	本荘市親川字金ケ沢	縄文(後期)	土器片が出土。畑地。
5－6	深沢	本荘市親川字深沢	縄文(前期) 中世	1984(昭和59)年、中世銭貨２,343枚が出土。
5－7	黒瀬館	本荘市内黒瀬字坂ノ下	中世	本荘市と大内町の境界に位置。館主、築城者等は不明。
5－8	平岡館	本荘市内越字平岡	中世	別名寒風館。変形の長方形をなしており、平城に近い。館主についての伝承あり。神社地。
5－9	巣子館	本荘市赤田字巣子	中世	赤田盆地の東部山並みの中に位置し、主郭は平地。見張りを使命とした館か。
5－10	後田館	本荘市赤田字古館	中世	別名古館。三つの郭からなり、方形に近い形を呈する。館主についての伝承あり。山林。
5－11	阿久根館	本荘市赤田字阿久根	中世	館主についての伝承あり。本館跡の西北西に位置する後田館の見張り台か。
5－12	赤田金山	本荘市赤田字金山	不明	製鉄炉跡。羽口が出土。
5－13	大浦	本荘市大浦字八走145番地外	縄文(後・晩期) 平安・中世	2000(平成12)年、秋田県教委が発掘調査。掘立柱建物跡、井戸跡等の遺構が検出。
5－14	川口館	本荘市川口字愛宕山	中世	俗称「太鼓森」と称する丘陵地上に位置。館主についての伝承あり。開発により消滅。
5－15	岩倉館	本荘市川口字岩倉	中世	四つの郭からなり、築城時期は戦国期と思われる。館主についての伝承あり。山林。
5－16	菖蒲崎貝塚	本荘市川口字下菖蒲崎	縄文(早・前期)	1984(昭和59)年、遺跡の範囲確認を目的に本荘市教委が詳細分布調査を実施。
5－17	子吉川底	本荘市川口字下菖蒲崎付近川底	縄文(早・前期)	土器片が出土。
5－18	土谷	本荘市土谷字田ノ沢	縄文・平安 中世	1987(昭和62)年、本荘市教委が範囲確認調査を実施。須恵器系中世陶器・羽口等が出土。
5－19	田尻	本荘市石脇字田尻	縄文(中期)	旧尾花沢遺跡から遺跡名変更。
5－20	田尻野	本荘市石脇字田尻野10－１番地外	縄文(後・晩期)	旧竜巻遺跡から遺跡名変更。
5－21	長老沼	本荘市石脇字上長老沼	縄文(晩期)	土器片・石匙・石鏃・石斧が出土。
5－22	東町	本荘市東町字59－２番地外	縄文(晩期)	土器片が出土。
5－23	子吉館	本荘市出戸町字水林	中世	五方向に突出した尾根を利用した放射状の館跡。館主についての伝承あり。山林。
5－24	薬師堂	本荘市薬師堂字堂ノ下	縄文(中期)	土器片が出土。

番号	遺跡名	所在地	時代	備考
5－25	埋田小館	本荘市埋田字小館	中世	矢島線・国道108号線の建設により、その大半は消滅。子吉館の支城か。
5－26	蝦夷館	本荘市藤崎字苦竹沢	中世	館跡。山林。民有。
5－27	船岡台	本荘市船岡字船岡台36番地	縄文(前・中期)	1968(昭和43)年、本荘市教委が発掘調査を実施。竪穴住居跡１軒等が検出された。
5－28	花館	本荘市船岡字船岡台	中世	館跡。草地。民有。
5－29	葛法山館	本荘市葛法字山館	中世	本荘平野南端の丘陵上に位置する小規模な館跡。館主・築城者・築城年代は不明。
5－30	葛法窯跡	本荘市葛法字前坂24－５	平安	1976(昭和51)年、本荘市教委による分布調査。窯跡３基が確認されており、８世紀後半から９世紀が操業の中心と考えられている。
5－31	鳴瀬館	本荘市葛法字鳴瀬	中世	1984(昭和59)年、本荘市教委が分布調査。
5－32	館前館	本荘市館前字館前	中世	二つの郭から成り立つ。館主についての伝承あり。鎌倉初期の壺が出土。山林。
5－33	荒城館	本荘市荒町字扇田	中世	北に向かってほぼ凹形をなし、郭は二つに分かれている。築城者・年代等は一切不明。
5－34	万願寺館	本荘市万願寺字荒田目	中世	館主・築城年代等は不明。周辺に館ノ内・堀切・九日町等の小字名が残る。
5－35	三条山	本荘市三条字定ケ沢	縄文	土器片が出土。
5－36	上野館	本荘市上野字上野	中世	丘陵の頂上部分と下部の二地区とに大きく分けられる。館主・築城者等は不明。山林。
5－37	岩館	本荘市烏川字岩館	中世	別名水沢館・烏川館。大きく三郭からなる。館主についての伝承あり。山林。
5－38	宮館	本荘市館字宮館	中世	東西に長い連郭を呈しており、大きく三郭に区別できる。館主についての伝承あり。山林。
5－39	石沢館	本荘市館字石沢館	中世	館跡。宅地・水田。民有。
5－40	梵天野	本荘市柳生字梵天野	縄文(中期)	土器片が出土。畑地。民有。
5－41	大館	本荘市柳生字大館	中世	石沢川中流左岸の丘陵を利用した山城。方形に近い形を呈する。館主についての伝承あり。
5－42	高館	本荘市湯沢字高館	中世	南北に長い連郭型。石沢川を挟んで対岸に根城館・大館を望む。館主・築城年代等は不明。
5－43	根城館	本荘市烏田名字中ノ沢	中世	長方形に近い平面形を呈し、北端は石沢川に接している。館主・築城者等の詳細は不明。
5－44	烏田目山館	本荘市烏田目字山館	中世	館主・築城者・築城年代等不明。一部堀切と思われるものがある。
5－45	山内Ⅰ	本荘市山内	縄文	採草地。民有。土器片・石器片が出土。
5－46	滝ノ沢	本荘市滝ノ沢	縄文	山林。民有。石槍が出土。
5－47	山内Ⅱ	本荘市山内	縄文	採草地。民有。土器片・石器片が出土。
5－48	山内Ⅲ	本荘市山内	縄文	採草地。民有。土器片・石器片が出土。
5－49	上野小館	本荘市上野字上野	中世	館跡。山林。民有。
5－50	株切館	本荘市館前字株切館	中世	館跡。山林。民有。

番号	遺跡名	所在地	時代	備考
5－51	熊野神社	本荘市大沢字南関	縄文(後期)	草地。神社。土器片が出土。
5－52	小友金山	本荘市金山	縄文(晩期)	山林。土器片・石斧が出土。
5－53	雪車町	本荘市雪車町字新雪車町	古代	土師器片が出土。
5－54	狩ケ沢	本荘市館字狩ケ沢	中世	須恵器系中世陶器が出土。
5－55	湯沢	本荘市湯沢字湯沢	中世	中世陶器片が出土。
5－56	大簗	本荘市大簗字鍔出	中世	銅鏡が出土。
5－57	宮ノ腰	本荘市松ケ崎字宮ノ腰	縄文	石器片が出土。
5－58	光禅寺前	本荘市松ケ崎字光禅寺前	縄文	石器片が出土。
5－59	大森山	本荘市芦川字大森山	不明	鉄滓が出土。
5－60	西大台	本荘市三川字西大台	不明	鉄滓が出土。
5－61	新漆畑	本荘市内越字新漆畑	平安	1998(平成10)年、本荘市教委が工事立ち会い調査。土師器片・鉄滓等が出土。
5－62	中ノ目	本荘市内越字中ノ目	古代	須恵器片が出土。
5－63	石脇中町	本荘市石脇字石脇	縄文	土器片が出土。
5－64	本荘城	本荘市出戸町字尾崎	近世	1994(平成６)年・2000(平成12)年・2001(平成13)年、本荘市教委が大手門跡地・本丸・三の丸をそれぞれ発掘調査。
5－65	新ウルイノ	本荘市畑谷字新ウルイノ	平安	土師器片が出土。
5－66	横山	本荘市福山字横山97－１番地外	平安	2001(平成13)年、秋田県教委が発掘調査。平安時代の水田が検出された。
5－67	大覚	本荘市川口字大覚	平安	2000(平成12)年、本荘市教委が工事立ち会い調査。河川祭祀の跡か。
5－68	上谷地	本荘市土谷字上谷地	縄文(後期) 平安	本荘市教委が４次にわたる詳細分布調査を実施。2001(平成13)年、秋田県教委・本荘市教委が発掘調査。本荘市教委の調査では多数の祭祀用木製品等が出土。秋田県教委の調査では、縄文時代後期の水さらし場遺構が検出。
5－69	新谷地	本荘市土谷字新谷地	平安・中世	2001(平成13)年、本荘市教委が発掘調査。土師器・木製品などが出土する。
5－70	岩瀬堤	本荘市土谷字菅沼	不明	鉄滓・羽口が出土。
5－71	土谷田ノ沢	本荘市土谷字田ノ沢	不明	鉄滓が出土。
5－72	土谷堤下	本荘市土谷字堤下	不明	山林。民有。
5－73	土谷堂ケ沢	本荘市土谷字堂ケ沢	不明	山林。民有。
5－74	土谷白山	本荘市土谷字小深田	縄文(前期)	土器が出土。山林。民有。
5－75	土花	本荘市万願寺字土花	平安・中世	2001(平成13)年、本荘市教委が発掘調査を実施。空堀と思われる大溝等を検出している。
5－76	大原田	本荘市南ノ股字大原田	縄文	石器が出土。山林。民有。
5－77	笹井	本荘市大簗字笹井	不明	陶器片が出土。原野。民有。
5－78	子吉大堤	本荘市船岡字大堤	平安	土師器片・羽口・鉄滓が出土。
5－79	鳴瀬	本荘市葛法字下鳴瀬	縄文(中期)	1984(昭和59)年、本荘市教委が分布調査。
5－80	曲沢館	本荘市鮎瀬字張山	中世	伝えによると郭の北西部に二条の土塁があったという。館主についての伝承あり。
5－81	碁石	本荘市船岡字碁石	縄文(前・中期) 縄文(後期)	遺物包含地。原野。西目町との境界に位置。西目町側から土器片が出土。

番号	遺跡名	所在地	時代	備考
5－82	花見館	本荘市館字西鮎ノ上	中世	館に関する伝承等は見られないが、地勢上滝沢城の出城として構築されたと思われる。
5－83	小友峠	本荘市北ノ又	縄文	石器が出土。

註

・地図及び一覧に付した番号のうち、５－13などのような番号は、『秋田県遺跡地図（由利地区版）』に収載されている遺跡の市町村登録番号である。５は本荘市を示している。
・遺跡の時代等についての記述は、『秋田県遺跡地図（由利地区版）』に記載されている内容に、遺物を実見した本荘市教教育委員会の長谷川潤一氏の御教示を付加してまとめたものである。

註１．本荘市教育委員会　「本荘市新漆畑遺跡調査報告」　本荘市文化財保護協会機関誌『鶴舞』　第77号　1999（平成11）年
註２．秋田県教育委員会　『秋田県の中世城館』　秋田県文化財調査報告書第86集　1981（昭和56）年
註３．長谷川潤一　「本荘市深沢遺跡出土の銭貨」　本荘市文化財保護協会機関誌『鶴舞』　第81号　2001（平成13）年

参考文献

・本荘市教育委員会　『遺跡発掘調査報告書－神沢海岸遺跡・船岡台遺跡－』　本荘市文化財調査報告書第１集　1971（昭和46）年
・本荘市教育委員会　『葛法窯跡分布調査報告書』　1978（昭和53）年
・秋田県農政部農地整備課　『土地分類基本調査　本荘』　1980（昭和55）年
・塩谷順耳　『中世の秋田』　秋田魁新報社　1982（昭和57）年
・本荘市史編纂室　『本荘市史　史料編Ⅰ上』　1984（昭和59）年
・本荘市教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　1985（昭和60）年
・本荘市史編纂室　『本荘市史　通史編Ⅰ』　1987（昭和62）年
・本荘市教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　1988（昭和63）年
・冨樫泰時・児玉　準　「本荘市上谷地遺跡について－由理柵跡推定地の調査－」　『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』　第７号　1992（平成４）年
・吉岡康暢　『中世須恵器の研究』　吉川弘文館　1994（平成６）年
・本荘市教育委員会　『上谷地遺跡詳細分布調査報告書－第１次調査概報－』　本荘市文化財調査報告書第10集　1995（平成７）年
・高橋　学　「秋田県内出土の銭貨資料集成」　『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』　第11号　1996（平成８）年
・本荘市教育委員会　『上谷地遺跡詳細分布調査報告書－第２次調査－』　本荘市文化財調査報告書第11集　1996（平成８）年
・本荘市教育委員会　『上谷地遺跡詳細分布調査報告書－第３次調査－』　本荘市文化財調査報告書第14集　1997（平成９）年
・本荘市教育委員会　『上谷地遺跡詳細分布調査報告書－第４次調査－』　本荘市文化財調査報告書第15集　1998（平成10）年
・本荘市教育委員会　『猿倉人形芝居－木内勇吉一座－』　本荘市文化財調査報告書第16集　1999（平成11）年
・秋田県教育委員会　『御獄公園館跡－緊急地方道路整備事業象潟矢島線に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－』　秋田県文化財調査報告書第311集　2001（平成13）年
・秋田県教育委員会　『秋田県遺跡地図（由利地区版）』　2001（平成13）年
・西目町教育委員会　『西目町の文化財　第１集　町の史跡と遺跡』　2001（平成13）年

第３章　発掘調査の概要

第１節　遺跡の概観

大浦遺跡は、前章で述べたように、芋川右岸の河岸段丘上に立地している。遺跡の標高は西部が6.8m、中央部が6.7m、東部が6.2m、南東部が6.0mであり、地形は南東向きの緩い傾斜となっている。遺跡の北側は一段低い水田で、南側と東側は芋川を挟んで市街地となっており、西側には新興住宅地がある。この新興住宅地の西側には旧国道105号が北東～南へ弧を描くように走り、そのさらに西側には標高100～200mの丘陵地が連なっている。

遺跡は、以前南東側に大きく張り出していたと思われるが、昭和28（1953）年に行われた芋川河川改修で、その景観を大きく変えることになる。この時、縄文後～晩期の土器・石器が多数出土したほか土師器や曲物（柄杓）等も出土した。以後、大浦遺跡は縄文・古代の複合遺跡として広く周知されることになるが、これらの出土品の保護に奔走したのが、当時の本荘高校教諭佐藤正吉氏であった。遺物は、その後しばらくの間、県立博物館・本荘市教育委員会・佐藤氏私宅の３ヶ所で保管されていたが、平成12（2000）年に佐藤氏保管分の遺物が本荘市に寄贈され、本荘市郷土資料館が展示・収蔵している。

今回、発掘調査の対象となったのは、北東－南西約290m、北西－南東約82mの範囲である。また、調査区内は大正末期から昭和初期にかけて行われた大規模な土地改良等により、かなりの土量が動かされたと見え、遺構・遺物の残り方は良好とは言えないが、これらの撹乱を免れた北東部・西端部からは集中的に遺構が検出した。なお、調査区内は、以前水田として使われていたが、ここ数年は萱などが繁茂する荒蕪地となっていた。

第２節　調査区基本層位

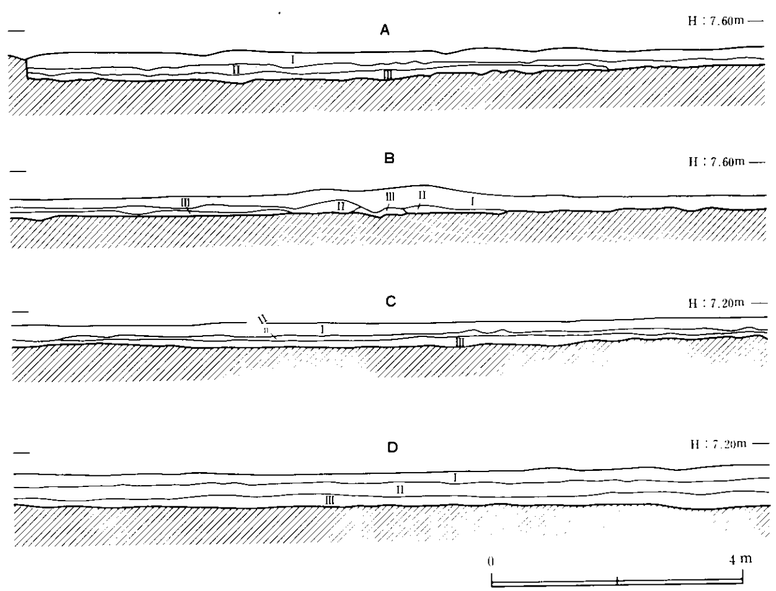
遺跡の基本土層は比較的一定であるが、南側は、前述したように大規模な土地改良等によりかなり盛土されていたため、堆積のしかたが多少異なっていた。基本層位の観察は、遺跡の南西から北東へ通る旧農道南壁を利用して行った（第５図）。

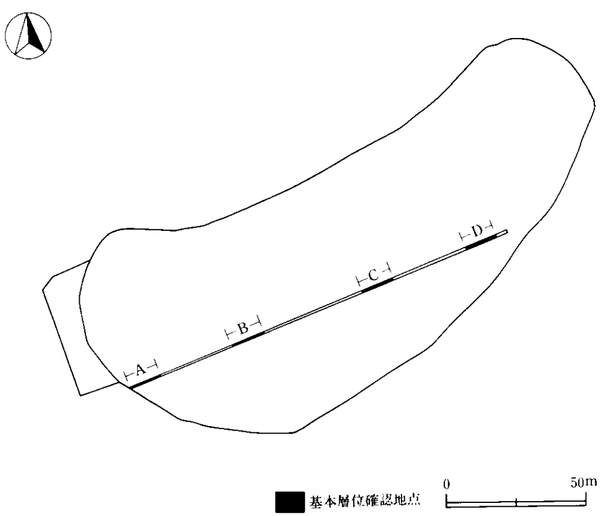
第Ⅰ層　暗褐色土(10YR3/3)～にぶい黄褐色土(10YR4/3)　調査区全体を覆う表土(耕作土)である。層厚12～37cm。

第Ⅱ層　暗褐色土(10YR3/3)～褐色土(10YR4/4)　調査区のほぼ全体に見られる水田の基盤土（床土)。土師器・須恵器・陶磁器などの遺物を含んでいる。第Ⅲ層がない箇所は、第Ⅳ層の漸移層となる。層厚２～23cm。

第Ⅲ層　灰黄褐色土(10YR4/2)　砂質土で海岸の砂が風によって運ばれ堆積したと思われる。一部が途切れる箇所もある。第Ⅳ層の漸移層である。層厚２～30cm。

第Ⅳ層　にぶい黄褐色土(10YR5/4)～黄褐色土(10YR5/6)　本遺跡における遺構確認面である。しまりが非常に強い粘質土で、天候による粘性の強弱変化が著しい地山層である。





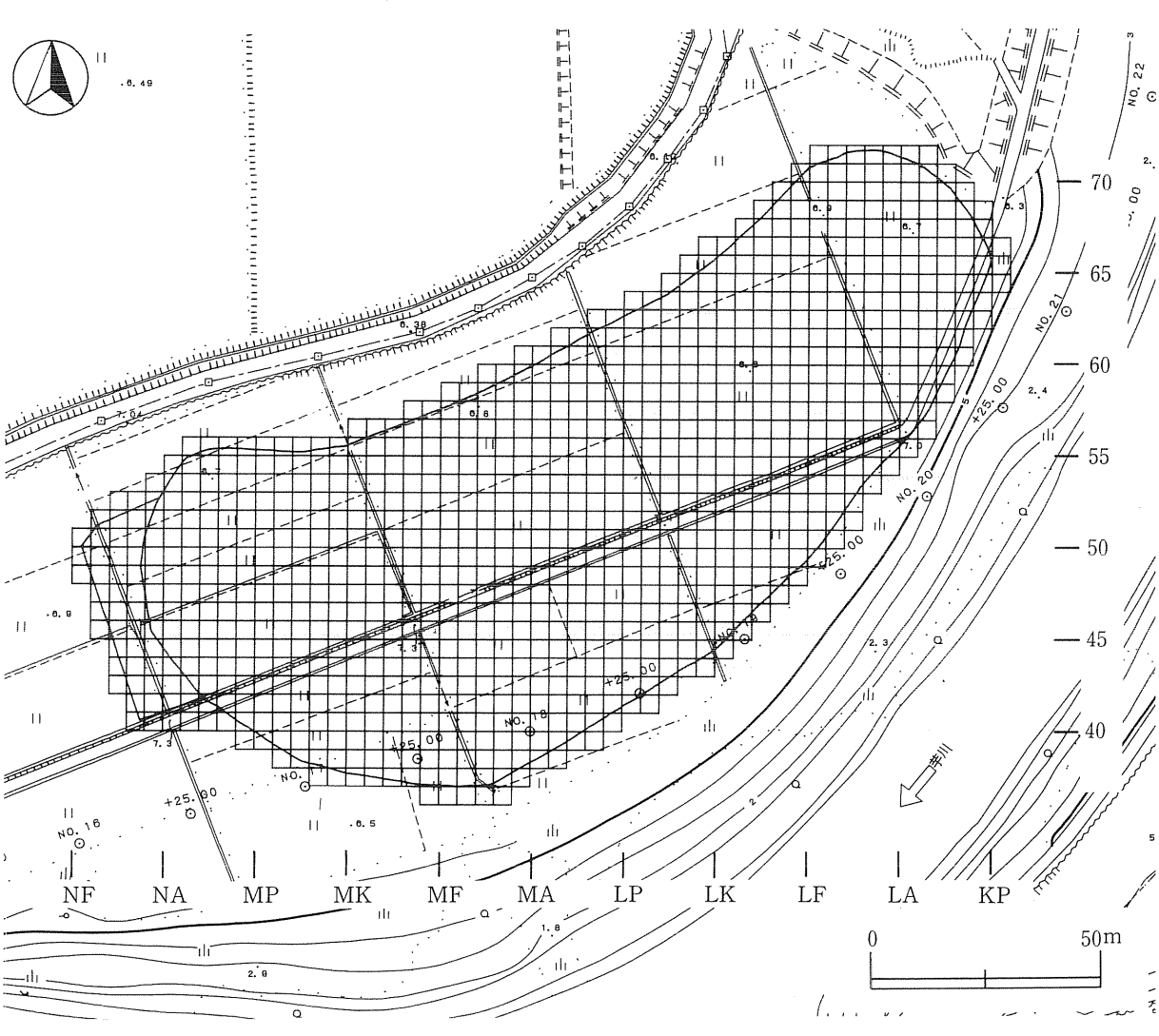
第5図　遺跡基本層位と東部地区遺構配置図

第３節　調査の方法

発掘調査はグリッド法を採用し、調査区に設置されている芋川河川改修工事の河川中心杭（No.18）から北へ40m離れた地点をグリッド原点ＭＡ50として、この杭から磁北に合わせた南北基線とこれに直行する東西基線を設け、４ｍ×４ｍのグリッドを設定した。また、南北基線には２桁の算用数字、東西基線にはアルファベット２文字の組み合わせを付し、各グリッドの名称は南東隅の交点の算用数字とアルファベットを組み合わせて呼称した。

遺物は、遺構内のものは出土遺構名・出土層位・遺構番号・出土年月日を記入し、遺構外出土のものは、出土グリッド・出土層位・遺物番号・出土年月日を記入したラベルとともに取り上げた。

調査の記録は、主に図面と写真によった。図面は基本的に縮尺１／20で作成し、竪穴状遺構や溝跡などは平面実測の迅速化と省力化を図るため、トータルステーションによる測量を行った。また、遺構配置図作成のため、ほぼすべての遺構および調査範囲もトータルステーションにより測量した。検出遺構の写真撮影は、35㎜のモノクロ、カラーリバーサル、ネガカラーを使用した。



第６図　グリッド配置図

第４節　調査の経過

発掘調査は、平成12年５月22日から10月13日まで実施した。表土除去は作業の効率化を図るため、主に重機によったが、作業員の安全面を考えて雇用する１週間前から先行した。前半は、南半部を東西両側から中央部に向かって調査したが、遺構は検出されず須恵器・土師器等の遺物がわずかに出土するにとどまった。後半は、北半部を東側から西側に向かって調査し、その結果、東端部から遺構が集中的に検出した。当初、９月26日を終了予定日としていたが、９月に入って最西端部から遺構が検出し、調査区外西側に遺構の広がりが予想されたため、調査区を西側に拡張した。これに伴い、調査期間を２週間延長し、10月13日までとした。

なおこの間、原因者側と本荘市教委の全面的な協力のもと、小・中学生による体験学習会と一般県民を対象とした遺跡見学会を開催した。

調査経過については、以下の表にまとめた。

平成12年	作　業　状　況	特　記　事　項
５月４週	関係機関・地元住民への挨拶回り、環境整備、重機による表土除去を行った。	・22日、バックホー・キャタトラでの表土除去・運搬を開始した。
６月１週	器材の搬入・点検・整理、基本層位の作成、重機による表土除去を行った。調査区南側の粗掘りを開始した。	・１日、作業員の雇用を開始した。芳賀所長が来跡。
２週	調査区南側の粗掘り・遺構確認精査、基本層位の作成、重機による表土除去を行った。	・５日～９日、業者委託によるグリッド杭打設を行った。 ・８日、バックホー・キャタトラでの表土除去・運搬を終了した
３週	調査区南側の粗掘り・遺構確認精査を行った。14日に調査区北西部（320㎡）の粗掘り・遺構確認精査を行ったが、遺構が検出しなかったため、同地区の調査を終了した。	
４週	調査区南側から遺構が検出しないため、中央部～西端部の粗掘りを部分発掘のかたちで進めた。20日から調査区北側東端部の調査を開始した。同地区から土坑・溝跡を検出した	
５週	調査区南側と北側東端部で粗掘り・遺構確認精査を行った。雨が続き作業に難渋したが、調査区南側の粗掘りをほぼ終了した。	・調査区南側中央部付近から須恵器の蓋が出土した。
７月１週	調査区南側での粗掘り作業を終え、調査区北側東端部での粗掘り・遺構確認精査・検出遺構の調査に全力を傾けた。	・６日、原因者側に調査区北側の排土除去を要請した。
２週	調査区北側東端部での遺構の検出が続いた。調査区南側は、結局、遺物が散発的に出土するにとどまったため、同地区の調査を終了した。	・11日、文化財保護室の大野副主幹が現場視察のため来跡。
３週	調査区北側東端部の粗掘り・遺構確認精査を進め、遺構検出に努めた。	

平成12年	作　業　状　況	特　記　事　項
４週	調査区北側東端部での粗掘り・遺構確認精査・検出遺構の調査を行った。調査区東端部の広い範囲で重機による掘り下げを行ったところ、柱穴様ピット・鍛冶炉跡（SN96）等の遺構を確認した。	・24日、冨樫県立博物館長、25日、船木副所長が来跡し、遺跡についての著述の紹介やアドバイスを受けた。 ・24日、バックホー・キャタトラでの表土除去・運搬を開始した。 ・27日、バックホー・キャタトラでの表土除去・運搬を終了した。
８月１週	調査区北側東端部での粗掘り・遺構確認精査・検出遺構の調査を行った。先に検出した遺構を井戸跡・掘立柱建物跡と判断した。（猛暑の中での作業が続いた。）	・ベルトコンベアーを設置・稼動。 ・４日、新山小学校６年生を対象にした体験学習を実施した。
８月２週	調査区北側東端部での粗掘り・遺構確認精査・検出遺構の調査を行った。井戸跡の検出が続いた。	・須恵器系中世陶器、曲物等、遺跡の性格を明らかにする上で貴重と思われる遺物を検出した。
３週	盆休み。 17日、重機による基盤土除去及び排土移動の作業が始まったため、栗澤文化財主査のみが出勤し、基盤土除去区域の指示を行った。	・17日、櫻田・小林両課長補佐が現地指導のため、来跡。バックホー・キャタトラでの基盤土除去・運搬を開始した。
４週	調査区北側東端部での粗掘り・遺構確認精査・検出遺構の調査、重機による調査区北側の基盤土除去を行った。同地区から井戸跡・溝跡・柱穴列・道路跡等の遺構を検出した。	・大内町からの作業員５名を新規に採用した。
５週	調査区北側東端部での粗掘り・遺構確認精査・検出遺構の調査、重機による調査区北側の基盤土除去を行った。	・28日読売新聞社、29日大内町ケーブルテレビの取材を受ける。
９月１週	調査区北側東端部での粗掘り・遺構確認精査・検出遺構の調査、重機による調査区北側の基盤土除去を行った。平面図作成・写真撮影等の作業を急ぐ。調査区最西端部より井戸跡等の遺構を検出した。	・６日、本荘北中１年生を対象とした体験学習会を実施した。 ・７日、バックホー・キャタトラでの基盤土除去作業を終了した。 ・８日、児玉課長補佐が指導のため来跡。 ・調査区東端部では、先に検出した掘立柱建物跡に重複するかたちで掘立柱建物跡が確認され、溝跡（ＳＤ02）の内側にも柱穴列が確認されるなど集落の様相が明らかになってきた。
２週	調査区東西両端部の粗掘り・遺構確認精査・検出遺構の調査を行った。平面図作成・遺物の実測等の作業を進め、遺跡見学会の準備を行った。	・16日、遺跡見学会（参加者50名）を実施した。（マスコミ２社の取材）
３週	調査区東西両端部の遺構確認精査・検出遺構の調査を行った。東端部の井戸跡から炭化した米や小豆などが見つかった。	・20日、本荘市柳田市長、鷹照助役、片倉教育長、井島社会教育課長、小松秘書室長が見学のため来跡。 ・21日、空中写真撮影。南内越郷土史探求サークル会員７名が見学のため来跡。
４週	調査区東西両端部の遺構確認精査・検出遺構の調査を行った。井戸跡の精査・実測・写真撮影等の作業を急ぐ。調査区を西側に拡張、井戸跡、柱穴様ピット等の遺構を検出した。	・26日、塩谷順耳氏が船木副所長と共に来跡。 ・本荘市企画調整課鈴木広報係長が取材のため来跡。
10月１週	調査区東西両端部の遺構確認精査・検出遺構の調査を行った。４日から西側調査区外の調査に着手し、６日に終了した。	・５日、櫻田課長補佐が調査の進捗状況視察のため来跡。
２週	調査区東端部の遺構確認精査及び遺構の写真撮影・撤収作業を行い、大浦遺跡の発掘調査を終了した。	・11日、遺跡及び周辺地形の空中写真撮影。 ・12日、芋川災害復旧事務所柴田主査・加藤技師来跡、文化財保護室泉田学芸主事立ち会いのもと、大浦遺跡の発掘調査終了を報告し、同調査区を復旧事務所側に引き渡した。 ・13日、芳賀所長が本荘市教委・芋川災害復旧事務所に挨拶のため来跡。

第４章　調査の記録

本調査では、掘立柱建物跡７棟、柱穴列３条、柱穴様ピット594基、竪穴状遺構１基、井戸跡17基、土坑12基、鍛冶炉跡１基、溝跡10条、道路跡１条、その他の遺構２基の計648遺構を第４層上面で検出した。これらの検出遺構は、調査区東端部と西端部の２地区に集中しており、調査区中央部及びその付近では数が少なく散在している。遺物は、主に遺構が集中する調査区の東端部と西端部の第Ⅱ層と遺構内覆土中から、平安時代、中世、近世に属するもの及び炭化した米や雑穀類などが出土した。

第１節　検出遺構

１　掘立柱建物跡

ＳＢ03掘立柱建物跡（第７図、図版４）

ＫＱ62・63・64、ＫＲ61・62・63・64、ＫＳ62・63・64・65、ＫＴ62・63・64の各グリッドで確認した桁行５間×梁行４間の規模の総柱掘立柱建物跡である。桁行（Ｐ１～Ｐ６）の長さは12.40m、梁行（Ｐ６～Ｐ29）の長さは10.40mを測る。ＳＥ358井戸跡と重複するが、新旧関係は不明である。遺物はＰ21から須恵器系中世陶器の擂鉢口縁部片が１点（第５図31）出土している。

ＳＢ37掘立柱建物跡（第８図、図版４）

ＬＡ63・64・65、ＬＢ63・64・65、ＬＣ63・64・65・66、ＬＤ64の各グリッドで確認した桁行４間×梁行３間の規模の総柱掘立柱建物跡である。桁行（Ｐ１～Ｐ５）の長さは10.25m、梁行（Ｐ５～Ｐ20）の長さは7.50mを測る。ＳＢ39・ＳＢ55掘立柱建物跡と重複するが、新旧関係は不明である。遺物はＰ１から銭貨の熙寧元寶（第30図85）と元祐通寶（第30図86）が重なって出土した。

ＳＢ39掘立柱建物跡（第９図、図版４）

ＬＡ63・64・65、ＬＢ63・64・65、ＬＣ63・64・65・66、ＬＤ64の各グリッドで確認した４間×４間の規模の総柱掘立柱建物跡である。桁行（Ｐ５～Ｐ23）の長さは9.10m、梁行（Ｐ１～Ｐ５）の長さは9.00mを測る。ＳＢ37・ＳＢ55掘立柱建物跡と重複するが、新旧関係は不明である。遺物はＰ13から土錘が１点（第31図97）出土した。

ＳＢ55掘立柱建物跡（第10図、図版５）

ＬＢ62・63・64、ＬＣ62・63・64・65、ＬＤ63・64・65の各グリッドで確認した桁行４間×梁行３間の規模の総柱掘立柱建物跡である。桁行（Ｐ１～Ｐ５）の長さは8.60m、梁行（Ｐ５～Ｐ20）の長さは6.55mを測る。ＳＢ37・ＳＢ39掘立柱建物跡と重複するが、新旧関係は不明である。遺物は出土しなかった。

ＳＢ82掘立柱建物跡（第11図、図版５）

ＫＴ67・68・69、ＬＡ67・68・69、ＬＢ67・68・69の各グリッドで確認した東西両側に１間の庇を伴う掘立柱建物跡である。母屋部分は桁行３間×梁行２間の規模で、桁行（Ｐ２～Ｐ15）の長さは6.80m、梁行（Ｐ２～Ｐ４）の長さは4.50mを測る。庇部分の長さは東西共に1.90mを測り、建物東西方向の総延長（Ｐ１～Ｐ５）は8.30mを測る。ＳＢ214掘立柱建物跡と重複するが、新旧関係は不明

である。遺物は出土しなかった。

ＳＢ214掘立柱建物跡（第12図、図版５）

ＬＡ68・69・70、ＬＢ68・69・70の各グリッドで確認した桁行３間×梁行２間の規模の総柱掘立柱建物跡である。桁行（Ｐ３～Ｐ12）の長さは7.75m、梁行（Ｐ１～Ｐ３）の長さは4.50mを測る。ＳＢ82掘立柱建物跡と重複するが、新旧関係は不明である。遺物は出土しなかった。

ＳＢ766掘立柱建物跡（第12図）

ＭＱ42・43、ＭＲ43の各グリッドで確認した１間×１間の掘立柱建物跡で、桁行（Ｐ２～Ｐ４）の長さは3.55m、梁行（Ｐ１～Ｐ２）の長さは2.30mを測る。遺物は出土しなかった。

２　柱穴列

ＳＡ11柱穴列（第13図、図版６）

ＫＴ66、ＬＡ66・67、ＬＢ67、ＬＣ65・66・67、ＬＤ65の各グリッドで確認した。ＳＤ02溝跡の南側に沿って位置する。Ｐ１からＰ11までが長さ11.90mを測り、Ｐ11からＰ21までが長さ11.00mを測る。21個の柱穴列からなる。遺物は出土しなかった。

ＳＡ280柱穴列（第13図、図版６）

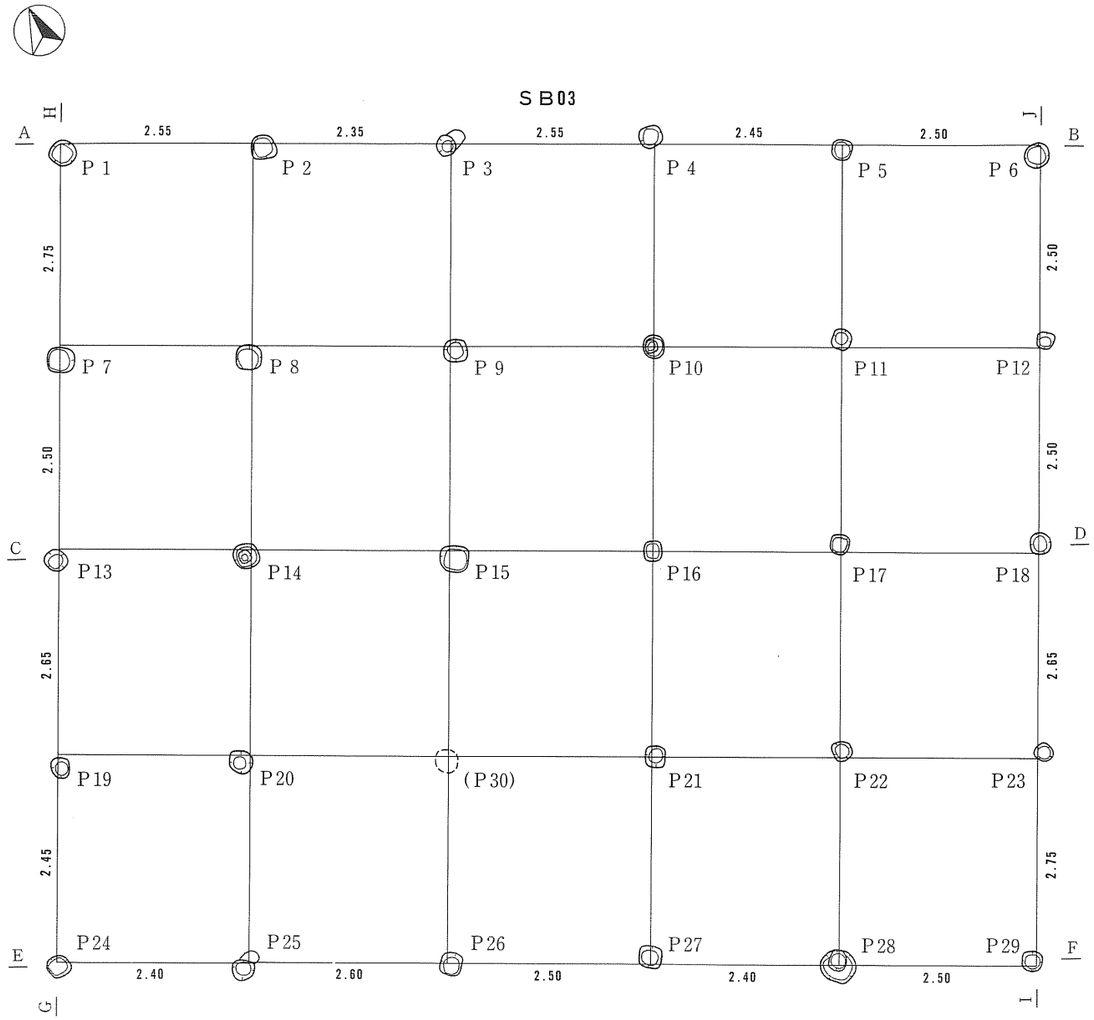
ＬＢ62、ＬＣ62、ＬＤ62・63の各グリッドで確認した。ＳＢ55掘立柱建物跡の南西側に位置する。長さ8.50mを測り、７個の柱穴列からなる。遺物は出土しなかった。

ＳＡ688柱穴列（第13図）

ＭＲ45・46・47の各グリッドで確認した。長さ11.00mを測り、６個の柱穴列からなる。遺物は出土しなかった。

第２表　掘立柱建物跡柱穴掘形観察表（１）

P．No	平面形	大きさ			底　面の標高	P．No	平面形	大きさ			底　面の標高
		長軸	短軸	深さ				長軸	短軸	深さ	
ＳＢ03											
1	円形	35cm	32cm	32cm	5.84m	16	方形	23cm	22cm	43cm	5.74m
2	方形	32cm	30cm	46cm	5.56m	17	方形	23cm	23cm	43cm	5.76m
3	円形	27cm	25cm	45cm	5.81m	18	方形	26cm	24cm	25cm	5.94m
4	方形	28cm	27cm	30cm	5.88m	19	方形	25cm	22cm	56cm	5.65m
5	方形	26cm	24cm	31cm	5.84m	20	方形	28cm	26cm	40cm	5.75m
6	方形	29cm	27cm	24cm	5.93m	21	方形	26cm	24cm	43cm	5.68m
7	方形	33cm	32cm	45cm	5.74m	22	方形	23cm	23cm	22cm	5.77m
8	方形	31cm	31cm	34cm	5.85m	23	円形	23cm	20cm	12cm	5.78m
9	方形	29cm	28cm	54cm	5.65m	24	楕円形	30cm	27cm	30cm	5.89m
10	方形	28cm	25cm	36cm	5.83m	25	方形	28cm	24cm	30cm	5.78m
11	方形	23cm	23cm	40cm	5.80m	26	方形	27cm	26cm	32cm	5.75m
12	方形	21cm	21cm	44cm	5.78m	27	方形	28cm	27cm	46cm	5.61m
13	円形	28cm	27cm	34cm	5.86m	28	楕円形	42cm	40cm	38cm	5.75m
14	方形	33cm	31cm	46cm	5.72m	29	方形	25cm	24cm	24cm	5.89m
15	方形	33cm	31cm	18cm	5.75m						
ＳＢ37											
1	方形	25cm	23cm	27cm	6.06m	11	円形	31cm	29cm	22cm	6.12m
2	方形	28cm	28cm	35cm	5.97m	12	方形	29cm	25cm	16cm	6.16m
3	方形	29cm	27cm	18cm	6.12m	13	方形	32cm	27cm	27cm	6.07m
4	方形	33cm	30cm	38cm	5.95m	14	方形	30cm	27cm	29cm	6.03m
5	方形	39cm	36cm	34cm	5.91m	15	方形	26cm	24cm	36cm	5.85m
6	方形	25cm	23cm	29cm	6.07m	16	方形	25cm	22cm	25cm	6.12m
7	方形	37cm	34cm	32cm	6.07m	17	方形	23cm	23cm	35cm	5.89m
8	方形	35cm	33cm	26cm	6.08m	18	方形	44cm	37cm	36cm	5.91m
9	楕円形	30cm	27cm	23cm	6.08m	19	方形	41cm	39cm	37cm	5.87m
10	方形	44cm	38cm	36cm	5.92m	20	方形	39cm	34cm	41cm	5.86m
ＳＢ39											
1	円形	23cm	22cm	32cm	6.02m	13	方形	25cm	24cm	39cm	5.92m
2	方形	24cm	23cm	17cm	6.12m	14	円形	27cm	25cm	38cm	5.88m
3	方形	27cm	25cm	15cm	6.10m	15	方形	24cm	22cm	26cm	6.10m
4	方形	24cm	22cm	13cm	6.14m	16	方形	24cm	22cm	42cm	5.87m
5	円形	22cm	21cm	30cm	6.02m	17	方形	22cm	18cm	20cm	6.15m
6	円形	24cm	23cm	35cm	6.02m	18	円形	23cm	23cm	39cm	5.87m
7	円形	24cm	24cm	34cm	6.02m	19	楕円形	25cm	22cm	25cm	6.07m
8	円形	22cm	21cm	19cm	6.15m	20	円形	19cm	19cm	16cm	6.11m
9	円形	24cm	22cm	18cm	6.16m	21	楕円形	26cm	22cm	12cm	6.15m
10	方形	25cm	23cm	33cm	6.09m	22	方形	22cm	22cm	24cm	6.02m
11	円形	27cm	26cm	33cm	6.05m	23	円形	24cm	24cm	44cm	5.82m
12	楕円形	32cm	25cm	24cm	6.11m						
ＳＢ55											
1	方形	26cm	25cm	26cm	6.09m	11	円形	27cm	26cm	23cm	6.09m
2	方形	25cm	24cm	32cm	6.08m	12	方形	21cm	20cm	21cm	6.08m
3	方形	26cm	24cm	31cm	6.01m	13	方形	24cm	21cm	15cm	6.10m
4	方形	25cm	24cm	40cm	5.89m	14	方形	28cm	26cm	20cm	6.05m
5	方形	29cm	26cm	40cm	5.92m	15	方形	26cm	25cm	26cm	5.98m
6	楕円形	27cm	21cm	24cm	6.14m	16	方形	31cm	23cm	26cm	6.09m
7	方形	27cm	24cm	27cm	6.03m	17	方形	23cm	22cm	27cm	6.01m
8	方形	25cm	24cm	26cm	6.03m	18	方形	33cm	30cm	34cm	5.96m
9	方形	28cm	26cm	17cm	6.13m	19	方形	25cm	22cm	13cm	6.08m
10	方形	28cm	26cm	35cm	5.97m	20	方形	25cm	24cm	38cm	5.82m



※柱間寸法の単位：m
（掘立柱建物跡、柱穴列については、
以下同様である。）

0　4 m

第７図　ＳＢ03掘立柱建物跡

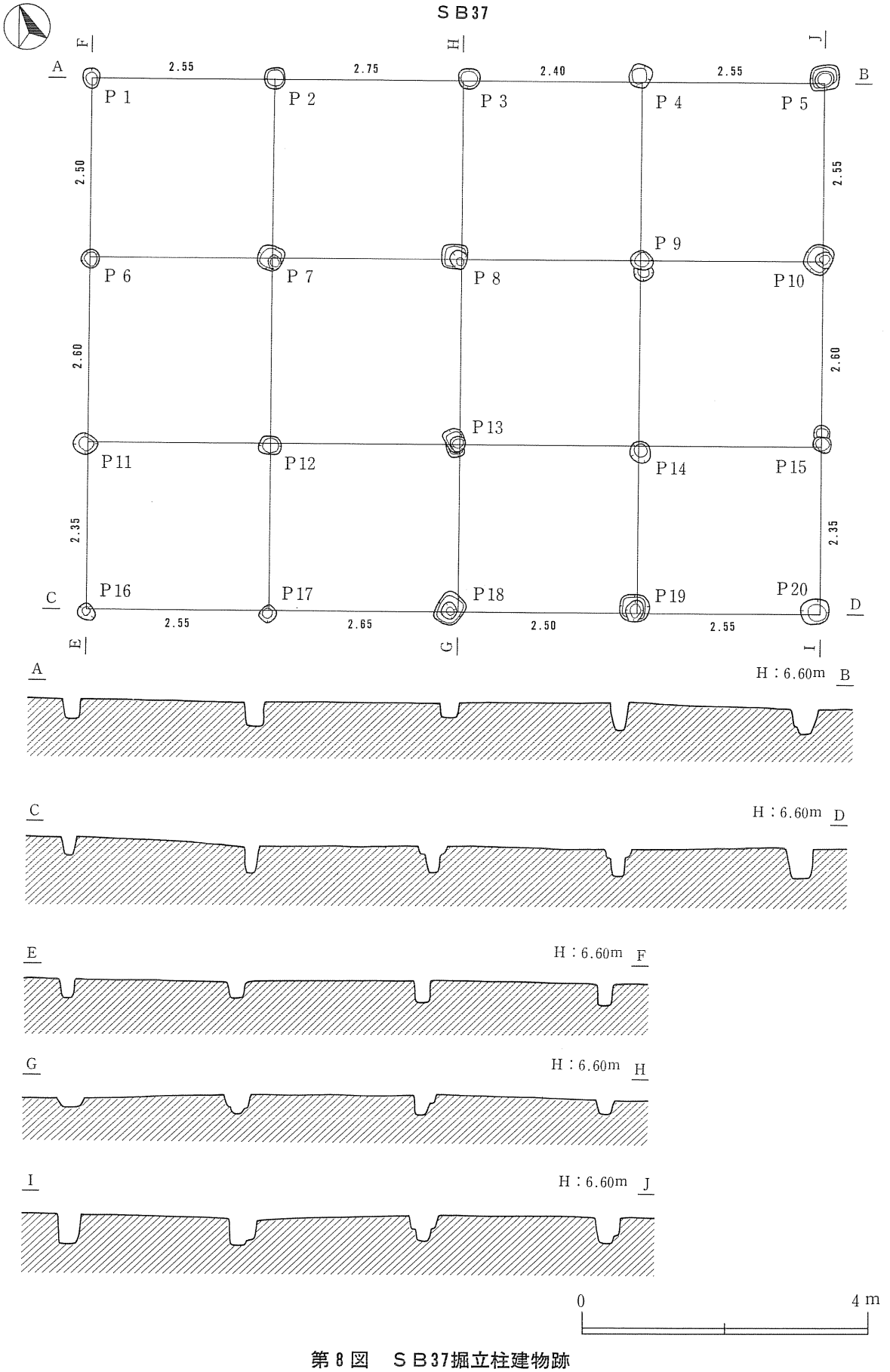
第２表　掘立柱建物跡柱穴掘形観察表（２）

P．No	平面形	大きさ			底　面の標高	P．No	平面形	大きさ			底　面の標高
		長軸	短軸	深さ				長軸	短軸	深さ	
ＳＢ82											
1	方形	37cm	31cm	40cm	5.98m	10	方形	40cm	37cm	37cm	5.99m
2	方形	30cm	30cm	33cm	6.05m	11	方形	32cm	31cm	46cm	5.92m
3	方形	40cm	33cm	33cm	6.03m	12	方形	31cm	30cm	27cm	6.05m
4	方形	40cm	39cm	50cm	5.84m	13	方形	28cm	25cm	27cm	6.02m
5	方形	30cm	29cm	34cm	6.00m	14	方形	43cm	40cm	25cm	6.13m
6	方形	36cm	34cm	40cm	5.97m	15	方形	37cm	32cm	37cm	5.98m
7	楕円形	29cm	27cm	44cm	5.93m	16	方形	38cm	37cm	23cm	6.13m
8	円形	35cm	34cm	32cm	6.04m	17	方形	27cm	26cm	36cm	6.01m
9	方形	31cm	27cm	28cm	6.08m	18	方形	28cm	28cm	25cm	6.06m
ＳＢ214											
1	方形	24cm	24cm	32cm	6.00m	7	〔方形〕	(20cm)	21cm	19cm	6.17m
2	方形	26cm	25cm	23cm	6.08m	8	方形	29cm	26cm	30cm	6.07m
3	方形	26cm	21cm	29cm	6.03m	9	方形	29cm	26cm	19cm	6.14m
4	方形	29cm	27cm	25cm	6.10m	10	方形	28cm	24cm	35cm	6.00m
5	方形	28cm	26cm	40cm	5.93m	11	方形	27cm	26cm	31cm	6.00m
6	方形	24cm	24cm	41cm	5.91m	12	方形	27cm	26cm	20cm	6.08m
ＳＢ766											
1	方形	28cm	26cm	31cm	6.46m	3	方形	26cm	25cm	35cm	6.49m
2	円形	23cm	22cm	34cm	6.46m	4	方形	27cm	27cm	30cm	6.53m

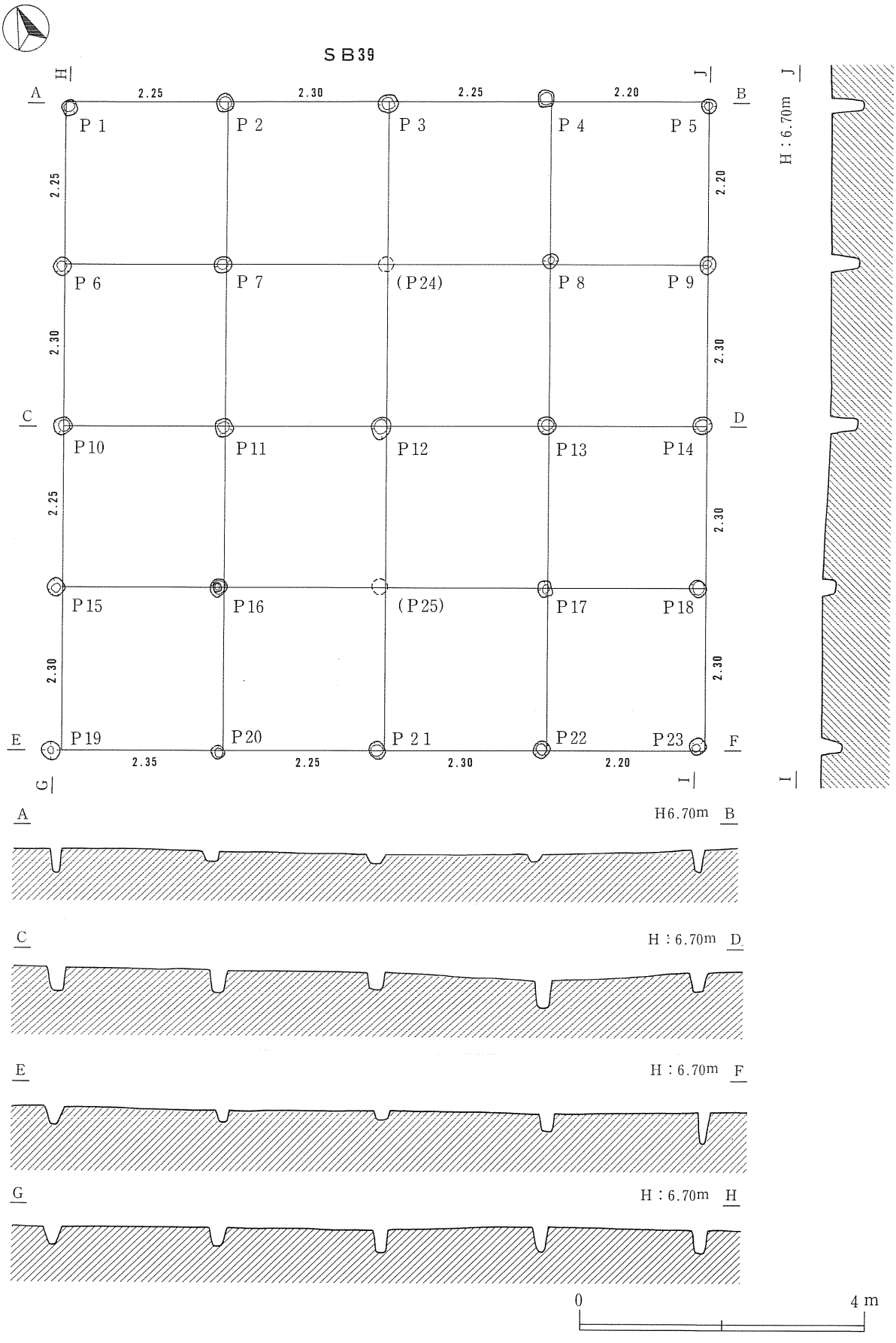
※〔　〕内の平面形は推定形で、（　）内の数値は残存値である。

第３表　柱穴列柱穴観察表

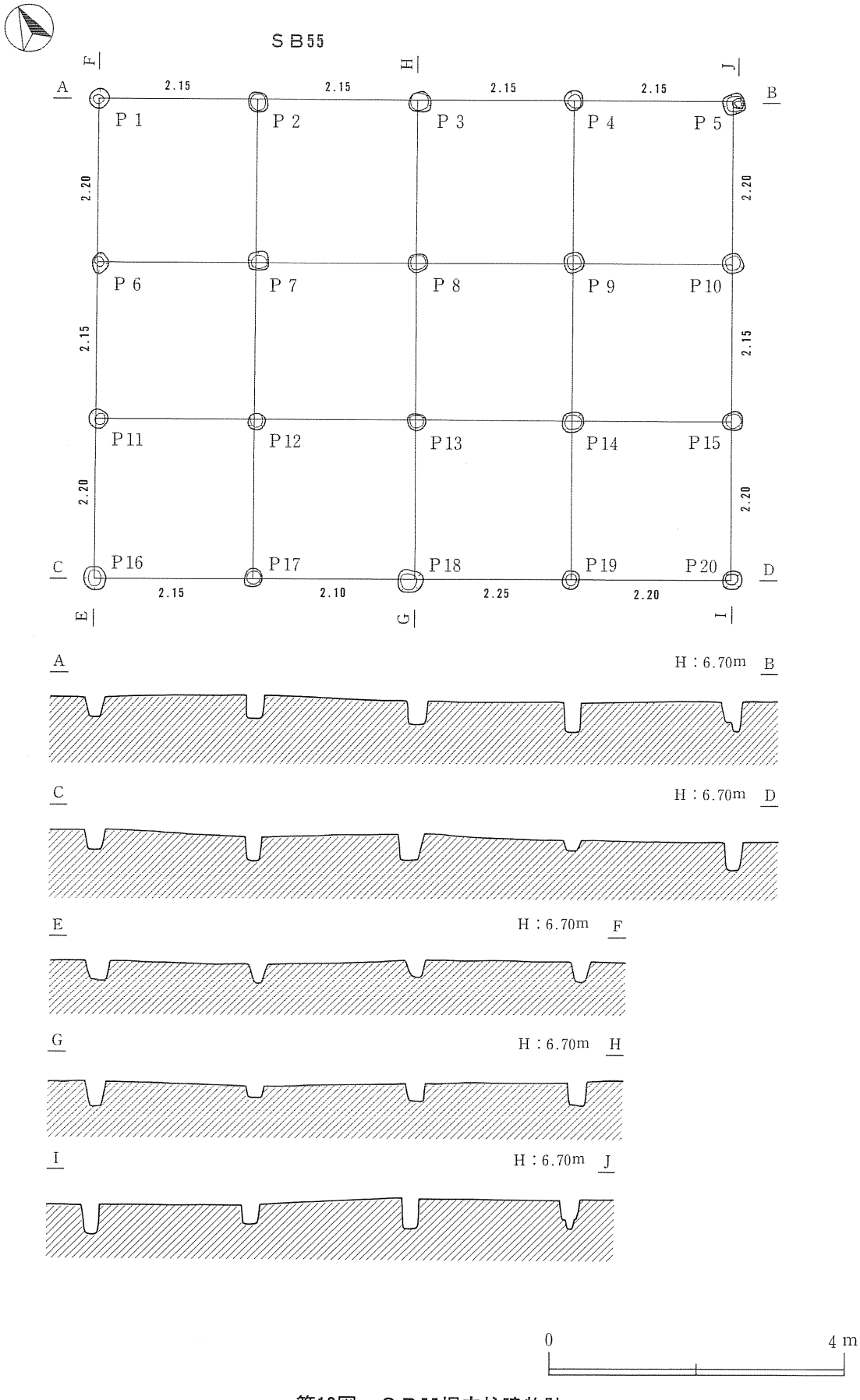
P．No	平面形	大きさ			底　面の標高	P．No	平面形	大きさ			底　面の標高
		長軸	短軸	深さ				長軸	短軸	深さ	
ＳＡ11											
1	円形	22cm	21cm	18cm	6.20m	12	方形	22cm	21cm	26cm	6.12m
2	円形	24cm	24cm	19cm	6.20m	13	円形	21cm	20cm	28cm	6.09m
3	方形	14cm	13cm	10cm	6.25m	14	楕円形	22cm	20cm	25cm	6.11m
4	円形	17cm	17cm	18cm	6.12m	15	円形	21cm	20cm	23cm	6.12m
5	方形	22cm	22cm	22cm	6.12m	16	楕円形	22cm	20cm	16cm	6.17m
6	円形	20cm	19cm	18cm	6.16m	17	方形	20cm	18cm	23cm	6.12m
7	楕円形	24cm	22cm	18cm	6.18m	18	方形	23cm	23cm	30cm	6.04m
8	方形	18cm	18cm	14cm	6.19m	19	方形	38cm	30cm	22cm	6.18m
9	楕円形	23cm	22cm	11cm	6.26m	20	楕円形	24cm	22cm	10cm	6.27m
10	方形	20cm	18cm	25cm	6.15m	21	楕円形	24cm	21cm	19cm	6.16m
11	円形	23cm	23cm	22cm	6.17m						
ＳＡ280											
1	方形	22cm	20cm	22cm	6.12m	5	円形	16cm	15cm	25cm	6.00m
2	楕円形	20cm	18cm	47cm	5.82m	6	楕円形	20cm	17cm	28cm	5.95m
3	円形	16cm	15cm	19cm	6.10m	7	方形	24cm	22cm	8 cm	6.12m
4	楕円形	17cm	15cm	18cm	6.11m						
ＳＡ688											
1	円形	24cm	23cm	32cm	6.47m	4	楕円形	23cm	20cm	45cm	6.37m
2	楕円形	23cm	21cm	31cm	6.50m	5	円形	28cm	27cm	36cm	6.44m
3	方形	26cm	25cm	51cm	6.30m	6	楕円形	25cm	23cm	41cm	6.40m



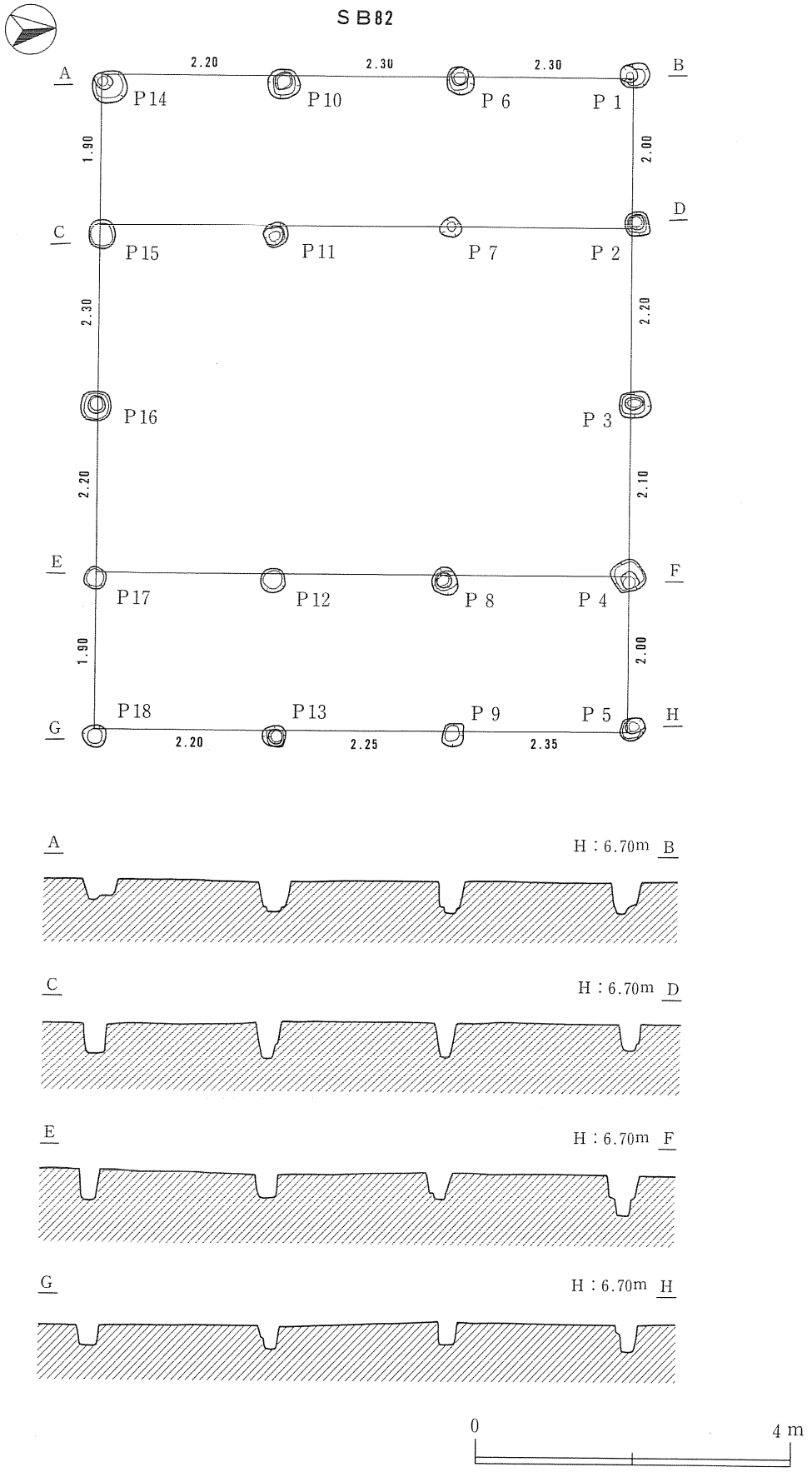
第８図　ＳＢ37掘立柱建物跡



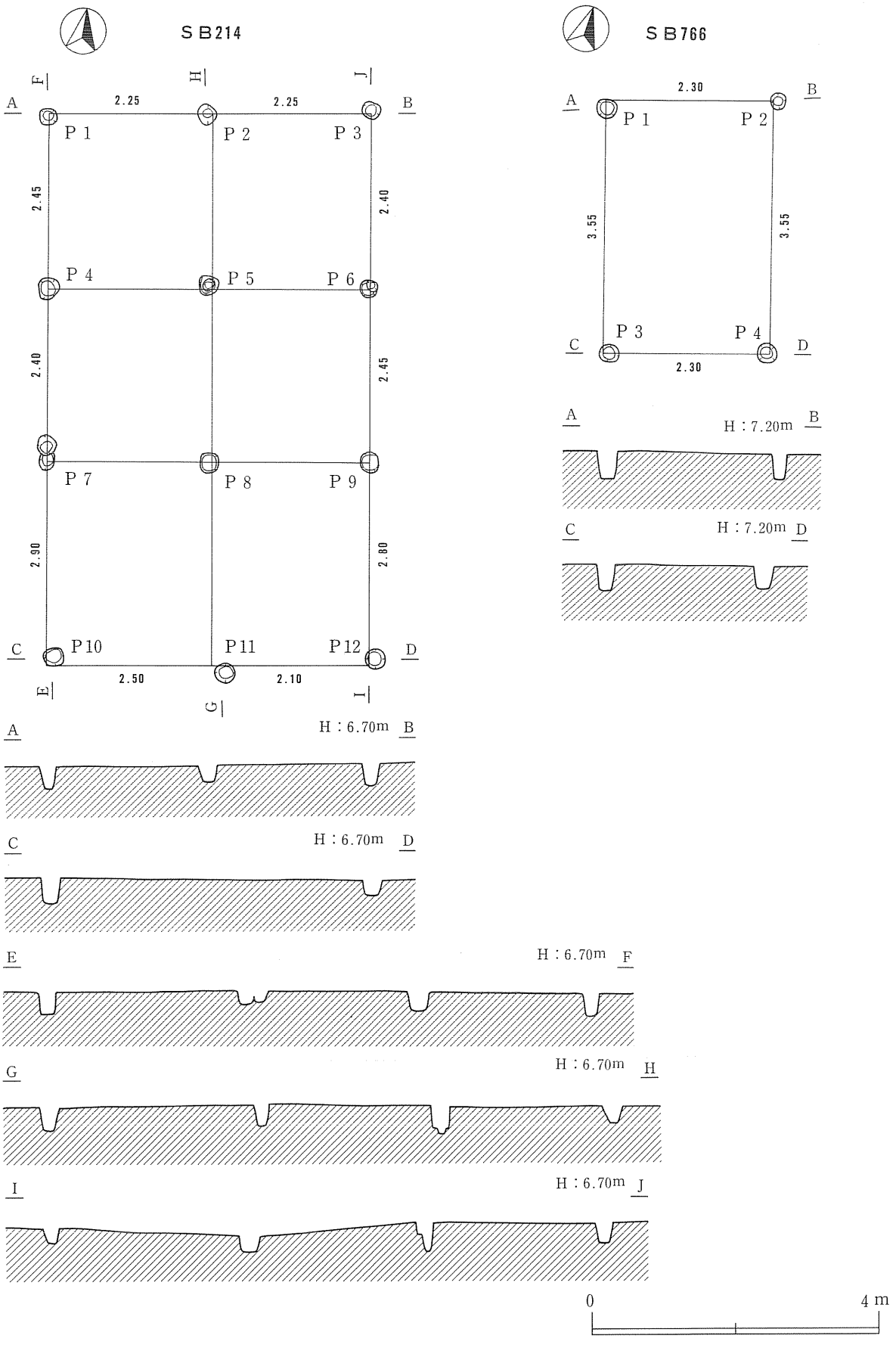
第９図　ＳＢ39掘立柱建物跡



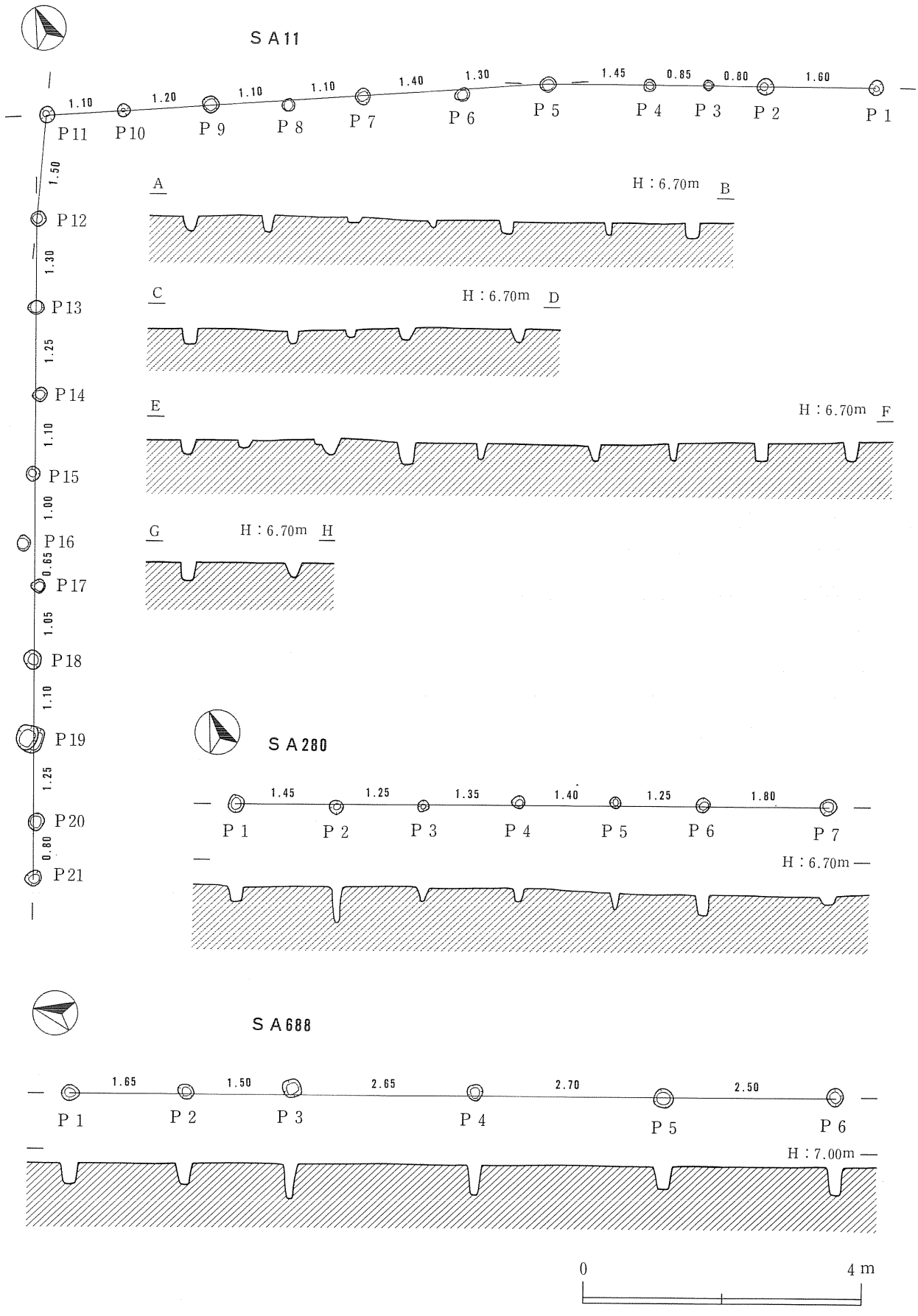
第10図　ＳＢ55掘立柱建物跡



第11図　ＳＢ82掘立柱建物跡



第12図　ＳＢ214・766掘立柱建物跡



第13図　ＳＡ11・280・688柱穴列

３　柱穴様ピット（付図）

柱穴様ピットは調査区東部で491基、西部で103基の計594基を検出した。以下、これらの柱穴様ピットを東部と西部とに分け、東部はさらに、それぞれ南東－北西－南西へ折れ曲がって延びるＳＤ02溝跡とＳＤ531を繋いでひとつの境界線として見た状態で、その内側と外側とに分けて記述する。また、個々の柱穴様ピットについては第４～９表にまとめた。

東部では、ＬＬライン以東・58ライン以北で検出した。検出した柱穴様ピット491基は、内側371基、外側120基に分けることができた。

内側では、４棟の掘立柱建物跡を検出した。しかし、それ以外の柱穴様ピットについては柱痕が確認できるものもあったが、規則的な配列は認められなかった。覆土は褐灰色土（10ＹＲ４／１）～灰黄褐色土（10ＹＲ５／２）で、黒褐色土（10ＹＲ３／１・３／２）を呈するものも若干あった。単一層でほとんどは堅くしまっている。ＳＫＰ386柱穴様ピットのみ３層に分けられ、１層がしまりのある褐灰色土（10ＹＲ５／１）、２層がしまりのある灰黄褐色土（10ＹＲ６／２）、３層がしまりのある灰褐色土（10ＹＲ６／２）である。重複関係は、ＳＫＰ07とＳＫＰ04、ＳＫＰ06とＳＢ03掘立柱建物跡Ｐ３、ＳＫＰ49とＳＢ79Ｐ９、ＳＫＰ75とＳＫＰ74、ＳＫＩ92竪穴状遺構とＳＫＰ85、ＳＮ96鍛冶炉跡とＳＫＰ97、ＳＫ119土坑とＳＫＰ118、ＳＥ127井戸跡とＳＫＰ126、ＳＫＰ170とＳＢ37Ｐ15、ＳＫＰ262とＳＢ37Ｐ13、ＳＫＰ279とＳＫＰ278、ＳＫＰ637とＳＫＰ296、ＳＤ311とＳＫＰ319、ＳＫＰ395とＳＫＰ361、ＳＫＰ482とＳＫＰ481、ＳＫＰ563とＳＢ03Ｐ25、ＳＫ636とＳＫＰ642がそれぞれ重複しており、前者が古く後者が新しい。遺物はＳＫＰ66から青磁椀片（龍泉窯）が１点（第27図53）、ＳＫＰ68から須恵器片が１点、ＳＫＰ97から鉄滓が３点・鉄製品が１点、ＳＫＰ107から鉄滓が３点、ＳＫＰ108から鉄滓が３点、ＳＫＰ113から鉄滓が８点、ＳＫＰ117から鉄滓が31点、ＳＫＰ118から鉄滓が１点、ＳＫＰ134から土師器片が１点、ＳＫＰ142から鉄滓が28点、ＳＫＰ143から鉄滓が７点、ＳＫＰ161から須恵器系中世陶器の擂鉢片が１点（第24図21）、ＳＫＰ273から骨片が１点、ＳＫＰ278から須恵器の甕片が１点、ＳＫＰ287から須恵器系中世陶器の鉢片（ＳＫ448より出土した遺物と接合した）が１点、ＳＫＰ288から須恵器系中世陶器の鉢片が１点、ＳＫＰ310から鞴の羽口が１点（第32図105）・鉄滓が10点、ＳＫＰ433から灰釉平椀口縁部片（古瀬戸中Ⅳ期）が１点（第28図61）、ＳＫＰ652から鉄滓が３点出土した。

外側では、２棟の掘立柱建物跡を検出した。しかし、それ以外の柱穴様ピットについては柱痕が確認できるものもあったが、規則的な配列は認められなかった。覆土は褐灰色土（10ＹＲ４／１）～灰黄褐色土（10ＹＲ５／２）で、にぶい黄褐色土（10ＹＲ５／３）を呈するものも若干あった。単一層でほとんどは堅くしまっている。重複関係は、ＳＫＰ30とＳＫＰ29、ＳＤ212とＳＫＰ213、ＳＢ214Ｐ７とＳＫＰ219、ＳＫＰ446とＳＫＰ445、ＳＫＰ604とＳＫＰ578がそれぞれ重複しており、前者が古く、後者が新しい。遺物はＳＫＰ25から土師器小鉢が１点（第21図１）出土した。

西部では、ＭＱライン以西・48ライン以南で検出し、１棟の掘立柱建物跡を検出した。しかし、それ以外の柱穴様ピットについては規則的な配列は認められず、柱痕も確認できなかった。覆土は褐灰色土（10ＹＲ４／１・５／１）で、堅くしまった単一層である。重複関係はなかった。遺物はＳＫＰ725から須恵器片が１点出土した。

第4表　柱穴様ピット観察表（1）

SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高	SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高
			長軸	短軸	深さ					長軸	短軸	深さ	
04	KR64	楕円形	25cm	21cm	21cm	6.07m	69	LB64	楕円形	33cm	31cm	18cm	6.19m
05	KR64	方形	23cm	21cm	27cm	6.02m	71	LB64・65	楕円形	30cm	25cm	16cm	6.23m
06	KR64	〔楕円形〕	(14cm)	(22cm)	31cm	5.94m	72	LC64・65	楕円形	22cm	20cm	10cm	6.32m
07	KR64	〔方形〕	20cm	(10cm)	19cm	6.09m	73	LB・LC67	円形	21cm	20cm	9cm	6.32m
08	KR64	方形	20cm	19cm	15cm	6.08m	74	LC67	楕円形	30cm	26cm	11cm	6.30m
09	KR63	楕円形	28cm	24cm	10cm	6.19m	75	LC67	〔楕円形〕	(15cm)	(22cm)	10cm	6.30m
10	KQ64	楕円形	23cm	20cm	7cm	6.19m	76	LC67	円形	21cm	21cm	14cm	6.27m
13	KT66・67	方形	16cm	16cm	16cm	6.19m	77	LC67	円形	22cm	21cm	8cm	6.35m
14	KT67	円形	24cm	22cm	13cm	6.21m	78	LC67	方形	19cm	18cm	20cm	6.21m
15	KR66	円形	23cm	22cm	14cm	6.09m	79	LC67	楕円形	28cm	25cm	9cm	6.30m
16	KR66	円形	22cm	21cm	11cm	6.14m	80	LC67	方形	18cm	17cm	8cm	6.32m
17	KR66	円形	22cm	22cm	15cm	6.11m	83	LA・LB66	方形	21cm	21cm	14cm	6.21m
18	KR66	円形	23cm	21cm	28cm	6.00m	84	LB66	方形	25cm	24cm	19cm	6.17m
19	KR66	楕円形	21cm	19cm	17cm	6.09m	85	LB66	方形	22cm	22cm	6cm	6.28m
20	KS66	円形	22cm	21cm	19cm	6.10m	89	LB66	円形	24cm	24cm	19cm	6.15m
21	KS66	円形	20cm	20cm	11cm	6.19m	97	KT61	方形	32cm	27cm	24cm	5.89m
22	KS66	円形	22cm	20cm	12cm	6.19m	98	KT61	円形	20cm	18cm	17cm	5.94m
23	KS66	円形	19cm	17cm	13cm	6.18m	99	KT61	円形	21cm	20cm	11cm	6.05m
24	KS66	方形	28cm	23cm	25cm	5.99m	101	KS61	円形	18cm	18cm	11cm	6.04m
25	KS66	楕円形	43cm	38cm	28cm	5.99m	102	KS61	円形	20cm	19cm	14cm	6.00m
26	KS66	楕円形	23cm	20cm	25cm	6.02m	103	KT61	楕円形	24cm	21cm	27cm	5.90m
27	KS・KT66	楕円形	23cm	21cm	13cm	6.19m	104	KS61	円形	19cm	17cm	18cm	5.98m
28	KS67	円形	20cm	20cm	10cm	6.18m	105	KS61	円形	26cm	25cm	11cm	6.04m
29	KS67	楕円形	38cm	36cm	13cm	6.13m	107	KS61	楕円形	23cm	20cm	21cm	5.91m
30	KS67	〔楕円形〕	(17cm)	(33cm)	11cm	6.16m	108	KS61	楕円形	28cm	26cm	27cm	5.87m
31	KS66	円形	21cm	20cm	11cm	6.19m	110	KS61	円形	20cm	20cm	26cm	5.89m
32	KR67	円形	23cm	21cm	11cm	6.19m	111	KS61	円形	16cm	16cm	23cm	5.92m
33	KR・KS67	円形	31cm	30cm	17cm	6.09m	112	KS61	円形	26cm	25cm	30cm	5.86m
34	KS67	円形	32cm	31cm	11cm	6.18m	113	KS61	円形	26cm	25cm	36cm	5.81m
35	KS67	方形	22cm	22cm	11cm	6.13m	114	KS61	円形	22cm	21cm	34cm	5.81m
36	LA65	楕円形	27cm	25cm	29cm	6.07m	115	KS61	円形	23cm	21cm	21cm	5.95m
38	LA64	方形	30cm	29cm	11cm	6.20m	116	KS61	楕円形	26cm	22cm	18cm	6.00m
40	LA64	方形	29cm	28cm	13cm	6.20m	117	KS61	楕円形	23cm	21cm	38cm	5.82m
43	LB65	方形	28cm	27cm	11cm	6.30m	118	KT61	方形	29cm	28cm	21cm	5.96m
44	LB65	楕円形	21cm	18cm	12cm	6.27m	120	KS61	方形	21cm	20cm	34cm	5.80m
45	LB65	円形	21cm	21cm	11cm	6.31m	121	KT61	円形	24cm	22cm	31cm	5.87m
47	LA66	方形	24cm	21cm	14cm	6.21m	122	KT61	円形	32cm	31cm	42cm	5.77m
48	LA66	方形	21cm	17cm	25cm	6.10m	123	KT・LA61	方形	29cm	27cm	19cm	5.99m
49	LA64	〔方形〕	28cm	(16cm)	16cm	6.17m	124	LA61	方形	21cm	20cm	45cm	5.73m
57	LA64	楕円形	37cm	32cm	15cm	6.14m	125	LA61	楕円形	31cm	29cm	28cm	5.91m
59	LB64	方形	26cm	25cm	24cm	6.16m	126	LA61	方形	23cm	21cm	19cm	6.02m
60	LB64	円形	19cm	18cm	18cm	6.16m	128	LA・LB61	円形	25cm	25cm	46cm	5.69m
61	LB64	方形	18cm	18cm	24cm	6.10m	129	LA60	方形	18cm	17cm	18cm	5.99m
62	LB64・65	円形	23cm	22cm	13cm	6.22m	130	LA60	楕円形	31cm	29cm	18cm	6.00m
63	LB64・65	円形	18cm	18cm	7cm	6.29m	131	LA60	円形	25cm	24cm	25cm	5.93m
64	LB65	楕円形	24cm	22cm	10cm	6.25m	132	KT60	楕円形	25cm	23cm	34cm	5.86m
65	LB65	円形	17cm	17cm	10cm	6.26m	134	KT60	楕円形	29cm	27cm	23cm	5.95m
66	LB65	方形	25cm	19cm	26cm	6.14m	136	KT60	方形	39cm	30cm	20cm	5.98m
67	LB65	円形	21cm	21cm	9cm	6.28m	137	KT60	楕円形	28cm	23cm	16cm	6.00m
68	LB64	楕円形	34cm	31cm	16cm	6.21m	138	KT60	楕円形	32cm	28cm	45cm	5.73m

※〔　〕内の平面形は推定形で、（　）内の数値は残存値である。

第５表　柱穴様ピット観察表（２）

SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高	SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高
			長軸	短軸	深さ					長軸	短軸	深さ	
139	ＫＴ60	円形	27cm	26cm	24cm	5.90m	233	ＫＱ66	円形	20cm	18cm	13cm	6.06m
140	ＫＴ60	方形	27cm	25cm	39cm	5.77m	234	ＫＱ66	方形	24cm	24cm	28cm	5.89m
141	ＫＴ60	方形	24cm	23cm	24cm	5.93m	235	ＫＱ66	円形	25cm	23cm	9 cm	6.08m
142	ＫＳ60	楕円形	28cm	22cm	45cm	5.71m	236	ＫＱ66	円形	15cm	14cm	18cm	6.00m
143	ＫＳ60	方形	21cm	20cm	35cm	5.83m	237	ＫＰ66	楕円形	31cm	25cm	9 cm	6.08m
145	ＫＳ61	方形	21cm	20cm	30cm	5.81m	238	ＫＴ65	円形	27cm	27cm	16cm	6.03m
146	ＫＳ61	方形	33cm	29cm	36cm	5.76m	239	ＫＴ65	円形	22cm	21cm	23cm	5.95m
147	ＫＳ61	円形	30cm	30cm	20cm	5.96m	240	ＫＴ65	円形	28cm	26cm	28cm	5.90m
148	ＫＳ61	楕円形	27cm	22cm	14cm	5.96m	241	ＫＴ65	楕円形	24cm	23cm	41cm	5.77m
149	ＫＳ61	方形	19cm	18cm	18cm	5.96m	242	ＫＴ65	円形	22cm	21cm	23cm	5.96m
150	ＫＳ60	楕円形	39cm	36cm	24cm	5.93m	243	ＫＴ64	円形	27cm	25cm	13cm	6.07m
151	ＫＳ60	円形	25cm	24cm	28cm	5.90m	244	ＫＴ64	円形	25cm	25cm	24cm	6.01m
152	ＫＳ60	円形	21cm	19cm	32cm	5.85m	246	ＫＳ64	方形	28cm	28cm	31cm	5.87m
153	ＫＳ60	方形	24cm	24cm	39cm	5.78m	248	ＫＳ64	楕円形	34cm	31cm	40cm	5.80m
155	ＫＳ59	楕円形	22cm	20cm	18cm	5.99m	249	ＫＳ64	楕円形	36cm	33cm	36cm	5.82m
156	ＫＳ59	円形	21cm	19cm	9 cm	6.07m	250	ＫＳ64	楕円形	25cm	22cm	20cm	5.99m
157	ＫＳ59	楕円形	33cm	28cm	26cm	5.93m	251	ＫＴ64	楕円形	33cm	30cm	25cm	5.91m
160	ＫＴ60	楕円形	34cm	32cm	25cm	5.90m	256	ＬＡ62	円形	17cm	17cm	16cm	5.96m
161	ＫＴ60	円形	28cm	26cm	27cm	5.84m	257	ＫＴ62	方形	22cm	19cm	27cm	5.82m
162	ＫＴ60	円形	22cm	22cm	32cm	5.86m	259	ＫＴ62	方形	41cm	28cm	44cm	5.61m
165	ＫＴ59	楕円形	29cm	27cm	12cm	6.02m	260	ＫＴ62	方形	27cm	25cm	31cm	5.78m
166	ＬＡ67	円形	22cm	20cm	11cm	6.25m	261	ＫＴ62	方形	24cm	23cm	21cm	5.89m
170	ＬＡ63・64	〔楕円形〕	21cm	(15cm)	26cm	5.93m	262	ＬＢ64	〔方形〕	(23cm)	(８cm)	15cm	6.17m
171	ＬＡ60	方形	27cm	25cm	28cm	5.87m	264	ＫＴ62	楕円形	42cm	32cm	34cm	5.80m
173	ＬＡ60	方形	19cm	19cm	26cm	5.90m	265	ＫＴ62	円形	16cm	15cm	23cm	5.84m
175	ＫＲ61	円形	25cm	25cm	44cm	5.70m	267	ＬＢ62	楕円形	19cm	17cm	13cm	6.11m
177	ＬＡ60	楕円形	29cm	27cm	15cm	5.98m	268	ＬＢ62	楕円形	18cm	16cm	10cm	6.13m
179	ＬＤ64	楕円形	26cm	23cm	22cm	6.16m	270	ＬＤ64	楕円形	19cm	17cm	21cm	6.17m
182	ＬＤ64	円形	22cm	21cm	22cm	6.15m	271	ＫＳ63	方形	23cm	19cm	39cm	5.72m
183	ＬＤ64	円形	24cm	23cm	14cm	6.23m	272	ＬＡ62	円形	23cm	22cm	28cm	5.92m
184	ＬＤ64	方形	20cm	20cm	23cm	6.13m	273	ＬＡ62	方形	16cm	15cm	37cm	5.84m
185	ＬＤ64	方形	20cm	19cm	16cm	6.20m	274	ＬＡ62	楕円形	34cm	32cm	39cm	5.81m
186	ＬＤ64	円形	22cm	20cm	21cm	6.15m	275	ＬＢ62	楕円形	28cm	25cm	14cm	6.07m
188	ＬＤ64	円形	21cm	21cm	16cm	6.20m	276	ＬＢ62	円形	21cm	21cm	10cm	6.12m
189	ＬＤ64・65	円形	18cm	17cm	17cm	6.18m	277	ＬＢ61	楕円形	20cm	18cm	25cm	5.96m
191	ＬＤ65	円形	19cm	18cm	27cm	6.08m	278	ＫＳ62	楕円形	18cm	15cm	24cm	5.84m
193	ＬＤ65	円形	23cm	22cm	11cm	6.24m	279	ＫＳ62	〔円形〕	11cm	(４cm)	11cm	5.98m
195	ＬＤ65	方形	23cm	22cm	24cm	6.13m	281	ＬＢ62	円形	30cm	29cm	13cm	6.08m
197	ＬＤ64	方形	19cm	19cm	26cm	6.11m	283	ＫＳ63	方形	19cm	16cm	16cm	5.97m
198	ＬＤ64	円形	23cm	23cm	25cm	6.11m	287	ＫＴ64	方形	23cm	21cm	37cm	5.86m
199	ＬＤ64	方形	22cm	20cm	16cm	6.21m	288	ＫＴ61	方形	35cm	25cm	52cm	5.61m
200	ＬＤ64	円形	20cm	18cm	19cm	6.20m	291	ＬＢ61	方形	19cm	19cm	23cm	5.96m
201	ＬＤ65	楕円形	19cm	17cm	13cm	6.29m	292	ＬＣ61	円形	23cm	22cm	10cm	6.19m
202	ＬＤ65	方形	22cm	20cm	15cm	6.22m	293	ＬＢ61・62	円形	20cm	20cm	17cm	6.03m
205	ＬＤ64	方形	24cm	21cm	25cm	6.08m	296	ＬＡ61	方形	20cm	18cm	11cm	6.01m
207	ＬＤ63	円形	18cm	18cm	13cm	6.19m	298	ＫＴ62	方形	26cm	24cm	37cm	5.69m
208	ＬＤ63	楕円形	21cm	17cm	21cm	6.10m	301	ＫＴ62	方形	24cm	23cm	17cm	5.89m
209	ＬＤ63	楕円形	21cm	19cm	21cm	6.13m	302	ＫＴ62	方形	25cm	21cm	30cm	5.75m
213	ＬＥ63	円形	27cm	27cm	27cm	6.14m	303	ＫＳ61・62	方形	28cm	26cm	32cm	5.77m
219	ＬＢ69	楕円形	28cm	26cm	17cm	6.21m	304	ＫＳ63	楕円形	29cm	26cm	44cm	5.66m

※〔　〕内の平面形は推定形で、（　）内の数値は残存値である。

第6表　柱穴様ピット観察表（3）

SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高	SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高
			長軸	短軸	深さ					長軸	短軸	深さ	
305	KS・KT62	方形	21cm	18cm	29cm	5.78m	396	LE60・61	方形	20cm	19cm	29cm	6.02m
306	KT61	方形	28cm	25cm	32cm	5.82m	397	LE60	方形	20cm	20cm	26cm	6.05m
309	KS60	方形	21cm	20cm	30cm	5.84m	398	LE61	円形	18cm	18cm	18cm	6.16m
310	KR・KS61	楕円形	30cm	26cm	25cm	5.88m	399	LD60・61	円形	24cm	23cm	23cm	6.08m
312	KS58	楕円形	18cm	16cm	17cm	5.95m	400	LD60	楕円形	21cm	19cm	20cm	6.11m
313	LB62	円形	15cm	14cm	14cm	6.06m	401	LD61	方形	26cm	25cm	51cm	5.84m
314	KS59	楕円形	29cm	25cm	15cm	6.01m	402	LC59・60	楕円形	22cm	18cm	15cm	5.91m
315	KT59	方形	19cm	17cm	30cm	5.82m	403	LC59・60	方形	23cm	20cm	19cm	5.87m
317	KR61	方形	25cm	24cm	44cm	5.72m	404	LB59	円形	22cm	22cm	15cm	5.92m
319	KR61	方形	18cm	16cm	19cm	5.84m	405	LB59	円形	27cm	26cm	21cm	5.83m
320	KR61	楕円形	25cm	23cm	34cm	5.81m	406	LB59	楕円形	20cm	17cm	17cm	5.88m
321	LB60	円形	25cm	25cm	17cm	5.92m	407	LB58	円形	22cm	21cm	18cm	5.81m
322	LB60	楕円形	28cm	24cm	17cm	5.92m	408	LB60	円形	20cm	20cm	15cm	5.92m
323	LB61	円形	25cm	25cm	10cm	6.08m	409	LB60	円形	20cm	19cm	23cm	5.85m
325	KS63	方形	21cm	20cm	23cm	5.88m	410	LE61	楕円形	23cm	20cm	24cm	6.10m
327	LB67	円形	18cm	18cm	13cm	6.24m	411	LD61	楕円形	21cm	19cm	30cm	6.01m
328	LB66	方形	18cm	17cm	27cm	6.08m	412	LD・LF60	方形	22cm	20cm	22cm	6.06m
329	KS63	方形	20cm	20cm	22cm	5.88m	413	LE61	楕円形	28cm	25cm	15cm	6.20m
330	KS61	方形	27cm	26cm	15cm	5.99m	414	LE60	楕円形	25cm	23cm	44cm	5.81m
331	LB66	円形	15cm	14cm	19cm	6.14m	415	LE60	円形	25cm	24cm	19cm	6.05m
332	LB66	方形	18cm	15cm	15cm	6.18m	416	LF60	方形	20cm	20cm	25cm	6.08m
335	LB66	円形	23cm	22cm	21cm	6.14m	417	LE59	方形	28cm	24cm	26cm	6.07m
336	KR63	楕円形	15cm	13cm	29cm	5.91m	418	LE59	方形	22cm	22cm	26cm	6.01m
338	KR63	方形	17cm	15cm	14cm	5.99m	419	LF58	楕円形	23cm	21cm	29cm	6.07m
339	KR62	円形	16cm	15cm	20cm	5.87m	420	LF60	円形	17cm	15cm	25cm	6.09m
340	KR62	円形	26cm	25cm	20cm	5.94m	421	LE59	楕円形	27cm	24cm	33cm	5.95m
345	KR63	方形	22cm	21cm	9cm	6.12m	422	LF58・59	楕円形	26cm	23cm	32cm	6.01m
346	KR63	円形	24cm	23cm	27cm	5.90m	423	LE59	楕円形	25cm	21cm	44cm	5.91m
354	KQ64	方形	25cm	22cm	9cm	6.08m	424	LE・LF59	方形	32cm	32cm	36cm	6.00m
357	KT63	方形	33cm	32cm	44cm	5.75m	425	LD61	円形	23cm	21cm	17cm	6.09m
359	KT64	円形	20cm	19cm	29cm	5.92m	426	LD62	方形	25cm	24cm	14cm	6.16m
361	KS63	円形	28cm	28cm	30cm	5.85m	427	LD62	楕円形	26cm	23cm	13cm	6.18m
370	LC59	方形	27cm	26cm	18cm	6.01m	428	LD62	方形	21cm	19cm	19cm	6.06m
371	LC59	方形	27cm	25cm	19cm	6.02m	429	LE61	楕円形	20cm	18cm	14cm	6.18m
372	LC59	方形	28cm	28cm	52cm	5.71m	430	LE60	楕円形	22cm	19cm	23cm	6.08m
373	LD59	円形	21cm	20cm	28cm	5.97m	431	LE59	円形	24cm	23cm	32cm	5.99m
374	LD59	楕円形	24cm	22cm	28cm	5.97m	432	LF59	楕円形	24cm	20cm	23cm	6.13m
375	LD59	円形	21cm	21cm	32cm	5.95m	433	LD60	円形	28cm	26cm	65cm	5.57m
376	LD59	円形	25cm	24cm	18cm	6.08m	434	LD60	円形	24cm	23cm	27cm	5.94m
377	LD・LE60	方形	20cm	19cm	15cm	6.02m	435	LE60	楕円形	16cm	14cm	22cm	6.10m
378	LE59	方形	18cm	17cm	13cm	6.04m	436	LE61	円形	22cm	21cm	29cm	6.00m
379	LE59・60	円形	21cm	20cm	15cm	6.02m	437	LE62	方形	17cm	15cm	24cm	6.12m
380	LE60	円形	23cm	21cm	13cm	6.15m	438	LF61	楕円形	22cm	20cm	22cm	6.15m
381	LE・LF60	方形	22cm	21cm	24cm	6.09m	439	LE62	楕円形	28cm	26cm	30cm	6.00m
382	LC59	方形	30cm	27cm	29cm	5.87m	440	LG61	円形	26cm	25cm	18cm	6.24m
383	LC59	楕円形	51cm	35cm	28cm	5.85m	441	LH61	円形	20cm	20cm	16cm	6.24m
384	LD59	楕円形	23cm	20cm	30cm	5.95m	442	LH61	方形	38cm	34cm	20cm	6.20m
386	LE60	円形	42cm	39cm	28cm	6.00m	443	LI61	方形	19cm	18cm	18cm	6.25m
394	LE60	楕円形	22cm	20cm	32cm	6.00m	444	LJ61	楕円形	24cm	20cm	26cm	6.17m
395	KS63	〔楕円形〕	39cm	(15cm)	19cm	5.97m	445	LI61	円形	23cm	21cm	20cm	6.20m

※〔　〕内の平面形は推定形で、（　）内の数値は残存値である。

第7表　柱穴様ピット観察表（4）

SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高	SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高
			長軸	短軸	深さ					長軸	短軸	深さ	
446	ＬＩ61	〔楕円形〕	(17cm)	22cm	18cm	6.22m	522	ＬＤ60	方形	24cm	21cm	16cm	6.04m
447	ＬＪ61	円形	19cm	18cm	21cm	6.20m	523	ＬＥ63	円形	22cm	21cm	20cm	6.22m
449	ＬＢ62	楕円形	19cm	16cm	15cm	6.08m	524	ＬＦ63	楕円形	22cm	20cm	20cm	6.21m
450	ＬＢ62	方形	19cm	18cm	23cm	5.98m	525	ＬＤ60	円形	15cm	15cm	16cm	6.09m
452	ＬＢ62	円形	17cm	15cm	10cm	6.10m	526	ＬＤ60	方形	12cm	12cm	18cm	6.09m
453	ＬＢ62	方形	17cm	17cm	20cm	6.00m	527	ＬＥ60	円形	18cm	18cm	18cm	6.05m
454	ＬＢ62	方形	13cm	13cm	20cm	6.01m	528	ＬＥ60	方形	12cm	12cm	24cm	6.06m
455	ＬＣ62	円形	17cm	16cm	19cm	6.04m	529	ＬＥ60	方形	25cm	22cm	24cm	6.08m
456	ＬＣ62	楕円形	22cm	20cm	21cm	6.07m	532	ＬＥ60	円形	12cm	12cm	13cm	6.14m
461	ＬＣ62	円形	17cm	17cm	23cm	6.07m	533	ＬＥ60	方形	13cm	12cm	15cm	6.13m
462	ＬＤ62	円形	15cm	15cm	16cm	6.15m	534	ＬＥ60	方形	34cm	31cm	24cm	6.01m
463	ＬＤ62	楕円形	15cm	14cm	16cm	6.07m	535	ＬＤ60	方形	27cm	27cm	22cm	5.98m
465	ＬＤ62	円形	31cm	31cm	19cm	6.10m	536	ＬＤ60	方形	22cm	21cm	13cm	6.09m
467	ＬＤ61	円形	20cm	19cm	15cm	6.11m	537	ＬＤ59・60	方形	18cm	17cm	17cm	6.03m
468	ＬＣ61	円形	19cm	19cm	16cm	6.14m	538	ＬＤ59	円形	21cm	20cm	20cm	6.05m
469	ＬＣ61	円形	17cm	17cm	8cm	6.19m	540	ＬＦ59	楕円形	19cm	17cm	34cm	6.00m
470	ＬＣ61	楕円形	25cm	22cm	23cm	6.00m	541	ＬＦ59	方形	16cm	16cm	21cm	6.12m
471	ＬＤ61	円形	25cm	25cm	17cm	6.12m	542	ＬＦ59	楕円形	18cm	16cm	18cm	6.19m
472	ＬＤ61	楕円形	20cm	14cm	15cm	6.14m	543	ＬＦ59	円形	15cm	14cm	18cm	6.19m
473	ＬＤ61	円形	15cm	14cm	14cm	6.16m	544	ＬＦ58	楕円形	22cm	20cm	27cm	6.07m
474	ＬＤ61	楕円形	17cm	14cm	25cm	6.04m	546	ＬＥ58	楕円形	19cm	17cm	21cm	6.11m
475	ＬＤ61	円形	16cm	15cm	16cm	6.17m	547	ＬＤ58	方形	26cm	25cm	30cm	5.92m
476	ＬＤ61	楕円形	17cm	15cm	14cm	6.15m	548	ＬＣ64	楕円形	23cm	21cm	19cm	6.11m
477	ＬＥ61	方形	18cm	18cm	12cm	6.14m	549	ＬＣ64	楕円形	18cm	16cm	25cm	6.05m
479	ＬＣ65	円形	20cm	20cm	27cm	6.09m	551	ＬＣ64	円形	31cm	29cm	30cm	5.97m
481	ＬＣ65	楕円形	24cm	22cm	32cm	6.04m	556	ＬＣ67	円形	23cm	23cm	12cm	6.26m
482	ＬＣ65	〔楕円形〕	(16cm)	16cm	31cm	6.05m	557	ＫＳ63	方形	25cm	24cm	18cm	5.84m
483	ＬＣ65	方形	31cm	26cm	54cm	5.83m	559	ＬＡ65	方形	19cm	18cm	12cm	6.10m
484	ＬＣ66	楕円形	27cm	24cm	32cm	6.01m	560	ＬＣ64	楕円形	20cm	16cm	28cm	6.02m
486	ＬＣ66	円形	16cm	15cm	20cm	6.16m	561	ＬＣ64	円形	31cm	29cm	28cm	6.03m
488	ＬＢ65	円形	22cm	22cm	35cm	5.92m	562	ＬＡ62	方形	28cm	26cm	29cm	5.89m
490	ＬＣ63	楕円形	22cm	19cm	22cm	6.09m	563	ＫＴ62	〔方形〕	(17cm)	18cm	29cm	5.79m
504	ＬＣ63	楕円形	19cm	16cm	28cm	5.99m	565	ＬＦ63	円形	25cm	23cm	14cm	6.24m
505	ＬＣ63	円形	18cm	17cm	25cm	6.05m	566	ＬＦ63	楕円形	26cm	23cm	14cm	6.25m
506	ＬＥ63	楕円形	22cm	19cm	16cm	6.22m	567	ＬＦ63	楕円形	16cm	13cm	11cm	6.27m
507	ＬＨ61	円形	17cm	16cm	24cm	6.16m	570	ＬＦ64	円形	27cm	25cm	36cm	6.05m
508	ＬＨ61	楕円形	28cm	25cm	17cm	6.23m	571	ＬＦ64	円形	22cm	21cm	19cm	6.21m
509	ＬＨ61	方形	29cm	28cm	26cm	6.11m	572	ＬＦ64	円形	37cm	36cm	16cm	6.23m
510	ＬＨ61	円形	20cm	19cm	10cm	6.27m	573	ＬＧ64	方形	20cm	19cm	15cm	6.30m
511	ＬＩ61	円形	20cm	20cm	18cm	6.24m	574	ＬＧ64	円形	25cm	24cm	23cm	6.19m
512	ＬＩ61	方形	36cm	28cm	21cm	6.24m	575	ＬＧ64	円形	25cm	24cm	23cm	6.17m
513	ＬＪ60	方形	29cm	24cm	13cm	6.22m	576	ＬＧ64	楕円形	23cm	20cm	15cm	6.29m
514	ＬＩ62	楕円形	25cm	22cm	20cm	6.27m	577	ＬＨ64	円形	22cm	21cm	23cm	6.16m
515	ＬＩ62	楕円形	25cm	22cm	18cm	6.31m	578	ＬＨ63	円形	18cm	18cm	26cm	6.17m
516	ＬＩ62	円形	24cm	24cm	20cm	6.25m	579	ＬＨ64	方形	21cm	21cm	15cm	6.34m
517	ＬＩ63	楕円形	26cm	23cm	43cm	6.03m	580	ＬＨ64	円形	18cm	16cm	18cm	6.32m
518	ＬＤ60	方形	24cm	23cm	19cm	6.03m	581	ＬＩ64	円形	24cm	24cm	43cm	6.07m
519	ＬＥ60	方形	22cm	16cm	27cm	6.08m	582	ＬＩ64	円形	29cm	27cm	16cm	6.35m
520	ＬＤ59	円形	22cm	22cm	20cm	6.06m	583	ＬＩ64	楕円形	24cm	20cm	15cm	6.37m
521	ＬＤ60・61	方形	22cm	22cm	22cm	6.06m	584	ＬＩ64	楕円形	22cm	18cm	19cm	6.36m

※〔　〕内の平面形は推定形で、（　）内の数値は残存値である。

第８表　柱穴様ピット観察表（５）

SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高	SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高
			長軸	短軸	深さ					長軸	短軸	深さ	
585	ＬＩ64	方形	20cm	20cm	47cm	6.05m	640	ＫＴ61	方形	20cm	19cm	20cm	5.94m
586	ＬＩ64	楕円形	21cm	18cm	17cm	6.35m	641	ＫＴ60	円形	28cm	26cm	27cm	5.88m
587	ＬＩ63	円形	22cm	21cm	17cm	6.33m	642	ＫＳ・ＫＴ61	楕円形	25cm	23cm	14cm	5.74m
588	ＬＪ64	楕円形	27cm	24cm	18cm	6.37m	643	ＫＴ61	方形	22cm	22cm	24cm	5.91m
589	ＬＪ64	楕円形	20cm	17cm	17cm	6.36m	644	ＫＴ61	方形	37cm	36cm	16cm	5.97m
590	ＬＪ64	円形	17cm	17cm	41cm	6.10m	645	ＬＤ60	円形	25cm	24cm	20cm	6.09m
591	ＬＪ63・64	楕円形	21cm	19cm	32cm	6.16m	646	ＬＡ61	方形	22cm	22cm	22cm	5.85m
592	ＬＫ64	楕円形	23cm	20cm	29cm	6.26m	647	ＬＡ61	楕円形	13cm	11cm	10cm	5.84m
593	ＬＫ63	円形	22cm	20cm	24cm	6.27m	648	ＬＡ61	楕円形	16cm	14cm	8cm	5.84m
594	ＬＪ63	楕円形	32cm	31cm	12cm	6.39m	649	ＬＡ60	方形	24cm	21cm	14cm	5.99m
595	ＬＪ63	方形	28cm	25cm	30cm	6.19m	650	ＬＡ60	方形	19cm	19cm	24cm	5.89m
596	ＬＪ62	円形	22cm	21cm	34cm	6.15m	651	ＬＢ59	円形	17cm	16cm	23cm	5.83m
597	ＬＨ63	方形	23cm	23cm	20cm	6.25m	652	ＬＢ59	方形	13cm	12cm	20cm	5.85m
598	ＬＤ66	楕円形	21cm	17cm	32cm	6.05m	653	ＬＡ・ＬＢ59	円形	14cm	13cm	22cm	5.84m
599	ＬＤ66	円形	23cm	21cm	34cm	6.03m	654	ＬＡ59	楕円形	28cm	25cm	22cm	5.80m
600	ＬＤ67	円形	23cm	21cm	22cm	6.17m	656	ＬＢ59	楕円形	21cm	19cm	22cm	5.79m
601	ＬＥ67	方形	23cm	21cm	28cm	6.15m	657	ＬＢ59	円形	21cm	21cm	17cm	5.83m
602	ＬＧ67	円形	18cm	17cm	36cm	6.09m	658	ＬＡ68	方形	23cm	23cm	22cm	6.12m
603	ＬＧ67	円形	22cm	21cm	30cm	6.13m	661	ＬＢ59	円形	16cm	15cm	12cm	5.88m
604	ＬＨ63・64	〔楕円形〕	20cm	(12cm)	14cm	6.28m	662	ＬＢ58	方形	15cm	14cm	15cm	5.79m
605	ＬＪ・ＬＫ61	楕円形	32cm	30cm	22cm	6.24m	663	ＬＢ59	円形	18cm	18cm	27cm	5.68m
606	ＬＪ61	円形	30cm	29cm	34cm	6.12m	666	ＬＢ58	方形	22cm	19cm	12cm	5.81m
607	ＬＪ61	円形	20cm	19cm	15cm	6.32m	669	ＬＥ67	円形	21cm	21cm	20cm	6.28m
608	ＬＩ62	方形	18cm	17cm	12cm	6.31m	670	ＬＥ68	方形	15cm	15cm	16cm	6.29m
609	ＬＩ62	方形	17cm	14cm	21cm	6.26m	672	ＬＤ69	楕円形	27cm	23cm	22cm	6.19m
610	ＬＨ62	円形	24cm	23cm	15cm	6.27m	675	ＬＡ58	円形	41cm	39cm	20cm	5.90m
611	ＬＨ62	方形	15cm	14cm	14cm	6.29m	678	ＬＢ64	円形	22cm	22cm	24cm	6.05m
612	ＬＨ62	円形	25cm	23cm	15cm	6.26m	683	ＫＲ62	円形	23cm	22cm	39cm	5.68m
613	ＬＨ62	円形	14cm	14cm	15cm	6.27m	684	ＭＱ44	楕円形	28cm	25cm	31cm	6.49m
614	ＬＧ62	方形	15cm	15cm	28cm	6.13m	685	ＭＲ44	円形	21cm	20cm	31cm	6.50m
615	ＬＨ61	方形	28cm	27cm	33cm	6.02m	686	ＭＲ44	円形	16cm	15cm	34cm	6.46m
616	ＬＨ61	方形	19cm	19cm	22cm	6.15m	687	ＭＲ44	円形	19cm	19cm	29cm	6.51m
617	ＬＧ61	方形	18cm	16cm	30cm	6.10m	689	ＭＲ44	円形	20cm	18cm	29cm	6.50m
618	ＬＧ61	方形	24cm	24cm	36cm	6.04m	690	ＭＳ45	方形	24cm	22cm	40cm	6.37m
619	ＬＧ63	楕円形	27cm	23cm	11cm	6.26m	691	ＭＲ・ＭＳ45	円形	20cm	20cm	30cm	6.49m
620	ＬＦ・ＬＧ63	楕円形	22cm	20cm	20cm	6.20m	694	ＭＲ46	円形	20cm	20cm	36cm	6.46m
621	ＬＥ・ＬＦ62	方形	16cm	14cm	23cm	6.13m	695	ＭＲ46	楕円形	19cm	17cm	37cm	6.43m
622	ＬＦ61	方形	24cm	22cm	27cm	6.13m	696	ＭＳ46	円形	19cm	19cm	27cm	6.50m
624	ＬＦ61	楕円形	18cm	15cm	21cm	6.14m	697	ＭＳ46・47	円形	19cm	19cm	29cm	6.52m
625	ＬＨ62	楕円形	28cm	23cm	37cm	6.05m	698	ＭＳ47	円形	20cm	18cm	34cm	6.48m
626	ＬＨ62・63	方形	27cm	26cm	20cm	6.22m	699	ＭＳ46	方形	27cm	27cm	43cm	6.33m
627	ＬＩ63	楕円形	19cm	17cm	14cm	6.34m	700	ＭＳ46・47	円形	18cm	18cm	29cm	6.50m
628	ＬＩ64	円形	28cm	27cm	50cm	6.00m	701	ＭＴ47	方形	14cm	13cm	32cm	6.48m
629	ＬＥ62	円形	14cm	13cm	24cm	6.09m	702	ＭＳ47	円形	22cm	21cm	33cm	6.48m
630	ＬＥ65	円形	16cm	15cm	19cm	6.25m	703	ＭＴ47	円形	21cm	20cm	40cm	6.39m
634	ＫＴ61	円形	21cm	21cm	14cm	5.99m	704	ＭＴ47	方形	18cm	18cm	37cm	6.44m
635	ＫＴ61	円形	23cm	22cm	19cm	5.95m	705	ＭＴ47	方形	16cm	15cm	42cm	6.46m
637	ＬＡ61	〔方形〕	22cm	(19cm)	23cm	5.89m	706	ＭＴ42	楕円形	30cm	27cm	41cm	6.38m
638	ＫＴ61	方形	25cm	24cm	31cm	5.83m	708	ＮＡ42	楕円形	27cm	21cm	38cm	6.45m
639	ＫＴ61	方形	26cm	26cm	25cm	5.91m	709	ＮＡ42	円形	19cm	18cm	30cm	6.55m

※〔　〕内の平面形は推定形で、（　）内の数値は残存値である。

第９表　柱穴様ピット観察表（６）

SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高	SKP番号	検出グリッド	平面形	大きさ			底面の標高
			長軸	短軸	深さ					長軸	短軸	深さ	
710	ＮＡ42	円形	30cm	28cm	35cm	6.53m	761	ＮＡ45	円形	22cm	22cm	33cm	6.45m
711	ＭＴ43	楕円形	23cm	21cm	35cm	6.49m	762	ＮＡ45	方形	19cm	17cm	27cm	6.53m
712	ＭＳ･ＭＴ47	円形	21cm	20cm	36cm	6.45m	763	ＮＡ45	方形	18cm	17cm	28cm	6.49m
713	ＭＳ46	方形	21cm	20cm	33cm	6.45m	764	ＮＡ44・45	円形	28cm	27cm	31cm	6.47m
714	ＭＳ46	円形	21cm	20cm	31cm	6.45m	765	ＭＲ･ＭＳ43	楕円形	27cm	23cm	35cm	6.48m
717	ＬＣ58	円形	22cm	22cm	31cm	5.60m	767	ＭＳ43	円形	22cm	21cm	31cm	6.58m
718	ＬＢ58	方形	29cm	25cm	30cm	5.57m	768	ＮＡ45	円形	14cm	13cm	28cm	6.49m
719	ＬＢ58	楕円形	20cm	19cm	13cm	5.78m	769	ＮＢ45	円形	15cm	14cm	34cm	6.47m
720	ＬＢ58	方形	22cm	20cm	9 cm	5.81m	770	ＮＢ45	楕円形	18cm	16cm	31cm	6.50m
721	ＬＣ59	円形	19cm	18cm	14cm	5.86m	771	ＮＢ45	方形	14cm	14cm	29cm	6.53m
722	ＬＣ59	方形	29cm	25cm	20cm	5.81m	772	ＮＡ･ＮＢ44	楕円形	28cm	25cm	33cm	6.48m
723	ＭＴ42	円形	25cm	23cm	33cm	6.52m	773	ＮＡ44	円形	23cm	22cm	35cm	6.44m
724	ＭＴ43	楕円形	23cm	20cm	31cm	6.51m	774	ＮＢ44・45	楕円形	24cm	21cm	28cm	6.54m
725	ＮＡ43	方形	29cm	27cm	41cm	6.44m	775	ＮＢ45	円形	22cm	21cm	36cm	6.49m
726	ＮＡ43	円形	17cm	16cm	39cm	6.48m	776	ＮＢ･ＮＣ45	楕円形	19cm	16cm	25cm	6.60m
727	ＮＡ43	楕円形	24cm	21cm	29cm	6.51m	777	ＮＣ45	楕円形	21cm	19cm	27cm	6.59m
728	ＮＡ43	楕円形	23cm	21cm	29cm	6.51m	778	ＮＢ45	楕円形	17cm	15cm	30cm	6.56m
729	ＮＡ43	円形	22cm	21cm	30cm	6.50m	779	ＮＢ45	楕円形	21cm	16cm	36cm	6.47m
730	ＮＡ44	楕円形	21cm	19cm	23cm	6.57m	780	ＮＢ45	方形	16cm	16cm	30cm	6.52m
731	ＮＡ43	楕円形	19cm	17cm	26cm	6.58m	781	ＮＢ45	楕円形	23cm	20cm	34cm	6.47m
732	ＮＡ･ＮＢ43	円形	21cm	20cm	48cm	6.39m	782	ＮＢ45	楕円形	22cm	20cm	37cm	6.45m
733	ＮＢ43	楕円形	19cm	18cm	27cm	6.54m	783	ＮＢ45	円形	26cm	25cm	32cm	6.48m
734	ＮＢ43	楕円形	25cm	22cm	29cm	6.51m	784	ＮＡ45	楕円形	28cm	26cm	32cm	6.47m
735	ＮＡ43	楕円形	16cm	15cm	24cm	6.55m	785	ＮＡ45	方形	19cm	18cm	32cm	6.47m
736	ＮＡ43	円形	27cm	26cm	31cm	6.48m	786	ＮＡ45	円形	19cm	19cm	34cm	6.47m
737	ＮＡ44	円形	30cm	28cm	38cm	6.42m	787	ＮＡ45	楕円形	33cm	30cm	33cm	6.46m
738	ＮＢ44	円形	26cm	25cm	25cm	6.56m	788	ＮＡ45・46	円形	20cm	19cm	31cm	6.48m
739	ＮＡ44	楕円形	23cm	22cm	32cm	6.47m	789	ＮＡ45	円形	19cm	17cm	32cm	6.48m
740	ＮＡ44	円形	17cm	17cm	36cm	6.48m	790	ＮＡ46	楕円形	27cm	24cm	34cm	6.44m
741	ＮＡ44	円形	17cm	17cm	27cm	6.51m	795	ＮＡ46	楕円形	24cm	22cm	34cm	6.42m
742	ＭＴ･ＮＡ44	円形	18cm	17cm	43cm	6.32m	796	ＮＢ45	楕円形	21cm	20cm	30cm	6.54m
743	ＭＴ43	方形	21cm	20cm	42cm	6.42m	797	ＮＣ45	円形	20cm	18cm	27cm	6.58m
744	ＭＴ43	楕円形	25cm	22cm	50cm	6.39m	798	ＭＴ41	円形	20cm	19cm	23cm	6.51m
745	ＭＴ46	円形	22cm	21cm	30cm	6.43m	799	ＭＴ42	楕円形	22cm	20cm	34cm	6.43m
746	ＭＳ･ＭＴ46	円形	25cm	23cm	33cm	6.40m	800	ＮＡ41	楕円形	23cm	21cm	28cm	6.56m
747	ＭＴ45	方形	18cm	17cm	31cm	6.45m	801	ＭＴ42	楕円形	26cm	23cm	35cm	6.46m
748	ＮＡ44	円形	21cm	20cm	29cm	6.42m	802	ＮＢ46	円形	14cm	14cm	36cm	6.43m
751	ＬＢ59	楕円形	27cm	24cm	26cm	5.74m	803	ＮＡ46	円形	15cm	15cm	32cm	6.44m
752	ＮＡ45	楕円形	17cm	14cm	34cm	6.43m	806	ＭＲ47	円形	20cm	19cm	27cm	6.56m
753	ＮＡ45	円形	19cm	19cm	33cm	6.45m	807	ＭＱ43	円形	20cm	20cm	16cm	6.31m
754	ＮＡ45	方形	20cm	19cm	32cm	6.45m	808	ＭＳ47	楕円形	17cm	15cm	10cm	6.69m
755	ＮＡ45	楕円形	23cm	18cm	21cm	6.53m	809	ＬＤ58	円形	21cm	19cm	—	—
756	ＮＡ44	方形	26cm	26cm	55cm	6.20m	810	ＬＤ58	円形	20cm	19cm	—	—
757	ＮＡ45	方形	18cm	16cm	26cm	6.48m	811	ＬＤ58	円形	24cm	23cm	—	—
758	ＮＡ45	楕円形	25cm	23cm	31cm	6.43m	812	ＬＣ･ＬＤ58	円形	22cm	21cm	—	—
759	ＮＡ45	円形	18cm	18cm	32cm	6.45m	813	ＬＣ58	円形	26cm	24cm	—	—
760	ＮＡ45	方形	20cm	20cm	32cm	6.44m	814	ＬＣ58	楕円形	20cm	18cm	—	—

※〔　〕内の平面形は推定形で、（　）内の数値は残存値である。

４　竪穴状遺構

ＳＫＩ92竪穴状遺構（第14図、図版６）

ＬＢ66・67、ＬＣ66の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北西－南東）1.72m×短軸（北東－南西）1.60mの略方形を呈し、確認面からの深さは0.31mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は４層に分けられ、第３層が炭化物層となっていた。遺構内壁付近にピットが合わせて８個穿たれていた。各ピットの大きさは以下のとおりである。ピット１は長軸0.23m、短軸0.22m、深さ0.17m、ピット２は長軸0.21m、短軸0.20m、深さ0.28m、ピット３は長軸0.28m、短軸0.27m、深さ0.13m、ピット４は長軸0.25m、短軸0.24m、深さ0.17m、ピット５は長軸0.25m、短軸0.21m、深さ0.14m、ピット６は長軸0.21m、短軸0.20m、深さ0.13m、ピット７は長軸0.18m、短軸0.17m、深さ0.13m、ピット８は長軸0.18m、短軸0.17m、深さ0.11mである。遺物は出土しなかった。

５　井戸跡

ＳＥ01井戸跡（第15図、図版７）

ＫＴ66グリッドで確認した。平面形は長軸（北西－南東）1.28m×短軸（北東－南西）1.27mの円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは2.15mである。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は10層であった。遺物は出土しなかった。

ＳＥ70井戸跡（第15図、図版７）

ＫＴ・ＬＡ67の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）1.00m×短軸（北西－南東）0.93mの円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.49mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は７層であった。遺物は出土しなかった。

ＳＥ127井戸跡（第15図、図版７）

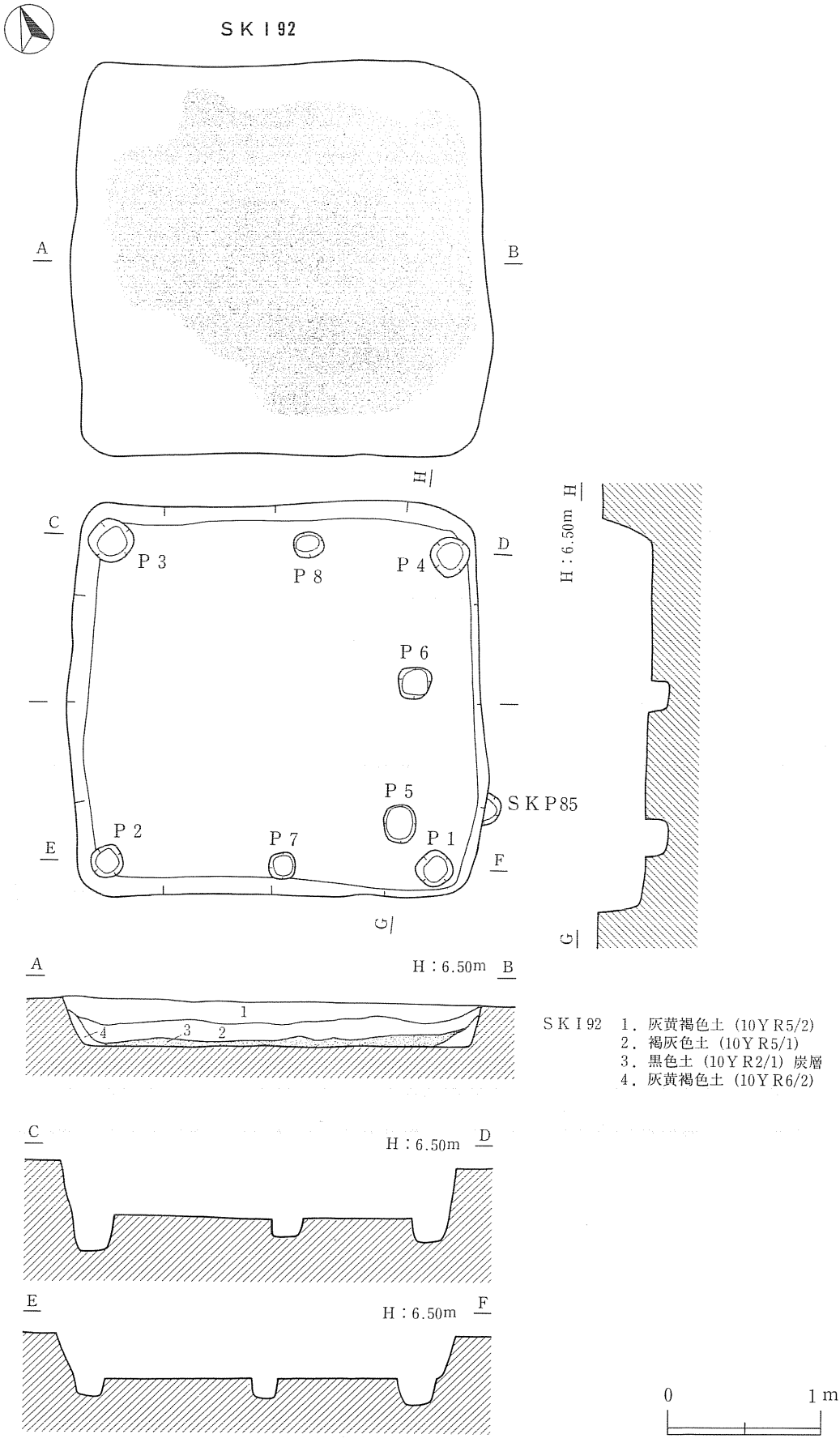
ＬＡ60・61の各グリッドで確認した。ＳＫＰ126と重複し、ＳＥ127が新しい。平面形は長軸（北東－南西）1.37m×短軸（北西－南東）1.14mの楕円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.02mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は４層であった。遺物は鉄滓が１点出土した。

ＳＥ176井戸跡（第15図、図版７）

ＫＴ63・64の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）1.71m×短軸（北西－南東）1.61mの円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは2.54mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は６層であった。遺物は土師器片が１点、須恵器系中世陶器片が４点（うち３点は第24図23、30、第26図51）、曲物の柄杓が１点（第29図71）、被熱痕のある自然石が１点、鉄滓が５点出土した。

ＳＥ211井戸跡（第16図、図版７）

ＫＴ65グリッドで確認した。平面形は長軸（北西－南東）1.34m×短軸（北東－南西）1.18mの楕円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは2.29mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は５層であった。遺物は土師器片が１点、須恵器系中世陶器の片口鉢口縁部片が１点（第25図29）、板材が１点、鉄滓が１点出土した。



第14図　ＳＫＩ92竪穴状遺構

ＳＥ220井戸跡（第16図、図版７）

ＬＤ69グリッドで確認した。平面形は長軸（東－西）1.09m×短軸（北－南）1.06mの円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.53mである。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は７層であった。遺物は板材２点が出土した。

ＳＥ225井戸跡（第16図、図版７）

ＬＡ59グリッドで確認した。平面形は長軸（北西－南東）1.32m×短軸（北東－南西）1.28mの円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.34mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は８層であった。遺物は深さ中央付近から自然石が１点出土した。

ＳＥ252井戸跡（第16図、図版７）

ＬＢ58・59、ＬＣ59の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北西－南東）1.18m×短軸（北東－南西）1.09mの円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.72mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は４層であった。遺物は皿に転用された須恵器の坏底部片が１点(第23図16)、覆土下位から礫が９点出土した。また炭化した米、小豆も少量出土した。

ＳＥ316井戸跡（第17図、図版８）

ＬＢ58・59、ＬＣ59の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）1.82m×短軸（北西－南東）1.79mの略円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.87mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は３層であった。遺物は箸が１点（第29図76)、木片が１点（第29図77)、古瀬戸中Ⅳ期（14世紀中葉）の灰釉平椀底部片が１点（第28図62）出土している。また炭化した米、小豆も少量出土した。

ＳＥ324井戸跡（第17図、図版８）

ＫＱ64・65、ＫＲ64・65の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北－南）2.39m×短軸（東－西）2.11mの楕円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.87mである。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は３層であった。遺物は出土しなかった。

ＳＥ326井戸跡（第17図、図版８）

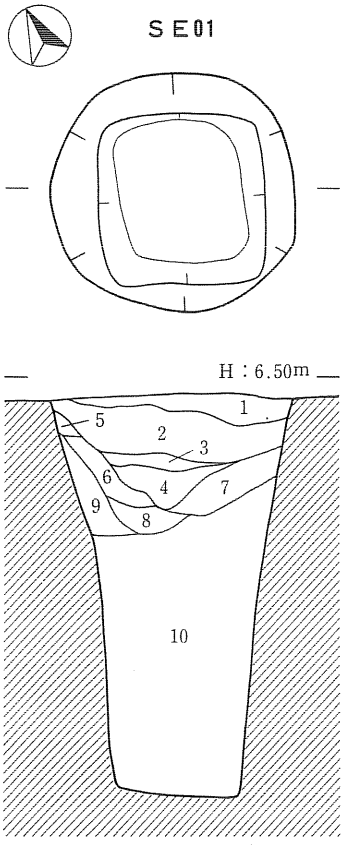
ＬＢ60・61、ＬＣ60の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）1.16m×短軸（北西－南東）1.13mの隅丸方形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.29mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は３層であった。遺物は炭化した米が少量出土した。

ＳＥ358井戸跡（第16図、図版８）

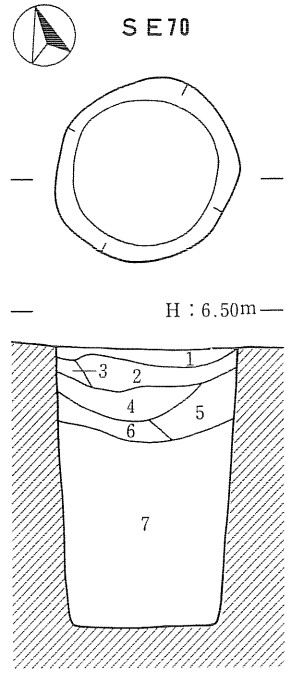
ＫＱ63・64の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）2.31m×短軸（北西－南東）2.25mの楕円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.91mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は14層であった。遺物は須恵器系中世陶器片が４点（うち１点は第26図40)、桃の核が１点出土した。

ＳＥ364井戸跡（第17図、図版８）

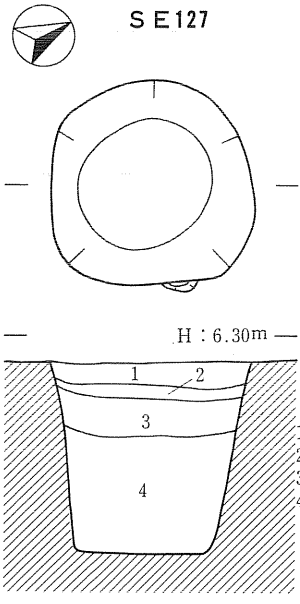
ＫＰ65・66の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）2.07m×短軸（北西－南東）1.87mの楕円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.10mである。底面は平坦で、壁は１～３層までが緩やかで４層が急な角度で立ち上がっていた。覆土は４層であった。遺物は出土



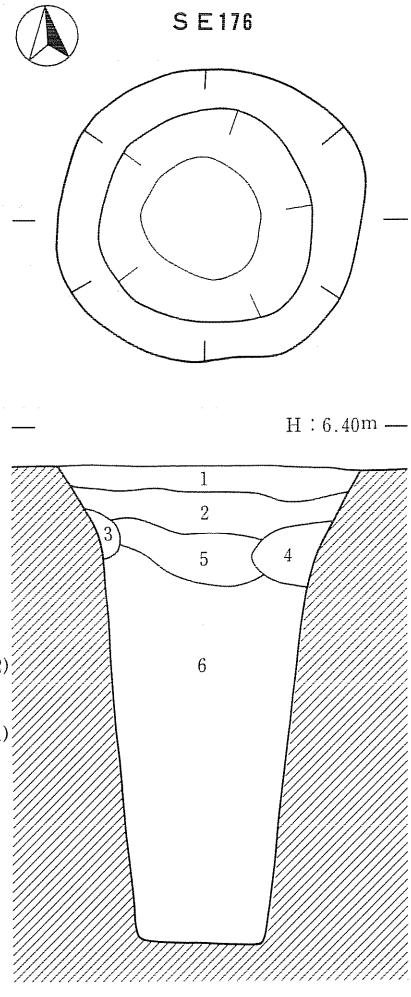
ＳＥ01
1．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
2．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）
3．にぶい黄褐色土（10ＹＲ5/3）
4．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）
5．にぶい黄褐色土（10ＹＲ5/3）
6．にぶい黄褐色土（10ＹＲ6/3）
7．にぶい黄褐色土（10ＹＲ5/3）
8．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
9．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）
10．暗灰黄色土（2.5Ｙ5/2）



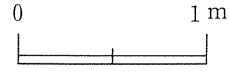
ＳＥ70
1．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）
2．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
3．黒褐色土（10ＹＲ3/1）
4．褐灰色土（10ＹＲ4/1）
5．黒褐色土（10ＹＲ3/1）
6．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
7．緑灰色土（5Ｇ5/1）



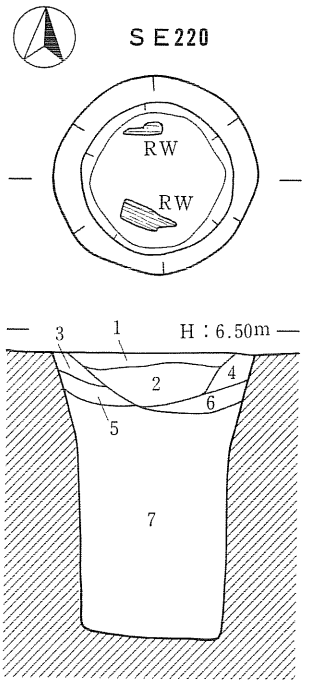
ＳＥ127
1．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）
2．黄灰色土（2.5Ｙ4/1）
3．灰色土（7.5Ｙ4/1）
4．暗緑灰色土（10ＧＹ4/1）



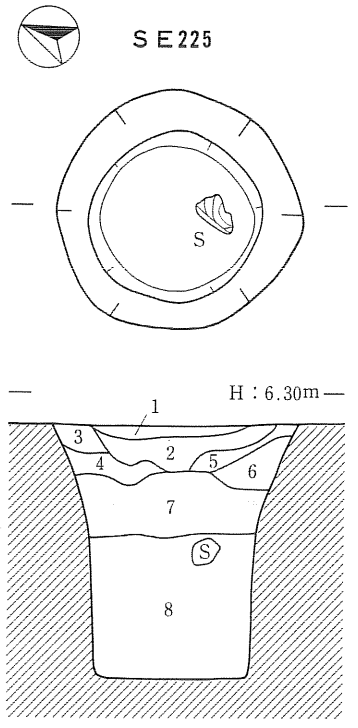
ＳＥ176
1．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）
2．褐灰色土（10ＹＲ5/1）
3．にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）
4．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）
5．灰色土（7.5Ｙ4/1）
6．灰色土（7.5Ｙ4/1）



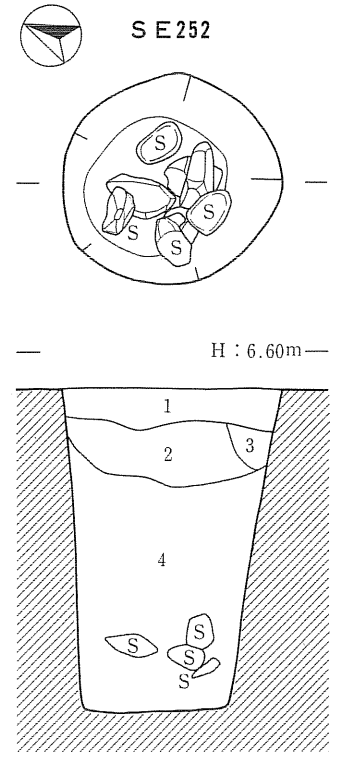
第15図　ＳＥ01・70・127・176井戸跡



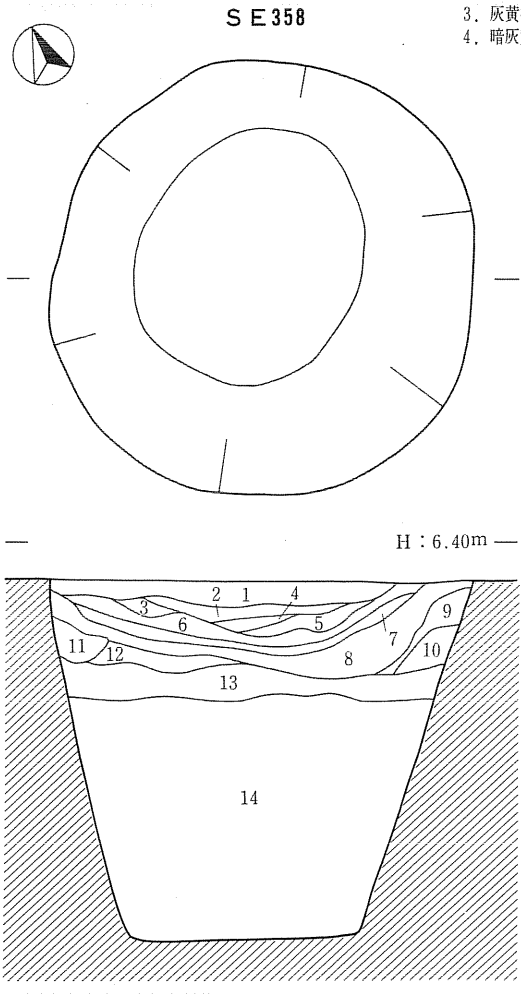
ＳＥ220　1．褐灰色土（10ＹＲ4/1）　5．にぶい黄褐色土（10ＹＲ5/3）
2．黒褐色土（10ＹＲ3/2）　6．にぶい黄褐色土（10ＹＲ5/3）
3．灰黄褐色土（10ＹＲ5/2）　7．暗緑灰色土（10Ｇ4/1）
4．灰黄褐色土（10ＹＲ5/2）

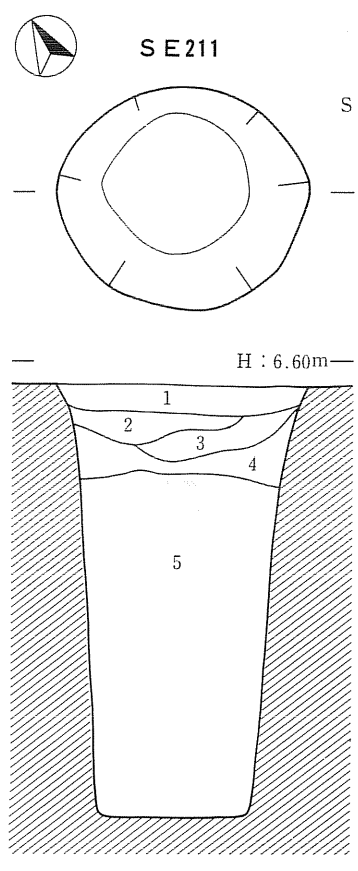


ＳＥ225　1．黒褐色土（10ＹＲ3/2）　5．褐灰色土（10ＹＲ4/1）
2．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）　6．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）
3．灰黄褐色土（10ＹＲ5/2）　7．灰オリーブ色土（５Ｙ4/2）
4．暗灰黄色土（2.5Ｙ4/2）　8．黄灰色土（2.5Ｙ4/1）



ＳＥ252　1．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）
2．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
3．黒褐色土（10ＹＲ3/1）
4．暗緑灰色土（7.5Ｇ4/1）



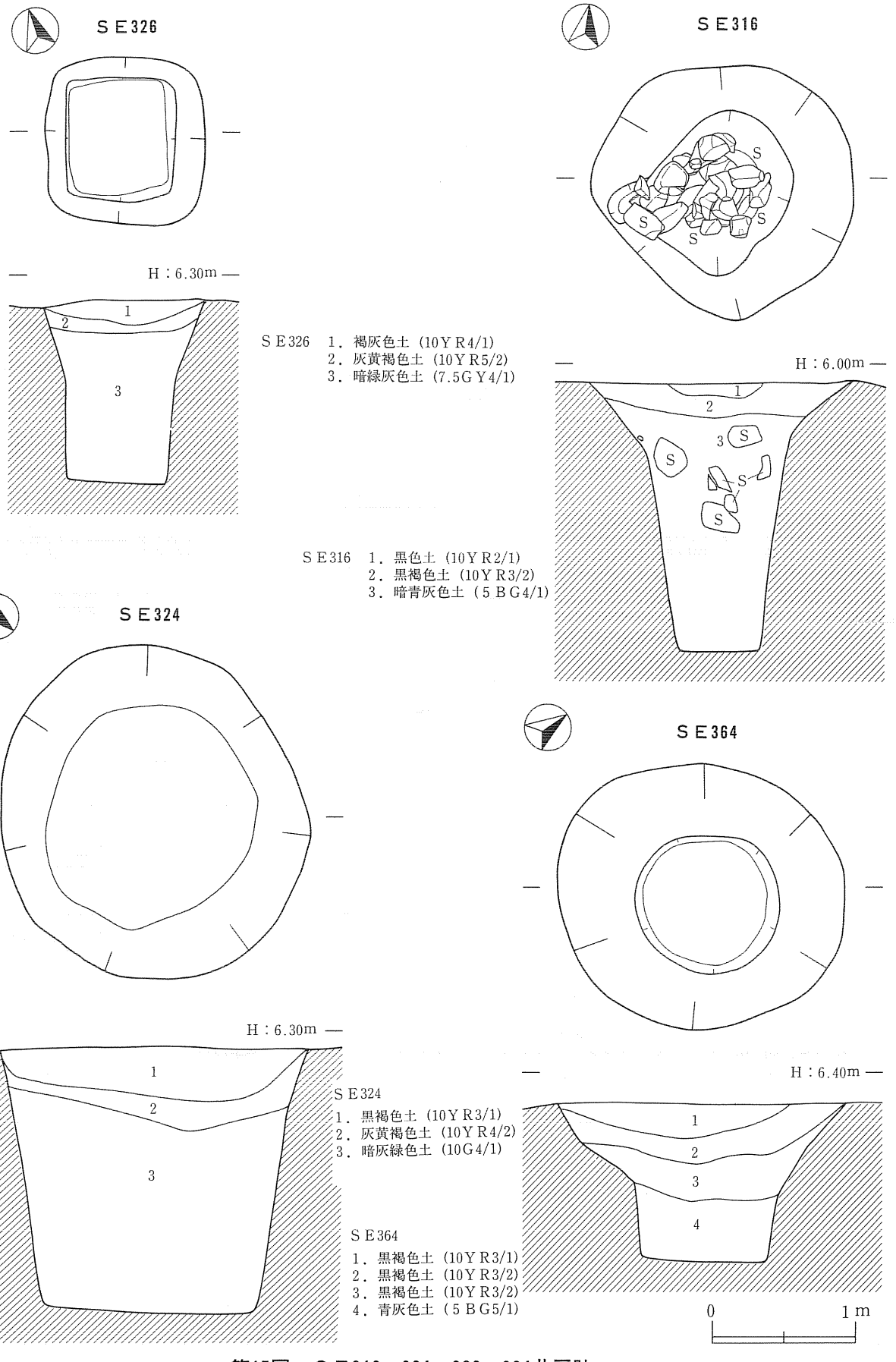


ＳＥ358　1．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
2．褐灰色土（10ＹＲ4/1）
3．灰黄褐色土（10ＹＲ4/1）
4．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
5．黒色土（10ＹＲ1.7/1）
6．黒褐色土（10ＹＲ3/1）
7．灰黄褐色土（10ＹＲ6/2）
8．灰褐色土（10ＹＲ4/2）
9．にぶい黄褐色土（10ＹＲ5/3）
10．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）
11．褐灰色土（10ＹＲ5/1）
12．褐灰色土（10ＹＲ4/1）
13．灰色土（５Ｙ4/1）
14．灰色土（10Ｙ4/1）

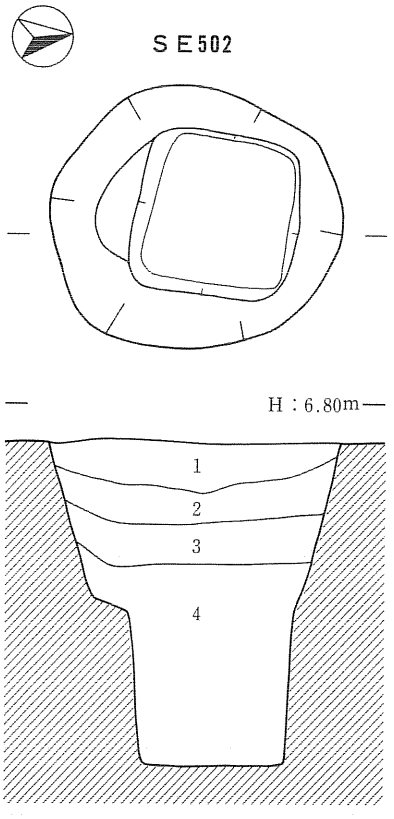
ＳＥ211　1．灰黄褐色土（10ＹＲ4/2）
2．黒褐色土（10ＹＲ3/2）
3．黒褐色土（10ＹＲ3/1）
4．灰黄褐色土（10ＹＲ5/2）
5．暗緑灰色土（10ＹＲ4/1）

0　1m

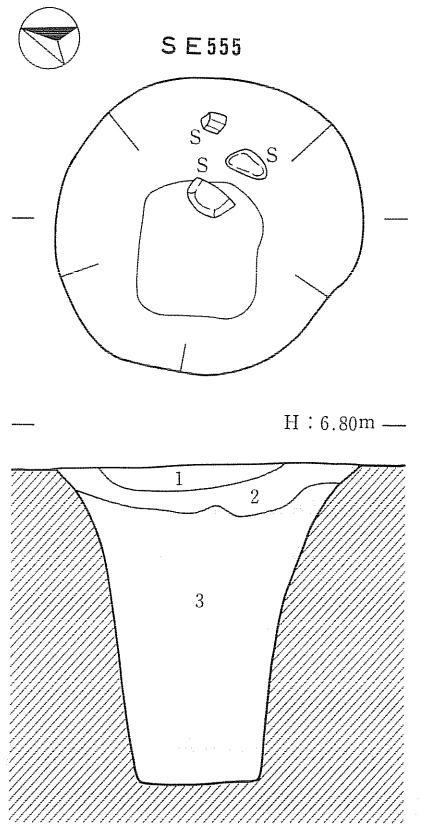
第16図　ＳＥ211・220・225・252・358井戸跡



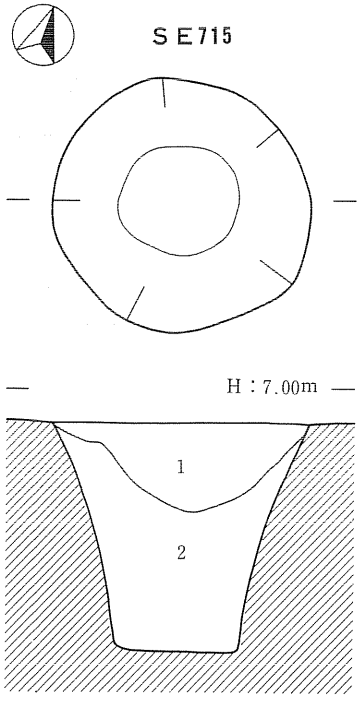
第17図　ＳＥ316・324・326・364井戸跡



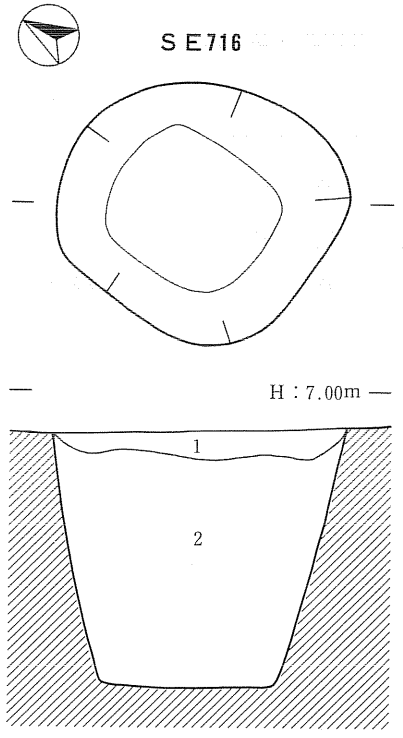
SE502　1．にぶい黄褐色土（10YR5/3）
2．灰黄褐色土（10YR4/2）
3．暗緑灰色土（7.5GY4/1）
4．暗青灰色土（5BG4/1）



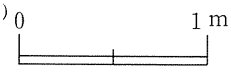
SE555　1．黒褐色土（10YR3/1）
2．灰黄色土（2.5Y7/2）
3．黒色土（2.5GY2/1）



SE715　1．灰色土（7.5Y4/1）
2．灰色土（5Y4/1）



SE716　1．灰色土（7.5Y4/1）
2．灰色土（5Y4/1）



第18図　SE502・555・715・716井戸跡

しなかった。

ＳＥ502井戸跡（第18図、図版８）

ＬＩ・ＬＪ63の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北－南）1.56m×短軸（東－西）1.41mの楕円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.73mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がり、深さ中央付近で屈曲していた。覆土は４層であった。遺物は出土しなかった。

ＳＥ555井戸跡（第18図、図版８）

ＭＳ43・44、ＭＴ43・44の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北西－南東）1.70m×短軸（北東－南西）1.54mの略円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.70mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は３層であった。遺物は土師器片が２点、石製品が１点（第32図110）出土した。

ＳＥ715井戸跡（第18図、図版８）

ＮＡ43グリッドで確認した。平面形は長軸（北西－南東）1.41m×短軸（北東－南西）1.33mの円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.22mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は２層であった。遺物は土師器片が１点出土した。

ＳＥ716井戸跡（第18図、図版９）

ＮＡ43・44の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北－南）1.42m×短軸（東－西）1.34mの円形を呈し、確認面から調査で掘り下げた最深部までの深さは1.36mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は２層であった。遺物は出土しなかった。

６　土坑

ＳＫ109土坑（第19図、図版９）

ＫＳ61グリッドで確認した。平面形は長軸（東－西）0.90m×短軸（北－南）0.70mの楕円形を呈し、確認面からの深さは0.26mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は２層であった。遺物は鉄滓が４点出土した。

ＳＫ119土坑（第19図、図版９）

ＫＴ61グリッドで確認した。ＳＫＰ118柱穴様ピットと重複し、ＳＫＰ118柱穴様ピットが新しい。平面形は長軸（北西－南東）0.76m×短軸（北東－南西）0.44mの楕円形を呈し、確認面からの深さは0.06mである。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は１層であった。遺物は出土しなかった。

ＳＫ203土坑（第19図、図版９）

ＬＥ65・66の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）1.30m×短軸（北西－南東）1.02mの楕円形を呈し、確認面からの深さは0.56mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は４層であった。遺物は出土しなかった。

ＳＫ294土坑（第19図、図版９）

ＬＢ61グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）1.10m×短軸（北西－南東）0.71mの楕円形を呈し、確認面からの深さは0.18mである。底面は平坦で、壁はやや緩やかに立ち上がっていた。覆土は２層であった。遺物は須恵器系中世陶器の甕片が１点出土した。

ＳＫ308土坑（第19図、図版９）

ＬＣ59・60、ＬＤ59・60の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北西－南東）1.59m×短軸（北東－南西）1.53mの円形を呈し、確認面からの深さは0.47mである。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は３層であった。遺物は須恵器の甕片が１点出土した。

ＳＫ448土坑（第19図、図版９）

ＬＪ61グリッドで確認した。平面形は長軸（北西－南東）1.20m×短軸（北東－南西）1.19mの円形を呈し、確認面からの深さは0.35mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は２層であった。遺物は須恵器系中世陶器の甕片が２点（うち１点は第26図50）出土した。

ＳＫ503土坑（第19図、図版９）

ＬＨ62・63の各グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）1.10m×短軸（北西－南東）0.86mの楕円形を呈し、確認面からの深さは0.41mである。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は３層であった。遺物は出土しなかった。

ＳＫ539土坑（第20図、図版10）

ＬＦ65グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）0.94m×短軸（北西－南東）0.71mの楕円形を呈し、確認面からの深さは0.27mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は２層であった。遺物は出土しなかった。

ＳＫ633土坑（第20図）

ＬＥ64グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）0.79m×短軸（北西－南東）0.52mの楕円形を呈し、確認面からの深さは0.07mである。底面は平坦で、壁は緩やかな角度で立ち上がっていた。覆土は２層であった。遺物は出土しなかった。

ＳＫ636土坑（第20図）

ＫＳ・ＫＴ61の各グリッドで確認した。ＳＫＰ642柱穴様ピットと重複し、ＳＫＰ642柱穴様ピットが新しい。平面形は長軸（北西－南東）0.98m×短軸（北東－南西）0.62mの隅丸方円形を呈し、確認面からの深さは0.22mである。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は２層であった。遺物は出土しなかった。

ＳＫ671土坑（第20図、図版10）

ＬＦ66グリッドで確認した。平面形は長軸（北東－南西）0.89m×短軸（北西－南東）0.88mの円形を呈し、確認面からの深さは0.16mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は１層であった。遺物は出土しなかった。

ＳＫ794土坑（第20図）

ＭＱ43グリッドで確認した。ＳＸ804種別不明遺構と重複し、ＳＫ794土坑が新しい。平面形は長軸（北西－南東）0.51m×短軸（北東－南西）0.49mの円形を呈し、確認面からの深さは0.16mである。底面は平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は１層であった。遺物は出土しなかった。

７　鍛冶炉跡

ＳＮ96鍛冶炉跡（第20図、図版10）

ＫＴ61グリッドで確認した。ＳＫＰ97柱穴様ピットと重複し、ＳＫＰ97柱穴様ピットが新しい。平

面形は長軸（北西－南東）1.27m（残存値）×短軸（北東－南西）1.25mの楕円形を呈し、確認面からの深さは0.12mである。底面は中央部が窪んでいて、壁は緩やかな角度で立ち上がっていた。覆土は３層であった。遺物は鉄滓が多量に出土した。

８　溝跡

ＳＤ02溝跡（付図・図版６）

調査区北東側で確認した。東－西－北西～北東－南西に延びる溝で、長さ33.88m、幅0.25～0.55m、深さ0.02～0.08mである。断面形は「Ｕ」字形を呈する。遺物は須恵器片が１点、石製品が１点（第32図109）出土した。

ＳＤ212溝跡（付図・図版10）

調査区北東側で確認した。北東－南西に延びる溝で、ＳＫＰ213柱穴様ピットと重複しており、ＳＫＰ213柱穴様ピットが新しい。長さ3.88m、幅0.32～0.37m、深さ0.07～0.13mである。断面形は鍋底形を呈する。遺物は出土しなかった。

ＳＤ297溝跡（付図・図版10）

調査区北東側で確認した。北西－南東に延びる溝で、長さ7.28m、幅0.14～0.19m、深さ0.02～0.08mである。断面形は「Ｕ」字形を呈する。遺物は出土しなかった。

ＳＤ311溝跡（付図・図版10）

調査区北東側で確認した。調査区東端部から西に向かって延び、ＳＫ109土坑東側で大きく蛇行した後、北西－南東方向に延びている溝で、ＳＫＰ319柱穴様ピットと重複しており、ＳＤ311溝跡が新しい。長さ10.03m、幅0.33～0.47m、深さ0.24～0.29mである。断面形は「Ｕ」字形を呈する。遺物は出土しなかった。

ＳＤ531溝跡（付図・図版10）

調査区北東側で確認した。南東－北西～北東－南西に延びる溝で、長さ19.18m、幅0.22～0.32m、深さ0.03～0.16mである。断面形は「Ｕ」字形を呈する。遺物は出土しなかった。

ＳＤ564溝跡（付図）

調査区西側で確認した。北－南－南西－南に延びる溝で、長さ55.42m、幅0.50～1.18m、深さ0.02～0.21mである。断面形は逆台形を呈する。遺物は土師器片が38点、須恵器片が４点出土した。

ＳＤ568溝跡（付図）

調査区北東側で確認した。北東－南西に延びる溝で、長さ1.18m、幅0.34～0.39m、深さ0.06～0.12mである。断面形は逆台形を呈する。遺物は出土しなかった。

ＳＤ631溝跡（付図）

調査区中央部で確認した。北－南に延びる溝で、長さ41.63m、幅0.27～1.06m、深さ0.07～0.27mである。断面形は逆台形を呈する。遺物は出土しなかった。

ＳＤ632溝跡（付図）

調査区中央部で確認した。北西－南東に延びる溝で、長さ26.51m、幅0.41～0.90m、深さ0.11～0.27mである。断面形は逆台形を呈する。遺物は出土しなかった。

ＳＤ805溝跡（付図）

調査区西側で確認した。北東－南西に延びる溝で、長さ39.69m、幅0.34～1.46m、深さ0.02～0.12mである。断面形は逆台形を呈する。遺物は土師器片が3点、須恵器片が2点出土した。

9　道路跡

ＳＭ343道路跡（付図・図版11）

調査区北東側で確認した。北西－南東に延びる道路跡で、南北両側に側溝を伴う。北側側溝の幅は0.39～0.99m、深さ0.04～0.13mで、断面形は逆台形を呈する。南側側溝の幅は0.43～1.15m、深さ0.06～0.25mで、断面形は逆台形を呈する。確認した道路跡の長さは68.31mで、道路部分の幅は1.63～3.88m、側溝を合わせた全体幅は、2.97～4.42mである。遺物は、道路部分から被熱痕のある須恵器系中世陶器の擂鉢底部片が1点（第24図24）、須恵器片が4点出土した。また南側側溝からは土師器片が4点出土した。

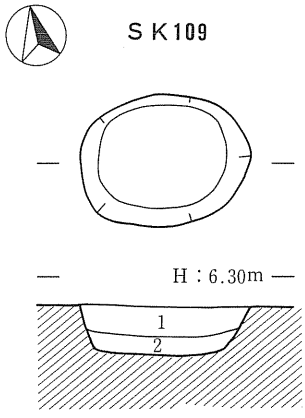
10　その他の遺構

ＳＸ385種別不明遺構（第20図・図版11）

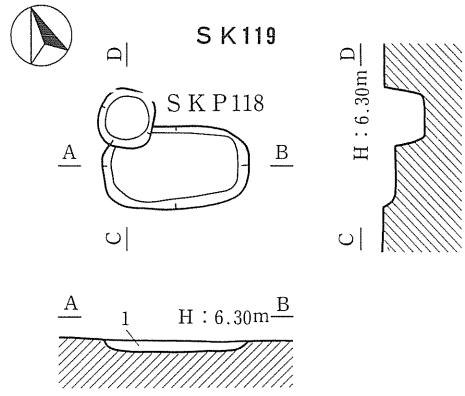
ＬＳ56グリッドで確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.29m、短軸（北西－南東）0.26m、確認面からの深さは0.29mである。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は2層に分けられ、遺物は土師器の甕片が3点（第21図、第22図3、5、7）、土製支脚が1点（第31図95）出土した。

ＳＸ804種別不明遺構（第20図）

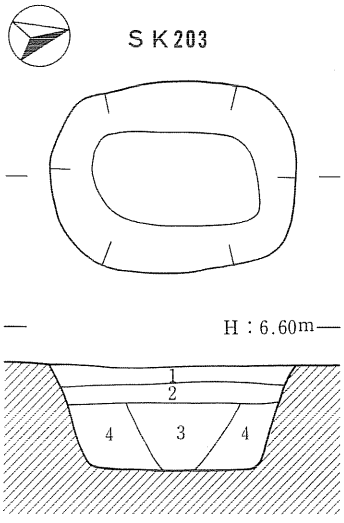
ＭＱ43グリッドで確認した。ＳＫ794土坑と重複しており、ＳＫ794土坑が新しい。平面形は細長い楕円形を呈し、残存部の長軸（北東－南西）0.73m、短軸（北西－南東）0.26m、確認面からの深さは0.09mである。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がっていた。覆土は1層で、遺物は出土しなかった。



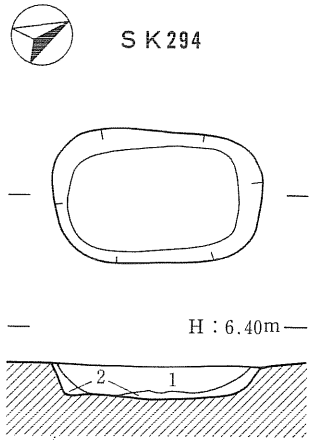
SK109　1．灰黄褐色土（10YR4/2）
2．にぶい黄褐色土（10YR6/3）



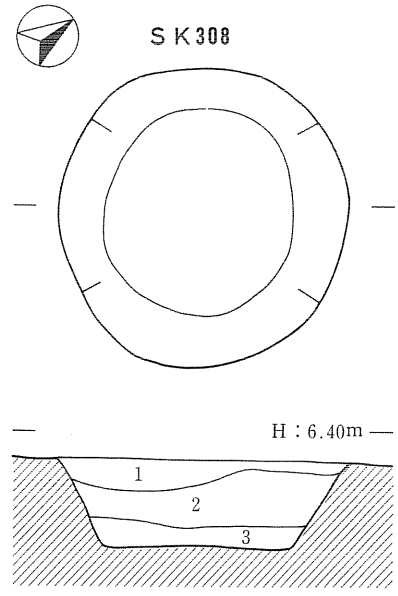
SK119　1．褐灰色土（10YR4/1）



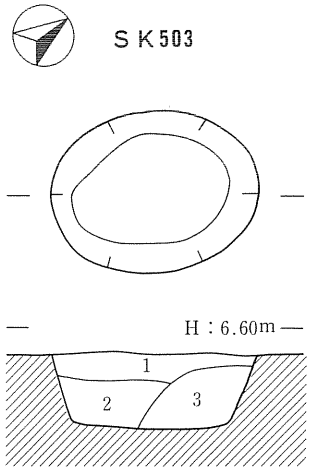
SK203　1．にぶい黄褐色土（10YR4/3）
2．灰黄褐色土（10YR5/2）
3．にぶい黄褐色土（10YR4/3）
4．にぶい黄褐色土（10YR5/3）



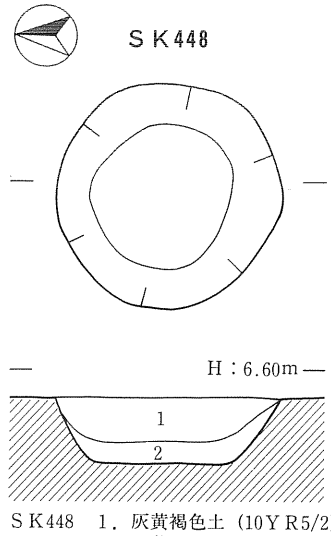
SK294　1．褐灰色土（10YR4/1）
2．灰青褐色土（10YR5/2）



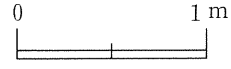
SK308　1．黒褐色土（10YR3/1）
2．灰黄褐色土（10YR5/2）
3．灰色土（10Y5/1）



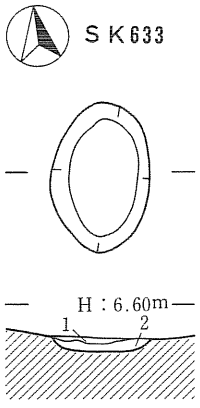
SK503　1．にぶい黄褐色土（10YR5/3）
2．灰黄褐色土（10YR5/2）
3．灰黄褐色土（10YR4/2）



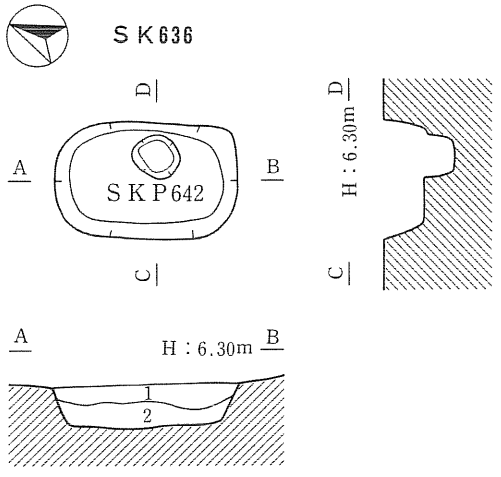
SK448　1．灰黄褐色土（10YR5/2）
2．灰黄褐色土（10YR4/2）



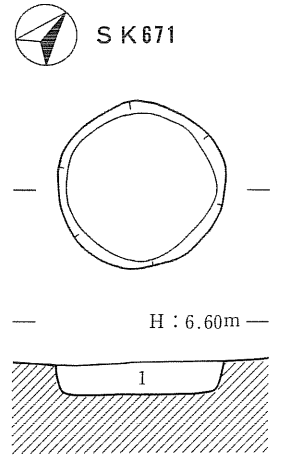
第19図　SK109・119・203・294・308・448・503土坑



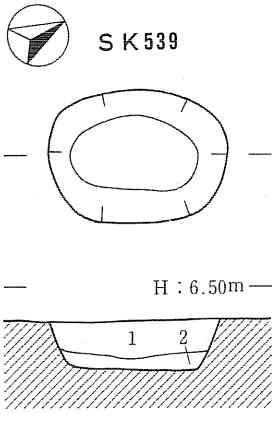
SK633　1．黒色土（10YR2/1）
2．灰黄褐色土（10YR6/2）



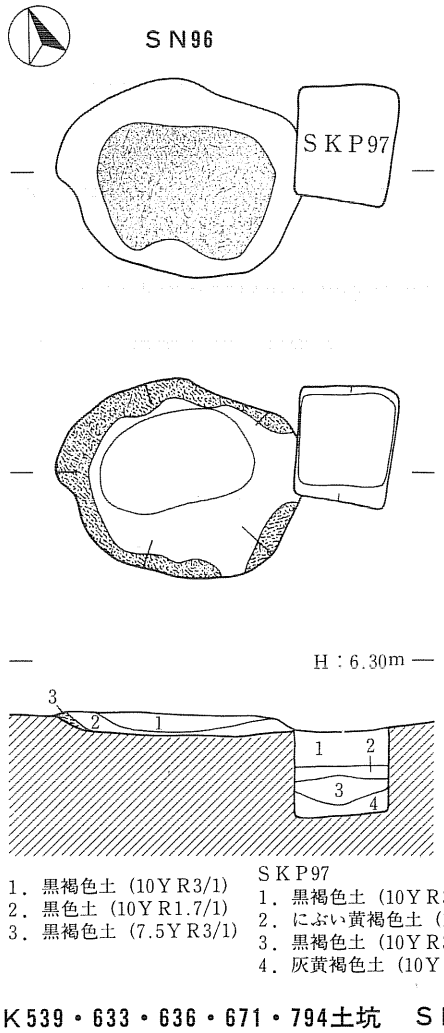
SK636　1．灰黄褐色土（10YR4/2）
2．褐灰色土（10YR5/1）



1．灰黄褐色土（10YR5/2）

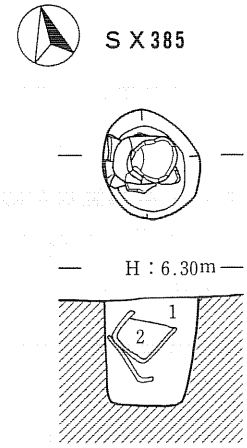


SK539　1．灰黄褐色土（10YR6/2）
2．褐灰色土（10YR6/1）

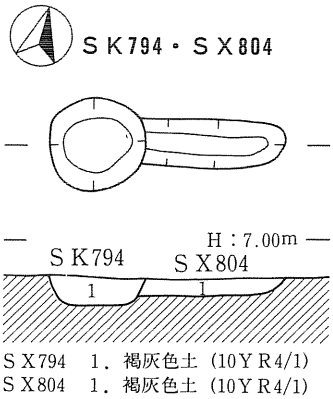


SN96　1．黒褐色土（10YR3/1）
2．黒色土（10YR1.7/1）
3．黒褐色土（7.5YR3/1）

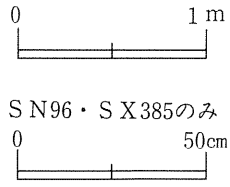
SKP97
1．黒褐色土（10YR3/1）
2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）
3．黒褐色土（10YR3/2）
4．灰黄褐色土（10YR5/2）



SX385　1．褐灰色土（10YR4/1）
2．灰黄褐色土（10YR5/2）



SX794　1．褐灰色土（10YR4/1）
SX804　1．褐灰色土（10YR4/1）



第20図　SK539・633・636・671・794土坑　SN96鍛冶炉跡
SX385・804種別不明遺構

第２節　出土遺物

遺物は遺構内外から、土師器、須恵器、陶磁器、木製品、金属製品、土製品、石製品などが、中コンテナ（規格54×34×10cm）で20箱分出土した。以下には、その時期を特定しがたいものがあるため、種別ごとに記述することにした。また、記述した遺物については第12表～第22表の観察表にまとめた。

１　土師器（第21図１～５、第22図６～11、第10表、図版12）

遺構内106点（うち４点を掲載）、遺構外933点（うち７点を掲載）の計1,039点が出土した。器種は小鉢、坏、甕で、その大半は甕である。また、これらは全て破片であり、器表面の磨滅したものが多く、復元により全体の形状を把握できたのは小鉢１点のみである。１は小鉢で、器高4.2cm、図上復原による口径7.3cm、底径3.1cmである。２は坏で回転糸切り技法によりロクロから切り離されている。３～11は甕で、４～７はタタキ目のある甕である。出土した甕にはタタキ目をもつものが少なからず確認できた。出土した土師器の時期は、タタキ目のある甕の特徴から９世紀の中頃と思われる。

２　須恵器（第23図12～20、第11表、図版13）

出土した須恵器は、土師器と同様に全て破片であり、全体の形状のわかるものは僅かであった。出土した破片数は、遺構内17点（うち１点を掲載）、遺構外103点（うち８点を掲載）の計120点であり、器種は蓋、坏、甕などである。12はつまみ付きの蓋である。ロクロ成形されており、天井部には篦状工具による調整痕が認められる。図上復原による口径15.3cm、器高2.8cmである。13～15と17・18は坏で、13～15は回転篦切り技法によりロクロから切り離されている。17・18はロクロ成形切り離し後に付高台している。また、13は形状が図上復原できたもので、器高3.8cm、底径7.3cm、口径13.3cmである。16は本来の形を失っているが、欠損部の縁を整形して小皿に転用したものと思われる。整形後の口径７cm、器高1.8cm、高台径4.5cmである。19・20は甕である。時期は回転篦切りの坏の特徴から土師器と同じく９世紀の中頃と推定される。

３　陶磁器（第24図21～26、第25図27～38、第26図39～51、第27図52～60、第28図61～70、第12表、第13表、図版14～17）

出土した陶磁器は、図示した52点を含め535点である。このうち遺構内出土は21点と僅かである。これらの陶磁器には、国産陶磁の須恵器系中世陶器、瀬戸・美濃、近世陶磁器のほか貿易陶磁としての青磁、白磁、染付（明か）などがある。中でも須恵器系中世陶器（21～51）が最も多く、器種は擂鉢（21～38）を主体に、甕か壺（39～50）と四耳壺と思われるもの（51）である。また、小破片で産地を特定しがたい資料もあるが、61～65・67は瀬戸・美濃産であり、53の青磁は中国浙江省龍泉窯の製品である。中世陶磁器の時期は、ほとんどが13～15世紀と推定される。

４　木製品（第29図71～78、第14表、図版18）

出土した木製品の点数は、遺構内５点（うち３点を掲載）、遺構外16点（うち５点を掲載）、計21点である。器種は曲物（柄杓）２点（容器、底板が１点ずつ）、箸４点、漆器破片１点、それ以外14点

は用途不明のものである。柄杓容器（71）には四角い穴があけられており、本来は柄が付いていたものと推察される。また、口縁部には使用時の痕跡が認められ、側板内面には縦方向に刻みが施されている。この技法は「切り曲げ」と呼ばれるもので、曲物を曲げやすくする効果がある。底板表面（内面）に見られる中心ー縁側方向に走る刻みは、製作時の目印と考えられ、72にも同様の刻みが見られる。図示しなかった漆器は朱漆塗りの椀底部で、本来高台が付いていたものであろう。朱漆を塗る前に生漆で下塗りを施しており、皮膜の下に下地となった生漆部分が黒く残されている。

5　金属製品（第30図79～94、第15、16表、図版19）

遺構内から３点（うち２点を掲載）、遺構外から21点（うち12点を掲載）、計24点が出土した。器種は鉄鋌１点、釘３点、煙管５点、簪１点、刀子１点、銭貨７点、それ以外の６点は用途不明のもの（うち４点は鉄砲玉に類似した金属球）である。鉄鋌は鉄素材の流通単位で、山形県の三条遺跡や青森県の浪岡城跡に出土類例がある。銭貨は、宋銭２枚（熙寧元寶－初鋳1068年、元祐通寶－初鋳1086年）がＳＢ37掘立柱建物跡の柱穴（Ｐ１）の底から重なって出土し、江戸期のもの５枚（寛永通寶４、天保通寶１）はいずれも遺構外から出土した。煙管の残存部位は４点が雁首、１点が吸口である。

このほか鉄滓が遺構内外から出土した。柱穴様ピット10基、井戸跡４基、土坑１基、鍛冶炉跡１基計16遺構から総量3.749kgが出土したが、これらの遺物は１基確認された鍛冶炉跡（ＳＮ96）周辺に集中している。遺構外からは総量2.105kgが出土したが、その出土地点も遺跡東端部に集中している。

6　土製品（第31図95～104、第32図105～108、第17～20表、図版19）

遺構内から３点（３点すべてを掲載）、遺構外から47点（うち11点を掲載）、計50点が出土した。器種は土製支脚１点、土錘８点、鞴の羽口４点、それ以外の37点は用途不明のものである。土製支脚は下端部に「Ｕ」字状の切り込みが１個入る円筒形状のもので、粘土紐の接合痕をわずかに残す。出土した土錘８点のうち７点は遺構外からのものであったが、１点（97）はＳＢ39掘立柱建物跡の柱穴（Ｐ13）から出土した。このうち完形または全体の形状が推定できるもの６点（97、98、99、100、101、102）すべてが、管状土錘あるいは筒形土錘と呼ばれるもので、曳網・巻網に使用したものとされる。これらは中央部付近に稜をもつもの（97、98、102）ともたないもの（99、100、101）とに細分される。また97、98、102の外面には被熱痕が認められた。鞴の羽口４点中３点は遺構外からの出土だったが、１点（105）はＳＫＰ310柱穴様ピットからの出土だった。

7　石製品（第32図109～110、第33図111～117、第21、22表、図版20）

遺構内３点（うち２点を掲載）、遺構外16点（うち７点を掲載）、計19点が出土した。器種は砥石８点、縄文時代の石器製作時の剥片５点、それ以外の６点は用途不明のものである。出土した砥石８点のうち近世以前のものと推定される７点を掲載した。砥石はその石質、石目から荒砥・中砥・仕上砥の３種に分類される。荒砥は「研ぐ」よりむしろ「削る」に近い機能をもつ道具で、主に刃物の生産や供給につながる者（刀鍛冶・研師等）が手にする道具である。中砥は主に刃物や陶磁器の器面の仕上げや調整、保守に使用されることが多く、用途・需要が最も広い砥石である。仕上砥は裏刃をも研げる砥石を指し、大工道具のような繊細な刃先や「引いて」切る刃をつけるのに適している。本遺跡

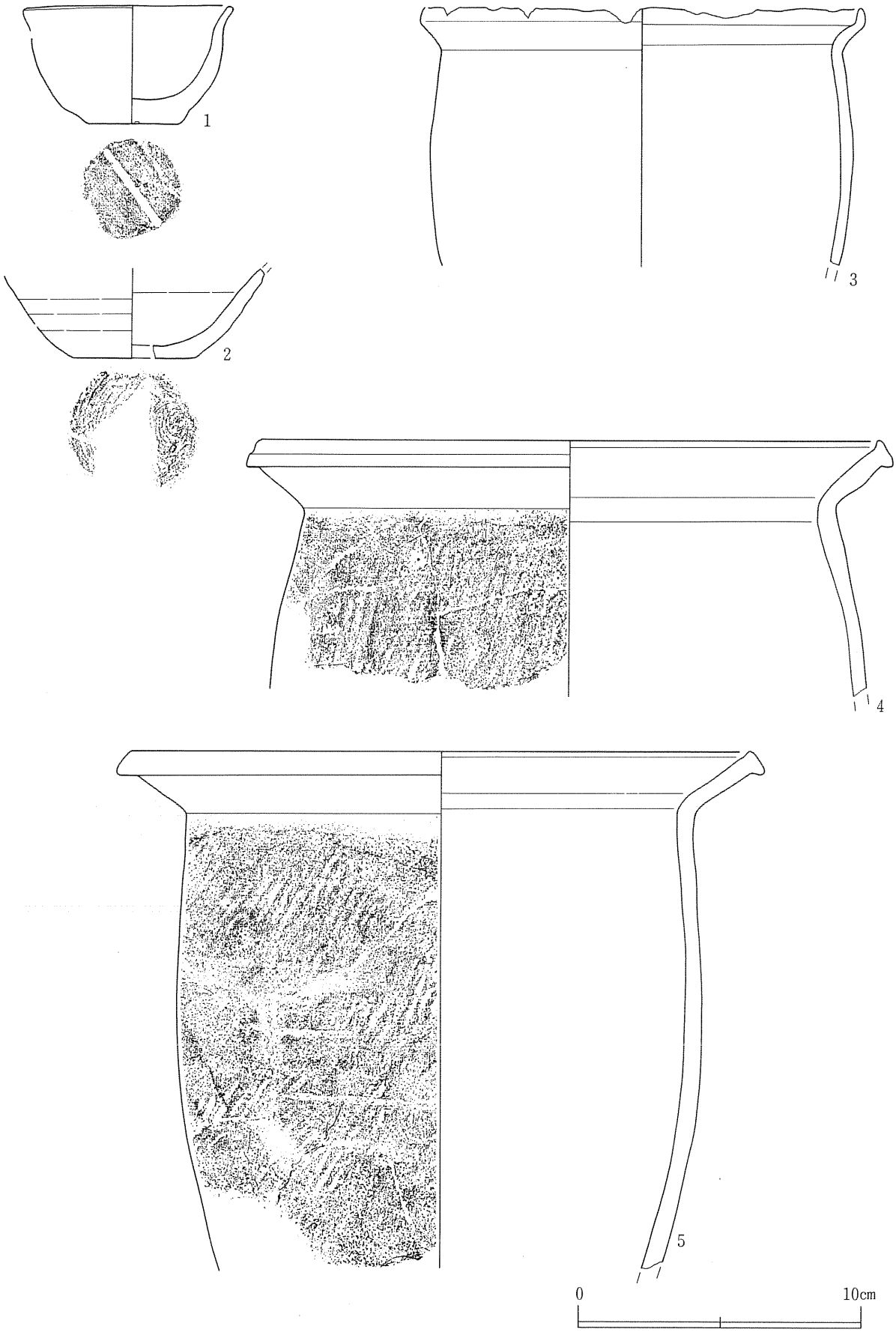
からは荒砥が２点（113、117）、中砥が２点（111、112）、仕上砥が３点（114、115、116）が出土している。

８　その他の遺物

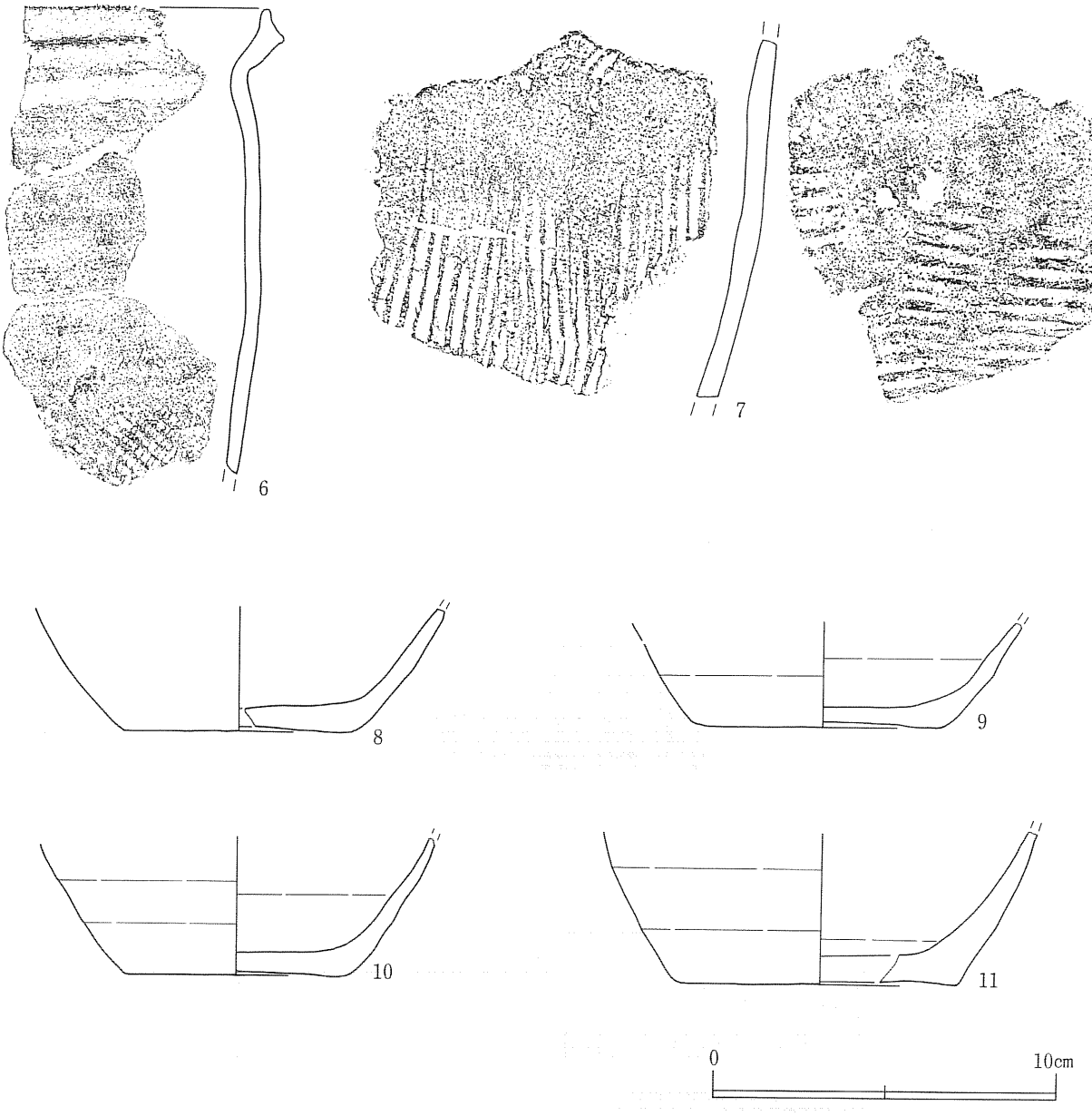
遺構内から骨片、炭化した穀物等が少量出土した。骨片（１点、種別不明）はＳＫＰ273柱穴様ピットから出土した。米はＳＥ252井戸跡・ＳＥ316井戸跡・ＳＥ326井戸跡から、小豆はＳＥ252井戸跡・ＳＥ316井戸跡から、桃の核はＳＥ358井戸跡から出土した。

引用・参考文献

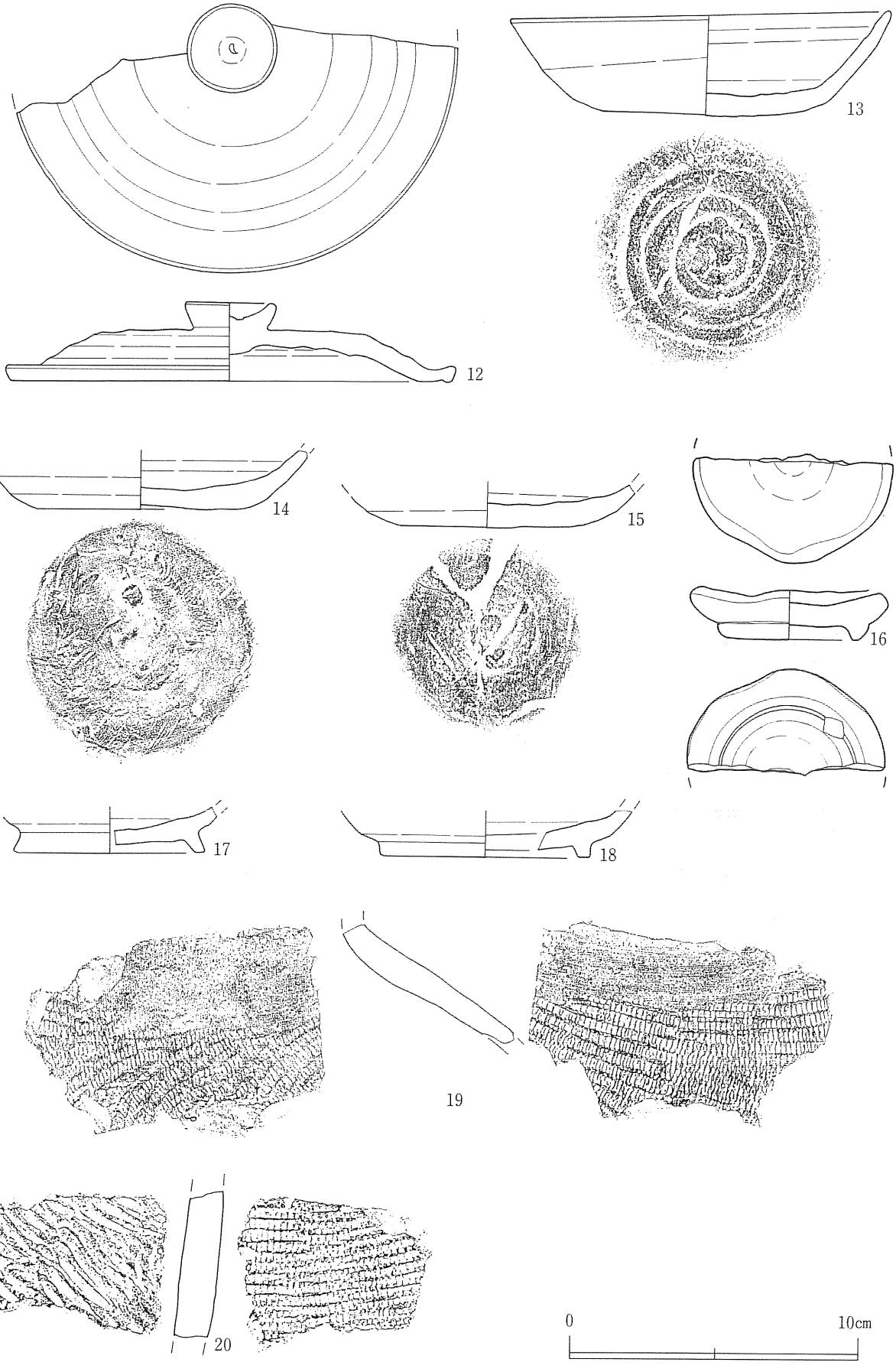
・秋田県教育委員会　『洲崎遺跡－県営ほ場整備事業（浜井川地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－』　秋田県文化財調査報告書第303集　2000（平成12）年
・柴田陽一郎　「秋田県内における土製支脚について」　『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第８号　1993（平成５）年
・秋田県教育委員会　『館堀城跡－県営ほ場整備事業（寺沢地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－』　秋田県文化財調査報告書第320集　2000（平成12）年



第21図　土師器(1)



第22図　土師器(2)



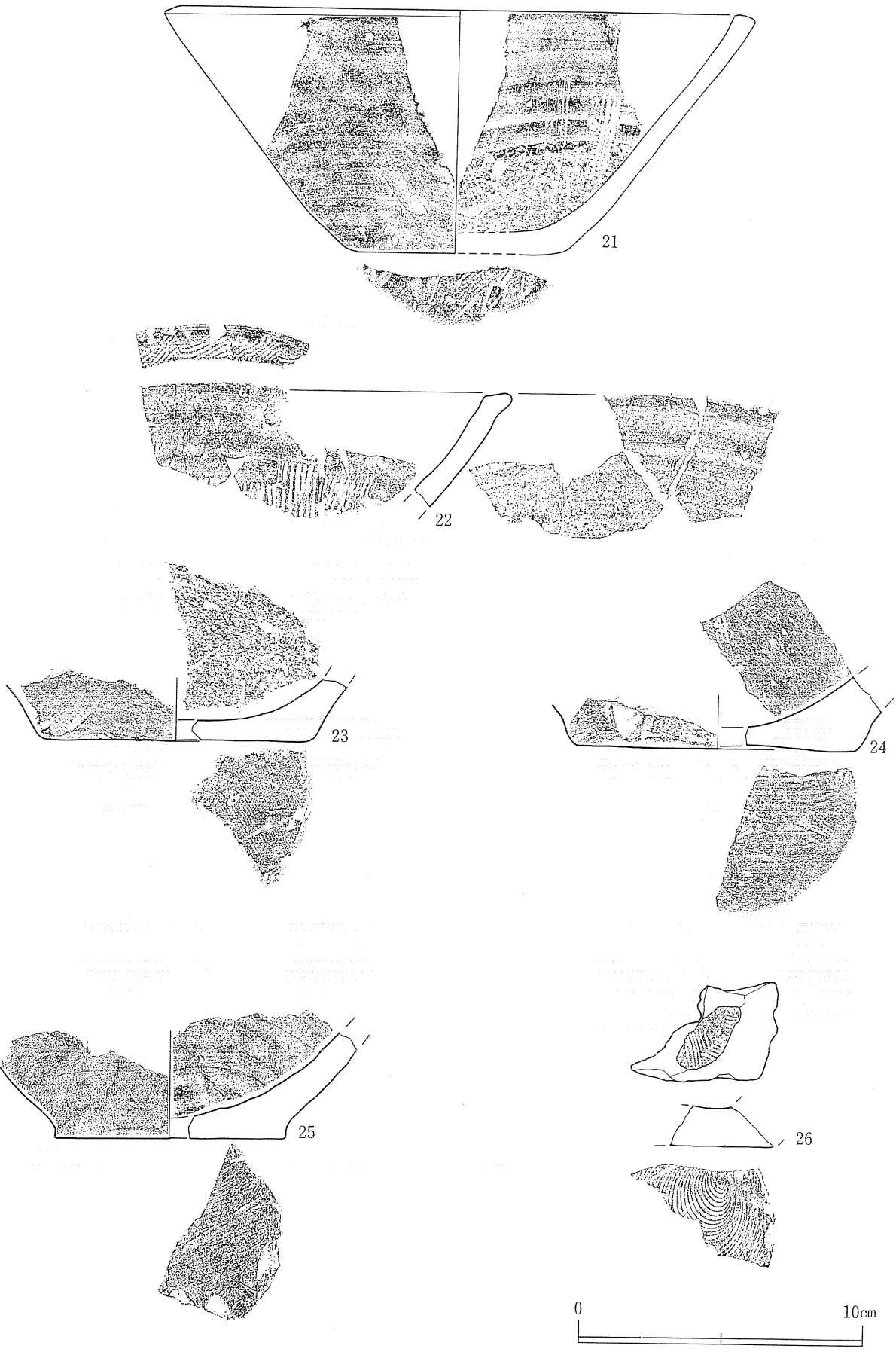
第23図　須恵器

第10表　土師器観察表

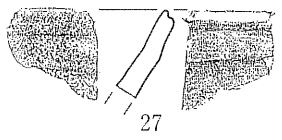
挿図番号	出土地点	器種	残存部位	色調		備考
				外面	内面	
21－1	KS63 SKP25	小鉢	口縁部から底部	2.5YR8/1灰白	2.5YR8/1灰白	底部外面に１条の沈線文
2	MP43	坏	胴部から底部	7.5YR8/6浅黄橙	7.5YR7/6橙	回転糸切り（右）
3	LS56 SX385	甕	口縁部から胴部	7.5YR7/4にぶい橙	7.5YR7/6橙	径15.5cm
4	LS56	甕	口縁部から胴部	7.5YR7/4にぶい橙	7.5YR7/4にぶい橙	胴部外面にタタキ目
5	SX385	甕	口縁部から胴部	7.5YR6/4にぶい橙	7.5YR8/6浅黄橙	胴部外面にタタキ目
22－6	LS57	甕	口縁部から胴部	7.5YR7/4にぶい橙	7.5YR8/4浅黄橙	胴部外面にタタキ目
7	SX385	甕	胴部	7.5YR6/3にぶい褐	7.5YR8/4浅黄橙	内外両面にタタキ目
8	MJ47	甕	底部	10YR8/3浅黄橙	10YR8/2灰白	底径6.6cm
9	MK47	甕	底部	10YR8/3浅黄橙	10YR8/3浅黄橙	底径7.0cm
10	MJ47	甕	胴部から底部	10YR8/2灰白	10YR8/3浅黄橙	底径6.5cm
11	MH44	甕	胴部から底部	7.5YR6/4にぶい橙	7.5YR7/4にぶい橙	底径8.2cm

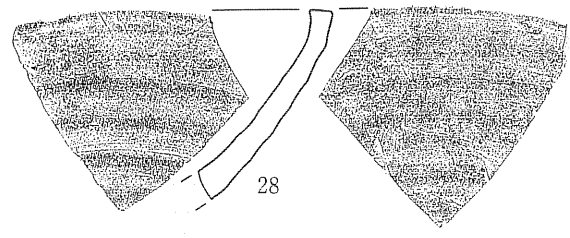
第11表　須恵器観察表

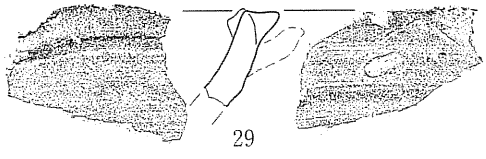
挿図番号	出土地点	器種	残存部位	色調		備考
				外面	内面	
23－12	ME43	蓋	つまみから天井部	7.5YR6/1褐灰	5 YR5/3にぶい赤褐	
13	MH44	坏	口縁部から底部	10YR6/1褐灰	10YR7/1灰白	回転ヘラ切り
14	LT40	坏	底部	10YR7/1灰白	10YR7/1灰白	回転ヘラ切り
15	MH44	坏	底部	2.5YR7/1灰白	2.5YR7/1灰白	回転ヘラ切り
16	SE252	坏	底部	5 Y5/1灰	5 Y5/1灰	高台付き、転用皿
17	LS54	坏	底部	2.5Y7/1灰白	2.5Y7/1灰白	高台付き
18	表採	坏	底部	10YR7/1灰白	10YR7/1灰白	高台付き
19	LM44	甕	肩部から胴部	5 Y6/1灰	5 Y6/1灰	内外両面にタタキ目
20	LE64	甕	胴部	5 Y5/1灰	5 Y6/1灰	内面に当て具痕、外面にタタキ目

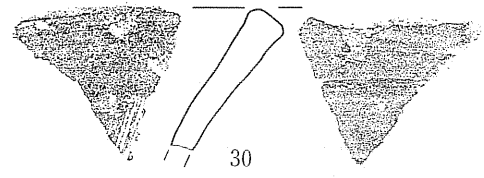


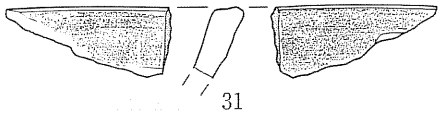
第24図　陶磁器(1)

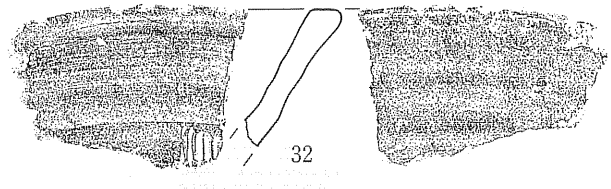

27

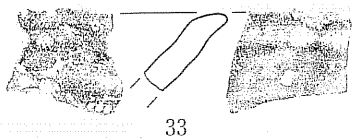

28

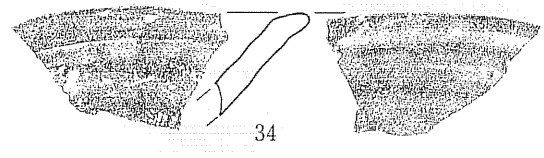

29

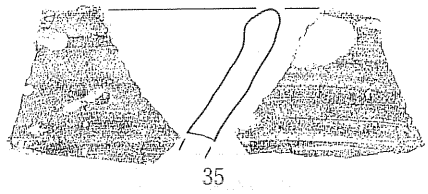

30

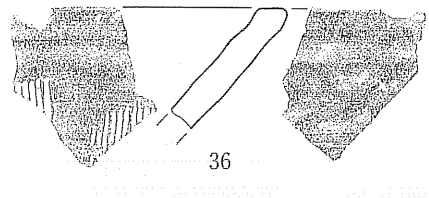

31

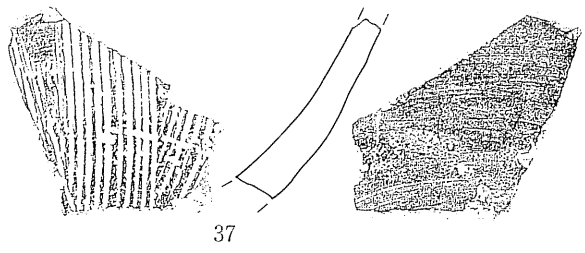

32

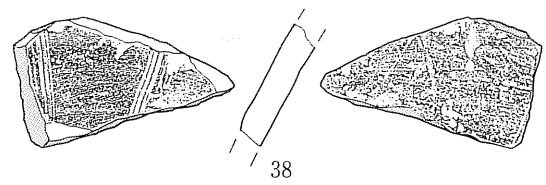

33


34


35


36

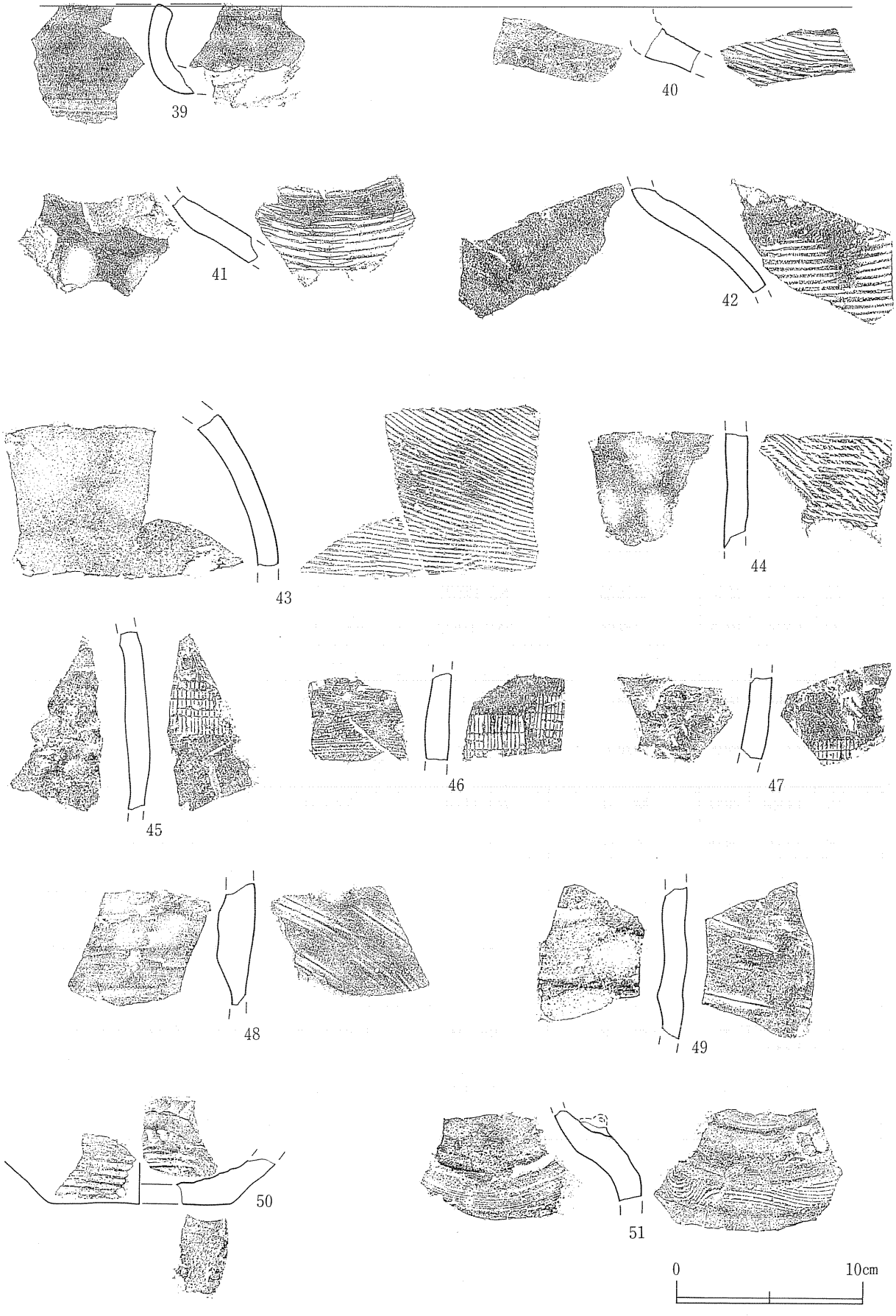

37


38

31・38
漆付着部

0　10cm

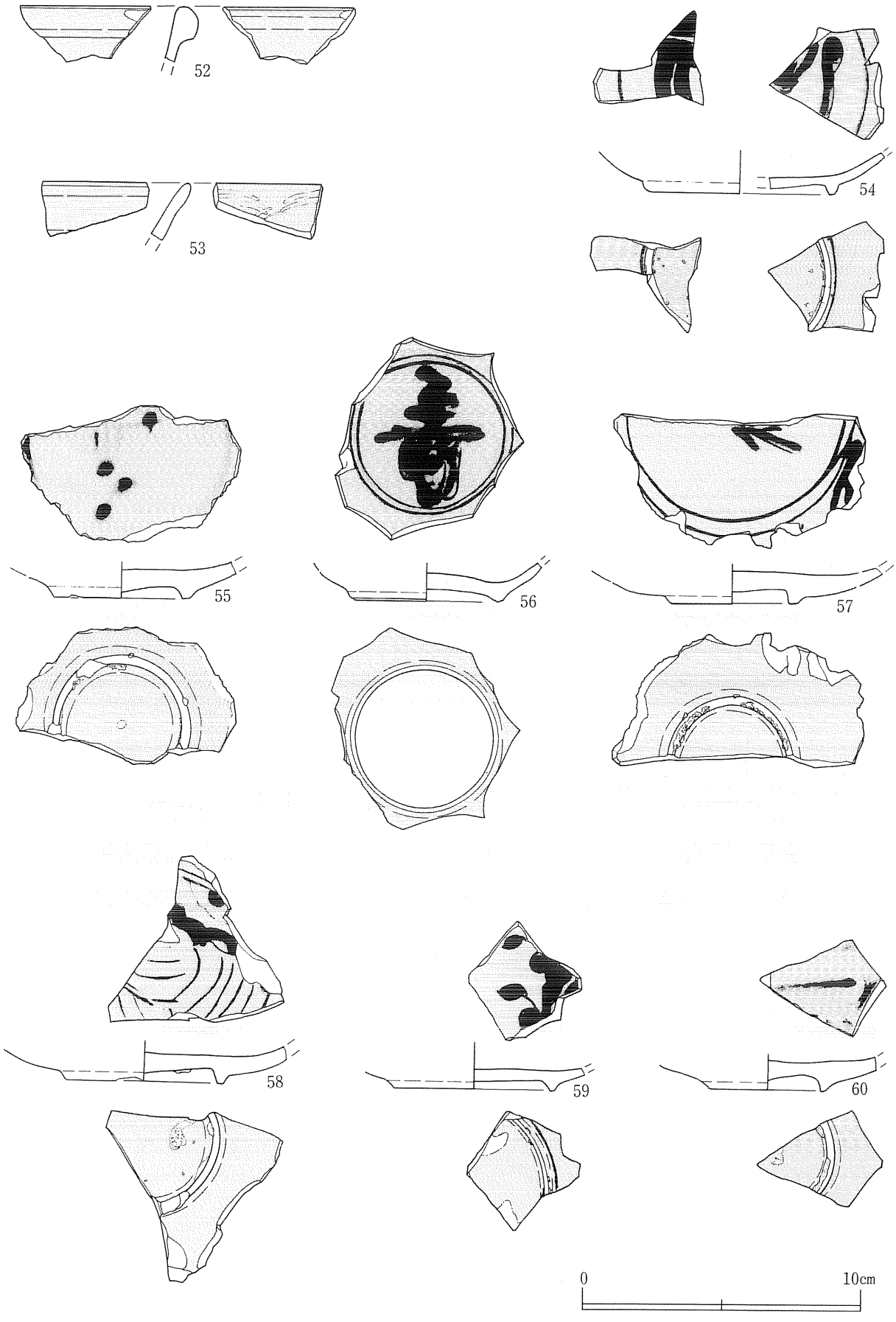
第25図　陶磁器(2)



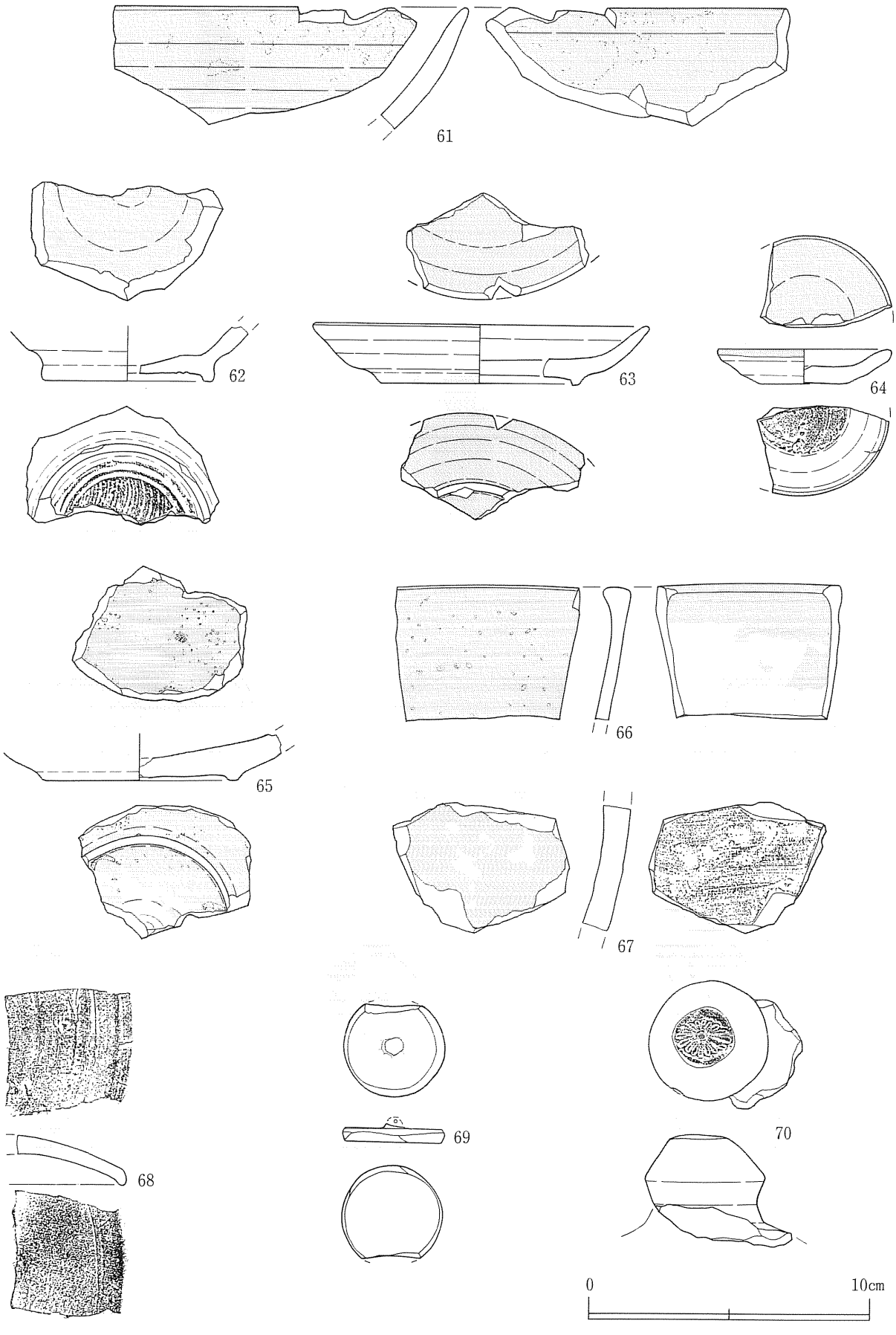
第26図　陶磁器(3)

第12表　須恵器系中世陶器観察表

挿図番号	出土地点	器種	残存部位	色調		備考
				外面	内面	
24－21	SKP161	擂鉢	口縁部から底部	5Y6/1灰	5Y6/1灰	13世紀のものか
22	LF57 LD54 LD59	擂鉢	口縁部	N5/1灰	N5/1灰	
23	SE176	擂鉢	底部	2.5Y6/1黄灰	2.5Y6/2灰黄	底部外面に被熱痕
24	SM343	擂鉢	底部	2.5Y6/1黄灰	2.5Y6/1黄灰	底部外面に被熱痕
25	LF53	擂鉢	底部	N4/1灰	N4/1灰	静止糸切り、外面に釉
26	LG63	擂鉢	底部	10YR7/4にぶい黄橙	10YR7/4にぶい黄橙	回転糸切り（右）
5－27	LA59	擂鉢	口縁部	2.5Y6/1黄灰	2.5Y5/1黄灰	
28	LD66	擂鉢	口縁部	2.5Y5/1黄灰	2.5Y6/1黄灰	
29	SE211	片鉢	口縁部	N4/1灰	N5/1灰	
30	SE176	擂鉢	口縁部	5Y5/1灰	5Y6/1灰	
31	SB03P21	擂鉢	口縁部	5Y5/1灰	5Y5/1灰	割れ口に漆付着
32	13トレ	擂鉢	口縁部	N3/1暗灰	N3/1暗灰	
33	LK59	擂鉢	口縁部	5Y7/1灰白	5Y7/1灰白	
34	LK59	擂鉢	口縁部	5Y6/1灰	5Y6/1灰	
35	LM55	擂鉢	口縁部	5Y5/1灰	5Y6/1灰	
36	LK47	擂鉢	口縁部	N3/1暗灰	N3/1暗灰・ N8/1灰白（斑状）	
37	LG48	擂鉢	胴部	N3/1暗灰	5Y5/1灰	
38	LE64	擂鉢	胴部	5Y6/1灰	5Y6/1灰	割れ口に漆付着
26－39	KS63	甕か壺	口縁部	5Y5/1灰	5Y4/1灰	
40	SE358	甕	肩部	N6/1灰	2.5Y3/1黒褐	外面にタタキ目
41	LS54	甕	肩部	N4/1灰	N5/1灰	内面に当て具痕、外面にタタキ目
42	KR60	甕	肩部	5Y4/1灰・5Y8/1灰白（斑状）	5Y6/1灰	外面にタタキ目
43	KS61 LD63	甕	胴部	N6/1灰	10YR4/1褐灰	内面に当て具痕、外面にタタキ目
44	LE61	甕	胴部	N4/1灰	N5/1灰	内面に当て具痕、外面にタタキ目
45	LH59	甕	胴部	Y5/1灰	5Y7/1灰白	外面に押印文様
46	LC67	甕	胴部	5Y6/1灰	5Y7/1灰白	外面に押印文様
47	LF60	甕	胴部	5Y4/1灰	5Y7/1灰白	外面に押印文様
48	LC57	甕か壺	胴部	5Y5/1灰	5Y5/1灰	
49	LC67	甕か壺	胴部	5Y5/1灰	5Y5/1灰	外面にタタキ目
50	SK448	甕	底部	2.5Y6/1黄灰	2.5Y6/1黄灰	
51	SE176	壺	肩部	7.5YR4/3褐	7.5YR5/3にぶい褐	外面に櫛目波状文



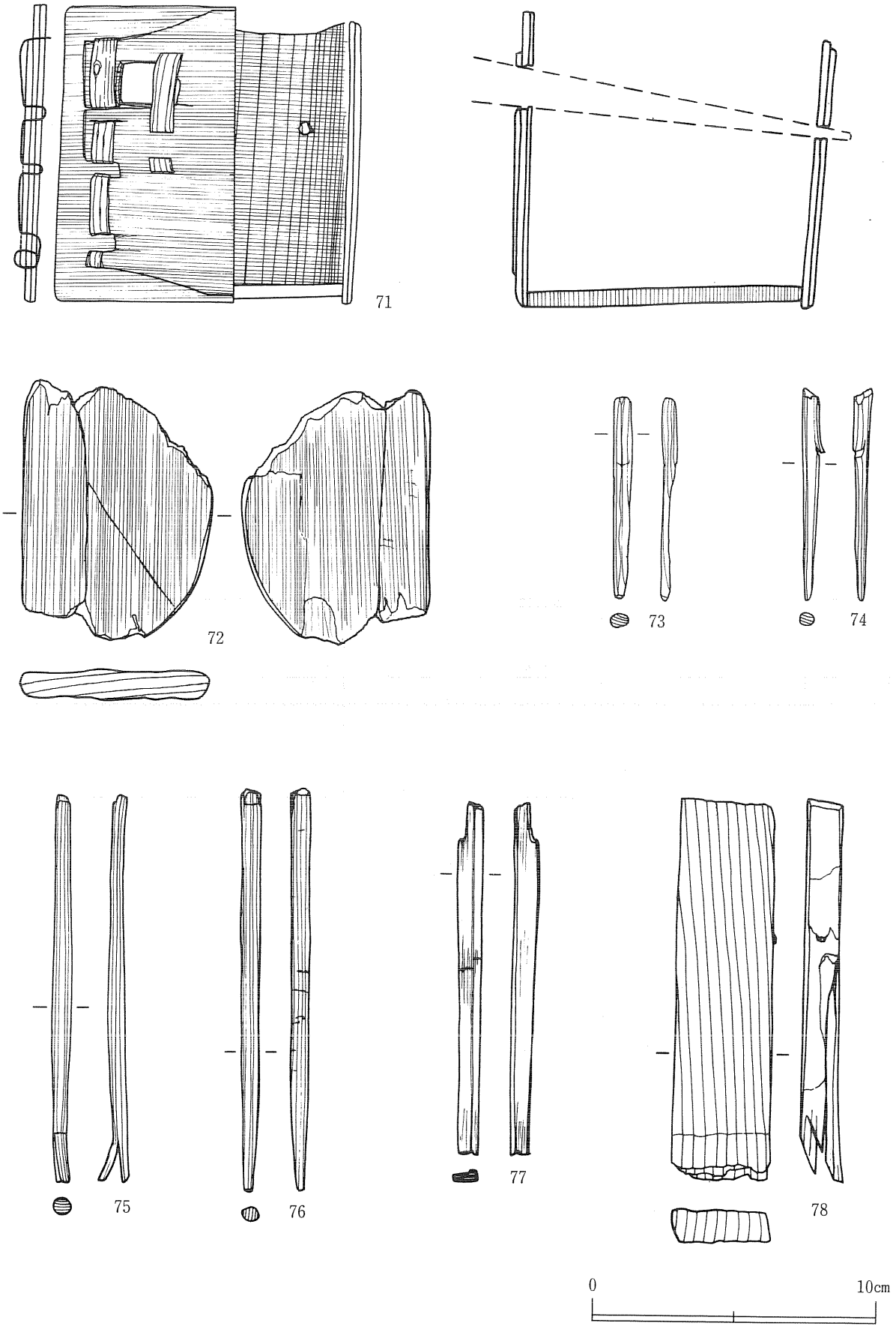
第27図　陶磁器(4)



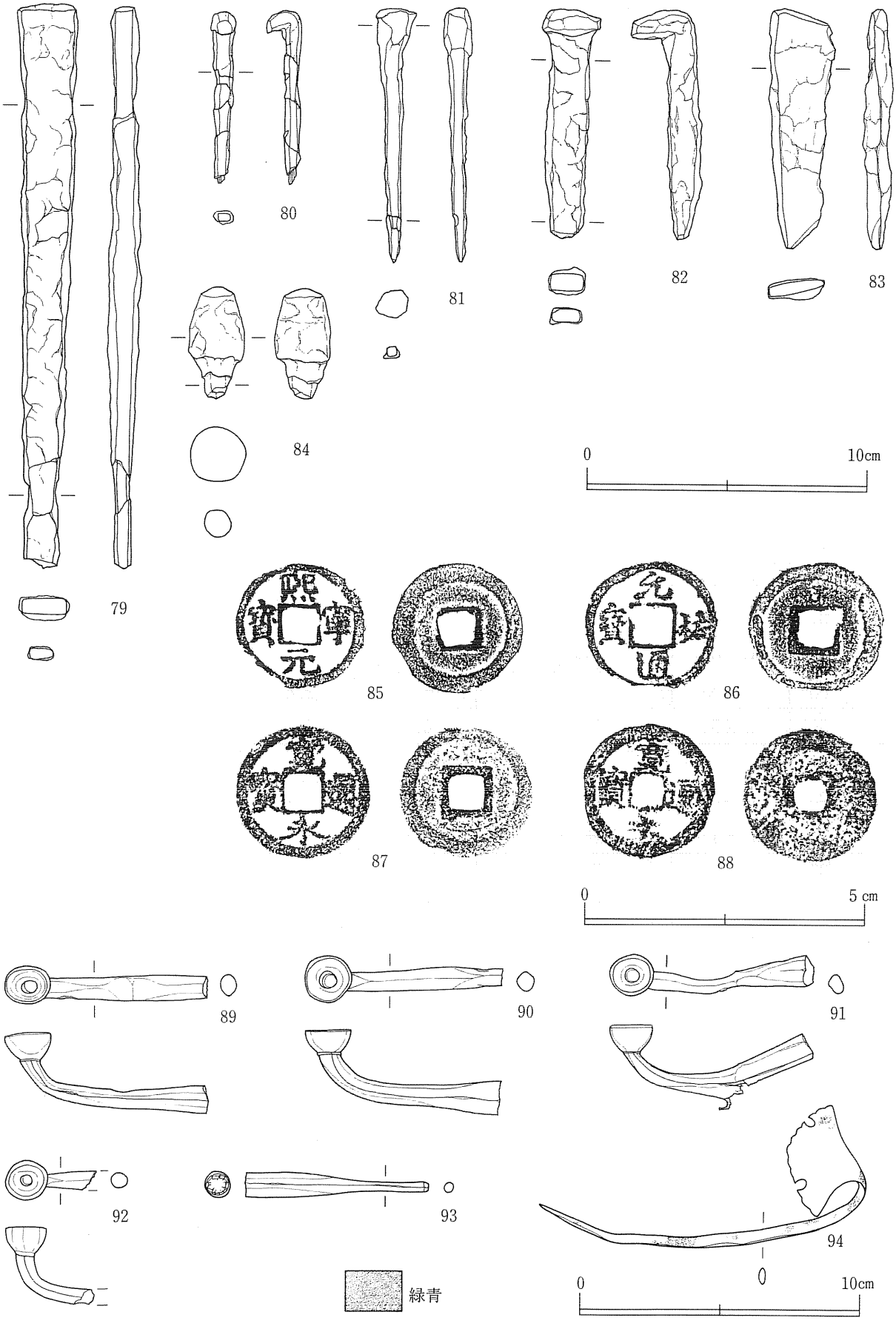
第28図　陶磁器(5)

第13表　陶磁器観察表

挿図番号	出土地点	器　種	残存部位	備　考
27－52	ＭＤ57	甕	口縁部	白磁Ⅳ類　（12世紀）
53	ＳＫＰ66	椀	口縁部	青磁、龍泉窯産（12世紀末～13世紀前半）
54	ＬＭ44・ＬＭ45	染付皿	底　部	龍か獅子の文様あり、中国産か
55	ＬＳ59	染付皿	底　部	植物の文様あり、中国産か
56	ＬＦ53	染付皿	底　部	寿の文様あり、中国産か
57	ＬＡ65	染付皿	底　部	中国産か
58	ＬＡ63・ＬＢ64	染付皿	底　部	中国産か、文様不明
59	ＬＨ59	染付皿	底　部	中国産か、植物の文様あり
60	ＬＲ46	染付皿	底　部	中国産か、文様不明
28－61	ＳＫＰ433・ＬＤ60	灰釉平椀	口縁部	古瀬戸中Ⅳ期（14世紀中葉）
62	ＳＥ316	灰釉平椀	底　部	古瀬戸中Ⅳ期（14世紀中葉）、被熱痕
63	ＬＤ58・ＬＣ59	皿	口縁部から底部	瀬戸・美濃
64	ＬＨ59	小　皿	口縁部から底部	瀬戸・美濃、回転糸切り（右）
65	ＬＦ63	不　明	底　部	志野か
66	ＬＭ44	火　鉢	口縁部から胴部	
67	ＭＨ43	瓶子か	胴　部	瀬戸
68	ＫＲ66	蓋	－	
69	ＭＫ41	蓋	－	
70	ＬＤ61	把手かつまみ	－	



第29図　木製品



第30図　金属製品

第14表　木製品観察表

挿図番号	出土地点	器　種	長さ（口径）	幅（器高）	厚さ
29－71	ＳＥ176	曲物（柄杓）容器	10.5	10.5	－
72	ＬＦ50	曲物（柄杓）底板	9.3	6.8	1.1
73	ＬＥ53	箸	7.2	0.7	0.6
74	ＬＥ63	箸	9.5	0.8	0.7
75	ＬＨ50	箸	13.8	0.7	0.7
76	ＳＥ316	箸	14.3	0.7	0.6
77	ＳＥ316	用途不明	12.5	0.9	0.4
78	ＬＦ51	用途不明	13.6	3.5	1.2

※単位：cm

第15表　金属製品観察表

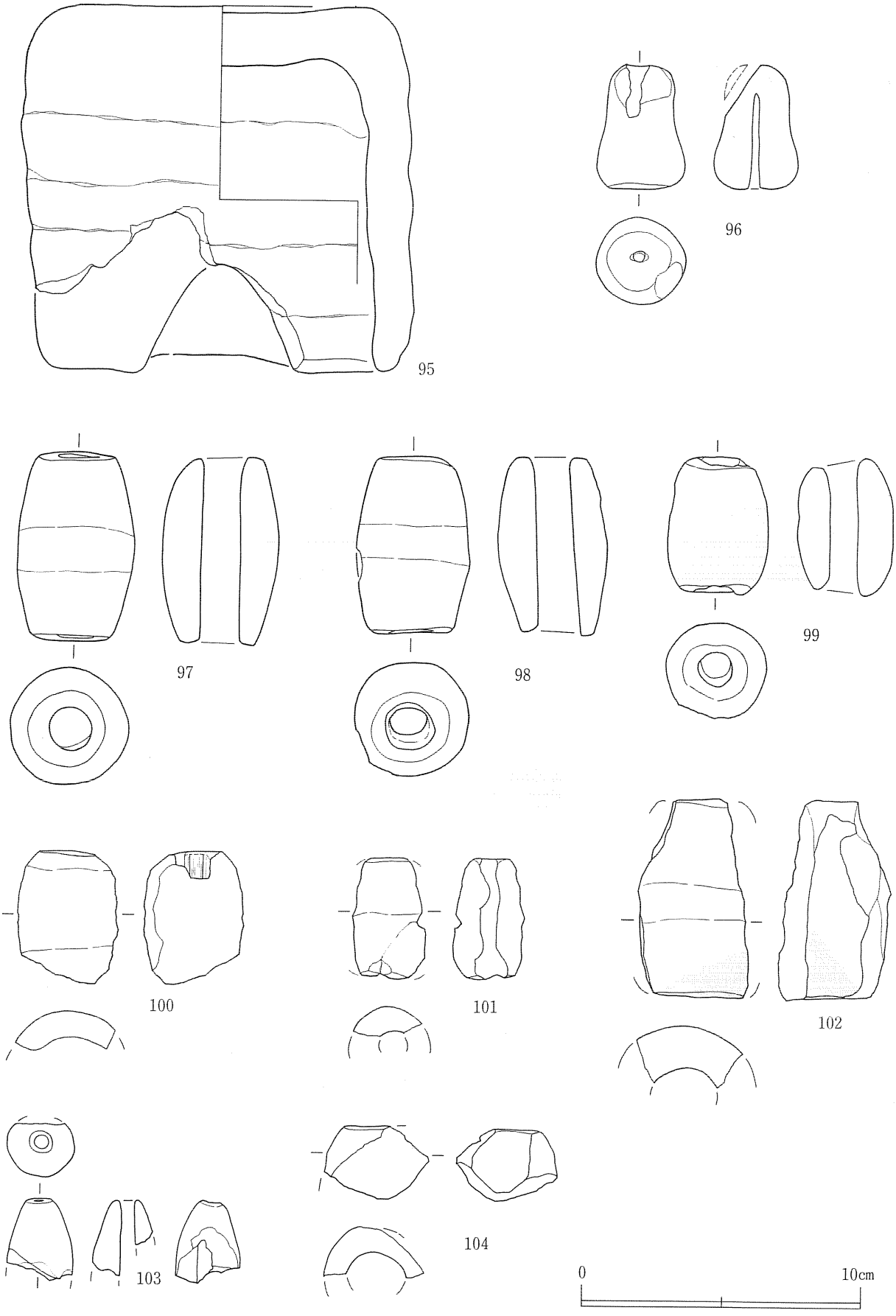
挿図番号	出土地点	器　種	長　さ	幅	厚　さ	重　さ
30－79	ＬＬ59	鉄　鋌	20.3	2.1	1.2	95.6
80	ＭＡ45	釘	6.2	0.9	1.3	7.0
81	ＭＬ36	釘	9.1	1.5	1.0	11.5
82	ＬＥ68	釘	8.3	2.2	2.6	51.3
83	ＭＤ53	刀　子	8.7	2.4	1.0	28.0
84	ＬＫ50	不　明	4.0	2.1	2.0	39.0
89	ＬＧ56	煙　管	7.2	1.7	1.4	5.7
90	ＬＧ58	煙　管	7.0	1.7	1.7	8.2
91	ＬＲ42	煙　管	7.3	1.6	1.5	5.9
92	ＬＰ48	煙　管	3.1	1.4	1.4	4.1
93	ＬＨ52	煙　管	6.6	0.9	0.9	3.9
94	ＬＤ53	簪	11.6	4.3	0.2	13.2

※単位：cm、g

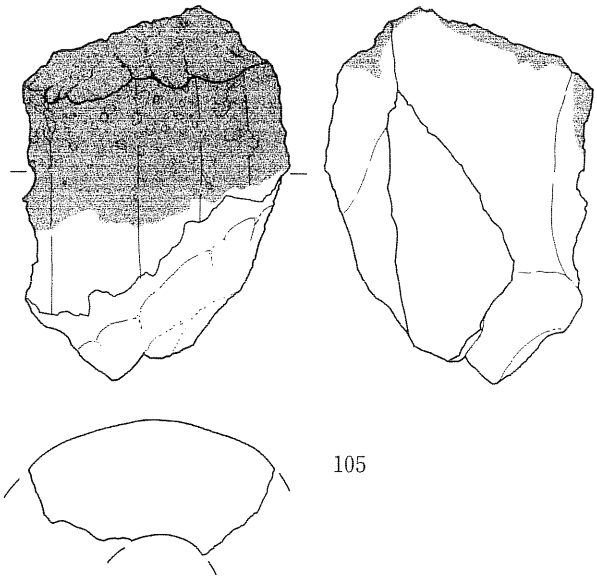
第16表　銭貨観察表

挿図番号	出土地点	銭貨名	外径	銭厚	量目	挿図番号	出土地点	銭貨名	外径	銭厚	量目
30－85	SB37P１	熙寧元寶	2.4	0.15	2.50	30－87	LP53	寛永通寶	2.4	0.10	2.50
86	SB37P１	元祐通寶	2.4	0.15	2.72	88	LR54	寛永通寶	2.4	0.10	1.99

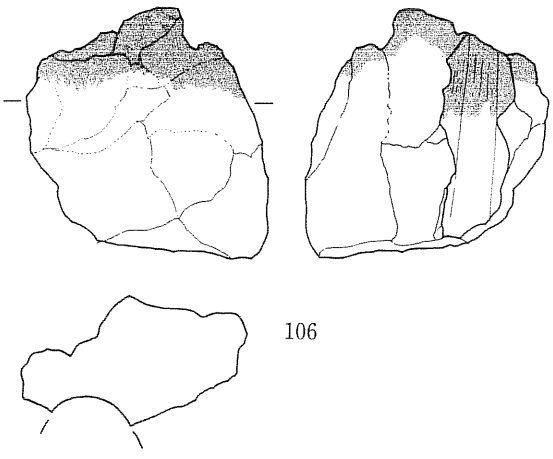
※単位：cm、g



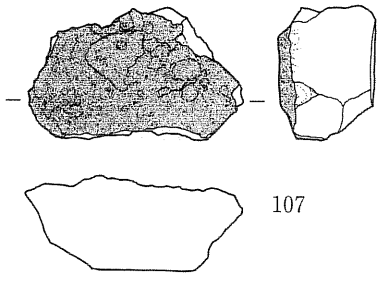
第31図　土製品(1)



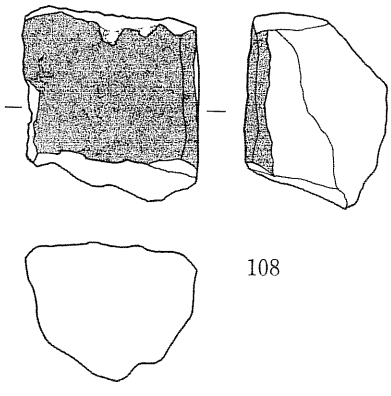
105



106



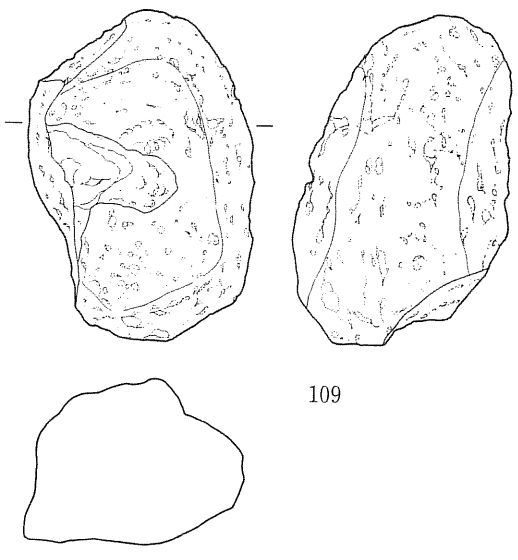
107



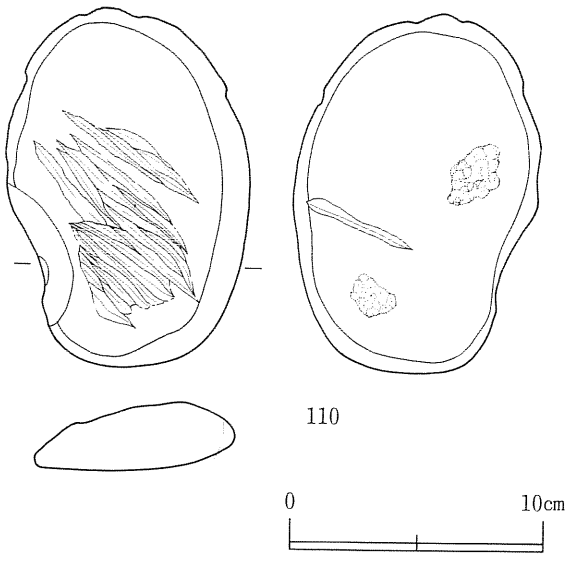
108

被熱部

0　10cm



109



110

0　10cm

第32図　土製品(2)・石製品(1)

第17表　土製支脚観察表

挿図番号	出土地点	天井部径	最大径	器　高	色　調
31－95	S X385	11.0	14.2	13.3	（内外面ともに）5YR7/4（にぶい橙）

※単位：cm

第18表　土製品観察表

挿図番号	出土地点	器種	長さ	幅	重さ	色　調	備　考
31－96	L N50	不明	4.5	3.2	37.3	7.5YR6/6	行き止まりの穴があいている

※単位：cm、g

第19表　土錘観察表

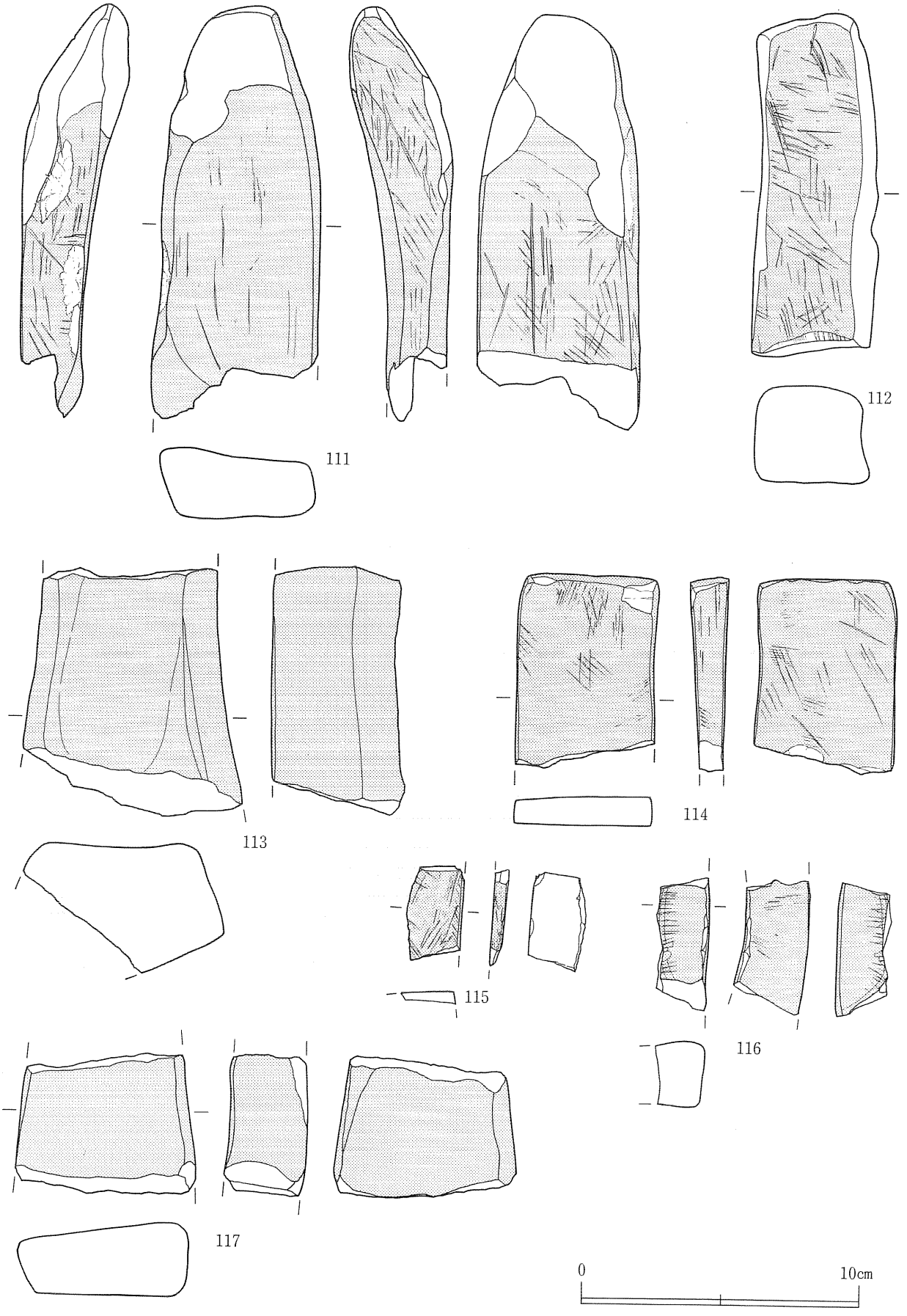
挿図番号	出土地点	長　さ	外　径	内　径	重　さ	挿図番号	出土地点	長　さ	外　径	内　径	重　さ
31－97	SB39P13	6.8	4.2	1.4	86.8	32－101	KT63	(4.3)	－	－	(11.0)
98	LC64	6.5	4.1	1.3	85.5	102	LE60	(7.2)	－	－	(57.8)
99	LA63	5.0	3.6	0.9	46.8	103	LC57	(3.2)	(2.3)	(0.5)	(7.7)
100	LG60	(4.8)	－	－	(19.0)	104	LN49	(2.7)	(3.6)	－	(8.6)

※単位：cm、g　（　）内は残存値

第20表　羽口観察表

挿図番号	出土地点	長　さ	幅	厚　さ	重　さ	挿図番号	出土地点	長　さ	幅	厚　さ	重　さ
32－105	SKP310	10.0	7.0	3.6	170.0	32－107	MJ41	3.5	5.7	2.5	87.2
106	LD63	6.7	6.5	3.5	99.2	108	LI62	5.2	4.8	3.8	42.8

※単位：cm、g



第33図　石製品(2)

第21表　石製品観察表

挿図番号	出土地点	石　質	長　さ	幅	厚　さ	重　さ
32－109	ＳＤ02	浮　石	13.1	8.91	8.5	208.8
110	ＳＥ555	安山岩	9.7	4.3	2.8	454.6

※単位：cm、g

第22表　砥石観察表

挿図番号	出土地点	石　質	種　別	産　地	長さ	幅	厚さ	重さ
31－111	ＬＯ55	頁　岩	中　砥	在地B	(15.0)	6.1	3.7	280.0
112	ＬＣ57	頁　岩	中　砥	不　明	(12.5)	4.5	3.5	306.6
113	ＬＥ59	砂　岩	荒　砥	不　明	(9.0)	8.0	4.8	328.3
114	ＬＦ51	頁　岩	仕上砥	在地A（出羽）	(7.0)	5.1	1.4	80.2
115	ＭＦ49	頁　岩	仕上砥	在　地	(3.5)	2.0	5.0	4.7
116	ＭＱ48	頁　岩	仕上砥	在地A（出羽か）	(4.8)	1.9	2.7	26.1
117	ＬＦ57	砂　岩	荒　砥	不　明	(5.1)	6.5	2.8	125.0

※単位：cm、g　（　）内は残存値

凡　例

産地については、下記の文献を参照されたい。

参考文献

汐見一夫　「砥石について－中世遺跡出土の仕上げ砥を中心に－」　『中世北陸の石文化Ⅰ』
北陸中世考古学研究会　1999（平成11）年

第５章　自然科学的分析

第１節　放射性炭素年代測定

山形　秀樹（パレオ・ラボ）

１　放射性炭素年代測定について

大浦遺跡から出土した炭化物試料７点と箸片試料１点、併せて８点の放射性炭素年代をＡＭＳ法にて測定した。

試料は、酸・アルカリ・酸洗浄を施して不純物を除去し、石墨（グラファイト）に調整した後、加速器質量分析器（ＡＭＳ）にて測定した。測定された^{14}C濃度について同位体分別の補正を行ったあと、補正した^{14}C濃度を用いて^{14}C年代値（yrBP:AD1,950年から何年前かを示した値）を算出した。

なお、年代値の算出には^{14}Cの半減期としてLibbyの半減期5,568年を使用して年代値を算出した。また、付記した年代誤差は、計数値の標準偏差σに基づいて算出し、標準偏差（One sigma）に相当する年代である。試料の^{14}C計数率と現在の標準炭素(Modern standard carbon)の^{14}C計数値の比が^{14}C(Sampule）／^{14}C（modern）≧１の時は、Modernと表示する。

２　同位体分別の補正について

表示した同位体比（‰）は標準値からのずれを示し、δ^{13}Cの値は、試料炭素の^{13}C／^{12}C比を質量分析器で測定し、標準にPDBを用いて、$\delta^{13}C=[\{(^{13}C/^{12}C)\ (Sampule)-(^{13}C/^{12}C)\ (PDB)\}/(^{13}C/12C)\ (PDB)]\times1000$によって算出された値である。試料のδ13C値を－25.0‰に規格化することにより、測定されたδ^{13}Cの値を用いて^{14}C濃度を補正し、これを用いて^{14}C年代値を算出した。従って、表示した^{14}C年代値は同位体分別効果による測定誤差に補正した年代値である。

３　暦年代較正について

暦年代較正は、大気中の^{14}C濃度が一定で半減期が5,568年として算出された^{14}C年代値（yrBP）に対し、過去の宇宙線強度の変動による大気中の^{14}C濃度の変動および半減期の違い（^{14}Cの半減期５,730±40年）を補正し、より正確な年代を求めるために^{14}C年代を暦年代に変換することである。具体的には、年代既知の樹木年輪の^{14}C年代の詳細な測定値を用い、さらに珊瑚のU－Th年代と^{14}C年代の比較、および海成堆積物中の縞状の堆積構造を用いて^{14}C年代と暦年代の関係を調べたデータにより、較正曲線を作成し、これを用いて較正暦年代値を算出する。較正暦年代値の算出にRadiocarbonCalibration program* CALIB rev.4.3{Reference for datasets used: Stuiver,M., Reimer,P.J.,Bard,E.,Beck,J.W., Burr, G.S., Hughen,K.A.,Kromer,B.,McCormac,F.G., v.d. Plicht,J.,and Spurk,M.（INTCAL98：Stuiver et al., 1998 a)．　Radiocarbon　40：1041－1083} を使用した。なお、交点年代値は14C年代値に相当する較正曲線上の年代値であり、１σ年代幅は^{14}C年代誤差に相当する年代になる。暦年代への較正は約二万年前から、ＡＤ1,950年までが有効であり、該当しないものについては較正暦年代値を*****またはModernと表示する。また、ＡＤ1,955*Modernを意味する。ただし、一万年以前のデータはまだ不完全で

あるため注意する必要がある。

較正暦年代値に関しては、^{14}C年代値の参考として記載しているものである。

表1．放射性炭素年代測定結果

測定番号（測定方法）	試料データ	$\delta^{13}C$ PDB（δ）	^{14}C年代値（yrBP±1σ）	較正暦年代値	
				交点年代値	1σ年代幅
PLD−801（AMS）	炭化物　No.1 6OR　SK192 第3層	−25.0	615±25	cal AD 1,320 cal AD 1,350 cal AD 1,390	cal AD 1,305 to 1,330 cal AD 1,340 to 1,370 cal AD 1,380 to 1,395
PLD−802（AMS）	炭化物　No.2 6OR　SEOl 第9層	−23.4	730±25	cal AD 1,285	cal AD 1,275 tol,290
PLD−803（AMS）	炭化物　No.3 6OR　SE176 覆土中	−27.9	655±25	cal AD 1,300 cal AD 1,375 cal AD 1,380	cal AD 1,295 to 1,305 cal AD 1,365 to 1,385
PLD−804（AMS）	箸片　No.4 6OR　SE316 覆土中	−25.6	590±25	cal AD 1,330 cal AD 1,345 cal AD 1,395	cal AD 1,320 to 1,350 cal AD 1,390 to 1,405
PLD−805（AMS）	炭化物　No.5 6OR　SE715 覆土中	−27.0	4,345±30	cal BC 2,920	cal BC 3,010 to 2,985 cal BC 2,925 to 2,910
PLD−806（AMS）	炭化物　No.6 6OR　SD716 覆土中	−25.5	525±25	cal AD 1,415	cal AD 1,405 to 1,425
PLD−807（AMS）	炭化物　No.7 6OR　SD02 床面直上	−25.7	3.310±25	cal BC 1,605 cal BC 1,560 cal BC 1,535	cal BC 1,680 to 1,670 cal BC 1,625 to 1,525
PLD−808（AMS）	炭化物　No.8 6OR　SKP383 覆土中	−24.0	525±25	cal AD 1,325 cal AD 1,345 cal AD 1,395	cal AD 1,305 to 1,365 cal AD 1,305 to 1,400

引用文献

中村俊夫（2000）　放射性炭素年代測定法の基礎．日本先史時代の14C年代、p.3−20

Stuiver,M.and Reimer,P.J.（1993）Extended14CDatabase and Revised

CALIB3.014CAge Calibration Program.Radiocarbon，35，p.215−230.

第6章　まとめ

大浦遺跡では発掘調査の結果、遺構として掘立柱建物跡７棟、柱穴列３条、柱穴様ピット594基、竪穴状遺構１基、井戸跡17基、土坑12基、鍛冶炉跡１基、溝跡10条、道路跡１条、その他の遺構２基を検出し、遺物は土師器、須恵器、陶磁器、曲物・箸などの木製品、鉄鋌、銭貨などの金属製品、土錘・羽口などの土製品、砥石などの石製品が出土した。遺構と遺物について記述し、当時の景観について推察したい。

1　遺構と遺物について

調査区東端部から検出した遺構群の配置を考える際、ＳＤ02溝跡とＳＤ531溝跡とを繋ぐラインをひとつの境界と見なすことができる。検出した７棟の掘立柱建物跡のうち４棟（ＳＢ03・37・39・55掘立柱建物跡）は、これらの溝に区画された範囲から検出した。ＳＤ02溝跡に並行するＳＡ11柱穴列は、溝の内と外とを隔てる板塀の痕跡と考えられ、ＳＡ280柱穴列は、ＳＢ55掘立柱建物跡にともなうものと推定される。注目すべきは、これらの掘立柱建物跡・溝跡・柱穴列がＳＭ343道路跡に対して一定の方向性をもつことであり、これらは同時期に存在したと推定される。

遺構群の所属する時期については、出土した鞴の羽口・須恵器系中世陶器及び貿易陶磁器、炭化物年代測定の結果がその指標となる。ＳＫＰ310柱穴様ピットからは、鞴の羽口（第32図105）が出土した。内径4.2cm、外径10.0cm（いずれも推定値）という数値から、この羽口は、大型炉を備え効率化した中世期以降のものであると推定され、本遺跡の遺構内外から総計約６kgの鉄滓が出土していること、鍛冶炉跡（ＳＮ96）が検出していること、そしてこれらの出土・検出地点が中世の掘立柱建物跡が集中する遺跡東端部の極めて限られた範囲に集中していることから、中世の所産として捉えることができる。元来、本遺跡の位置する芋川流域（内越地区）は鞴の羽口や鉄滓を出土する地点が多いことで知られており、古くから鉄生産が活発に行われていたことが推定される。本遺跡の上流2.8kmに位置する新漆畑遺跡では、土師器出土量の２倍以上と推定されるおびただしい量の鉄滓が出土し、遺跡の位置する場所はカナクソと俗称されていた。また本遺跡の北東11.5kmに位置する絵図書森遺跡（大内町葛岡）では、大量の鉄滓と中世と推定される鞴の羽口が出土し、鉄の一大供給地があった可能性が指摘されている。須恵器系中世陶器は計95点が出土したが、遺構内出土の18点は、すべて調査区東側に位置する掘立柱建物跡・井戸跡・土坑・道路跡・柱穴様ピットから出土した。わずか１点ずつではあるが、白磁・青磁も出土している。白磁（第27図52）は12世紀のもの、ＳＫＰ66柱穴様ピットから出土した劃花文の描かれた青磁は、12世紀末～13世紀前半の龍泉窯産である。また井戸跡・土坑から出土した炭化物の年代測定結果は、いずれも14～15世紀の年代を示している。これらのことを陶磁器類の生産年代と使用年代の差を考慮して、東側遺構群構築の時期を初源13世紀、下限15世紀と考えたい。

2　大浦遺跡当時の景観について

秋田県内での中世道路跡の検出例は、歌内・中田面・洲崎遺跡に続いて４例目となる。道路遺構そ

のものへの認識が最近始まったことであることを十分念頭に置きながら、以下に想像される当時の景観について述べてみたい。

道路遺構の東側は芋川右岸につきあたる。芋川の川湊があり、連絡道路として使用されたと考えられる。また、芋川は、9世紀後半頃には山岳信仰の霊地とされた保呂羽山に源を発し、本遺跡の0.9km下流で子吉川と合流し日本海に注ぐことから、本遺跡の位置は分岐点にある川湊として、極めて重要な位置を占めていたと想定される。一方、道路遺構の西側は、遅くとも中世末期にはその存在が確認されている、古刹・新山神社方向に向かって延びている。地理的・人文的条件からすると、本遺跡が物資の集散地としての機能と門前町的な機能とを兼ね備えていた可能性もある。そこは、いわゆる一般的な人々が居住した農漁村とは性格を異にした、都市的な機能を果たす空間（川湊・津）であったのかもしれない。来跡した塩谷順耳氏は、「この屋敷を経営する主体が中小領主であることは、屋敷内を東西に走る道路に求められる。この道は他所から土砂を運び踏み固めたもので、幅・長さから推してかなりの労働力を必要とする。従ってこの造成は集落を支配する領主でなければならない。この道路の利用は川岸に向かっているから、漁業、及び芋川・子吉川の舟運にかかわるものと考えられ、それに従事した主体者も屋敷に住む武士であろう。古い青磁の出土もそれを立証している。」[註1)]とし、本遺跡が在地領主の生活拠点であるという氏の論の根拠として道路遺構を取り上げている。

発掘調査の結果の中に、「どのような階層の、誰が」この遺跡の運営主体となったのかを結論づける資料を見出すことはできなかったので、本遺跡の性格を広義的に「中世の集落跡」とした。しかし、鉄生産が行われていたこと、同時代の類例と比較しても見劣りのしない規模の道路が造成されていたことは、そこに何らかの権力が介在したことを窺わせるに余りある。対岸に位置する川口館を含め、ごく僅かではあるが奢侈品である貿易陶磁器も見つかっている。一漁師が住んでいたとは思えない4間×4間の総柱掘立柱建物跡（ＳＢ39）の柱穴（Ｐ13）から、埋納された土錘（第31図97）が出土したことは、水利・漁労を掌握するものがそこに住んでいたことを想像させる。

遺跡西側にある新山公園内の「三望苑」からは、今も眼下に子吉川・芋川の流れを、西方には雄大な日本海を眺望することができるが、この地に立つと大浦が「要衝の地」であるを思わずにはいられない。その思いは、河川交通が大きなウェイトを占めていた中世の頃であれば、尚のことであったと考えられる。

註1. 塩谷順耳　「大河兼任の周辺－中小領主の遺跡など－」　『秋田市史研究』第10号　2001（平成13）年

参考文献

・角川日本地名大辞典編纂委員会　『角川日本地名大辞典　5秋田県』　1980（昭和55）年
・秋田県教育委員会『中田面遺跡・重兵衛台Ⅰ遺跡・重兵衛台Ⅱ遺跡・根洗場遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第74集　1980（昭和55）年
・秋田県教育委員会『東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅱ－歌内遺跡－』　秋田県文化財調査報告書第88集　1982（昭和57）年
・渡辺金重　「土谷製鉄跡について」　本荘市南内越郷土史探究サークル誌『わがふるさとの歴史』第3集　1986（昭和61）年

・本荘市教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　1988（昭和63）年
・本荘市史編さん室　『本荘市史民俗調査報告書第3集－南内越・北内越の民俗－』　1992（平成4）年
・渡辺金重　「上谷地遺跡の背景を見る」　本荘市南内越郷土史探究サークル誌『わがふるさとの歴史』第4集　1997（平成9）年
・本荘市教育委員会　「本荘市新漆畑遺跡調査報告」　本荘市文化財保護協会機関誌『鶴舞』第77号　1999（平成11）年
・山口博之　「出羽南半の中世古道」　『中世のみちと物流』　1999（平成11）年
・秋田県教育委員会　『洲崎遺跡－県営ほ場整備事業（浜井川地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－』　秋田県文化財調査報告書第303集　2000（平成12）年
・秋田県教育委員会　『北遺跡－日本海沿岸東北自動車道建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ－』　秋田県文化財調査報告書第315集　2001（平成13）年

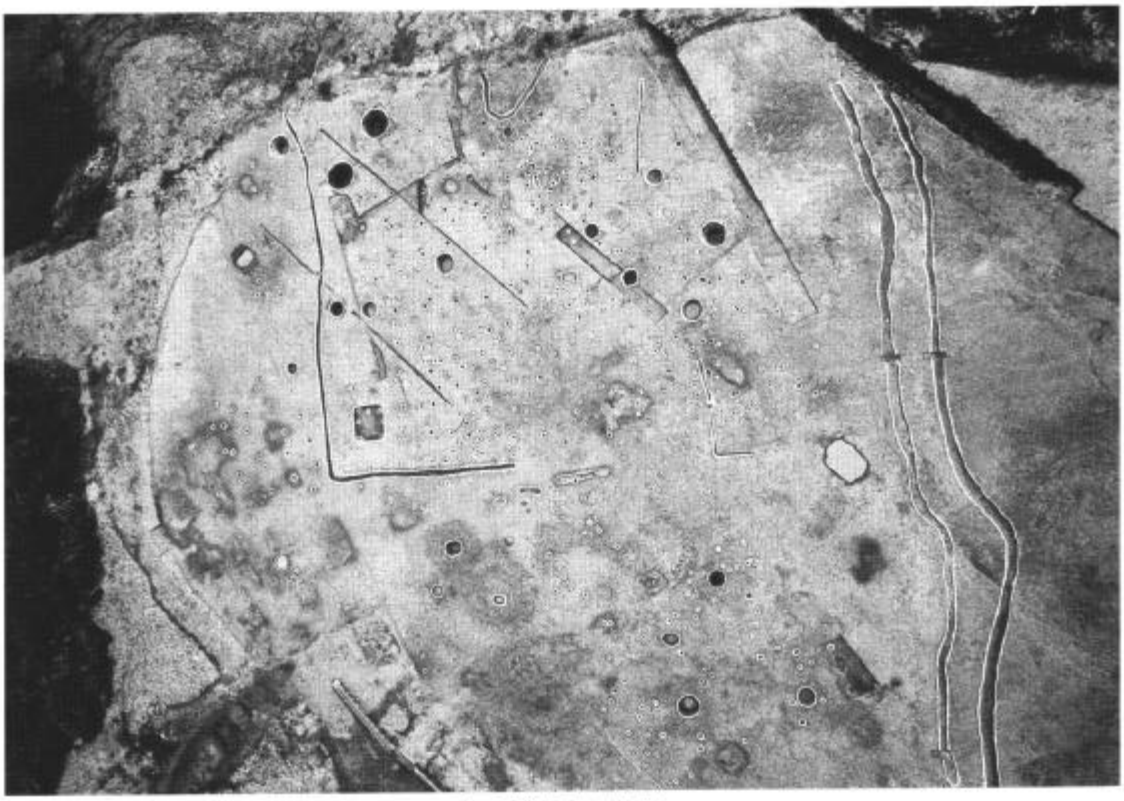
遺跡遠景（南→）

図版1

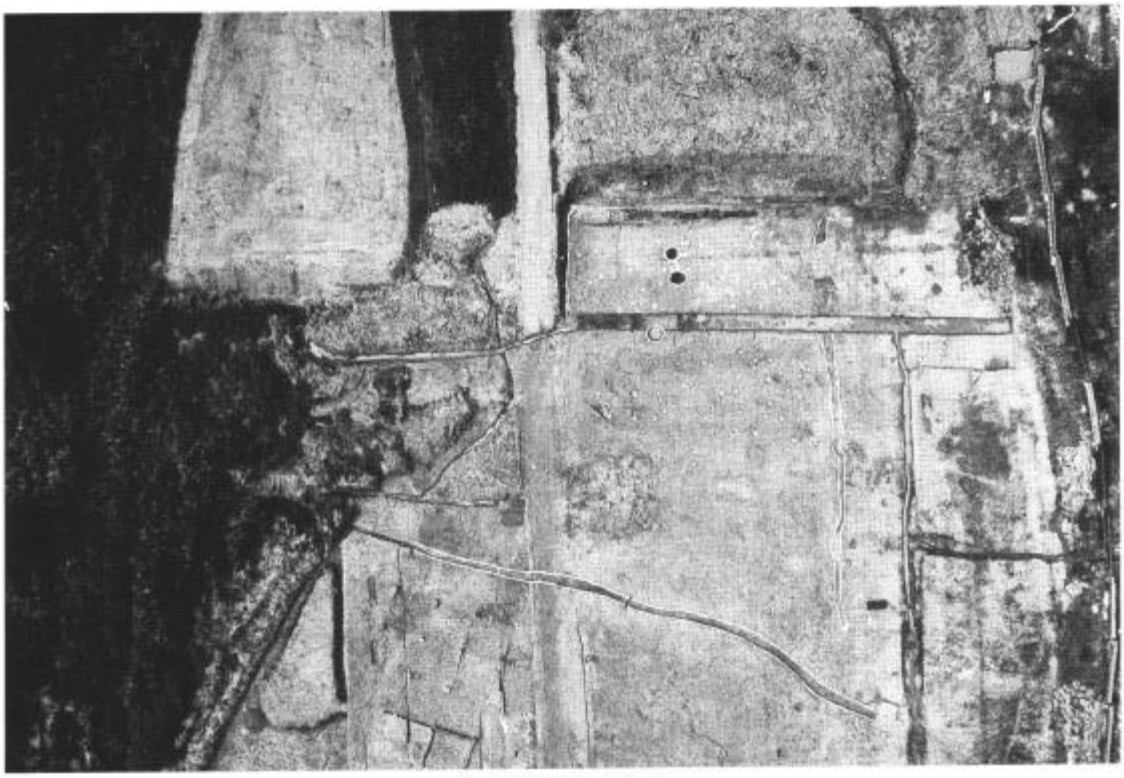
図版2

1．遺跡遠景・調査前（東→）

2．遺跡遠景・調査後（東→）

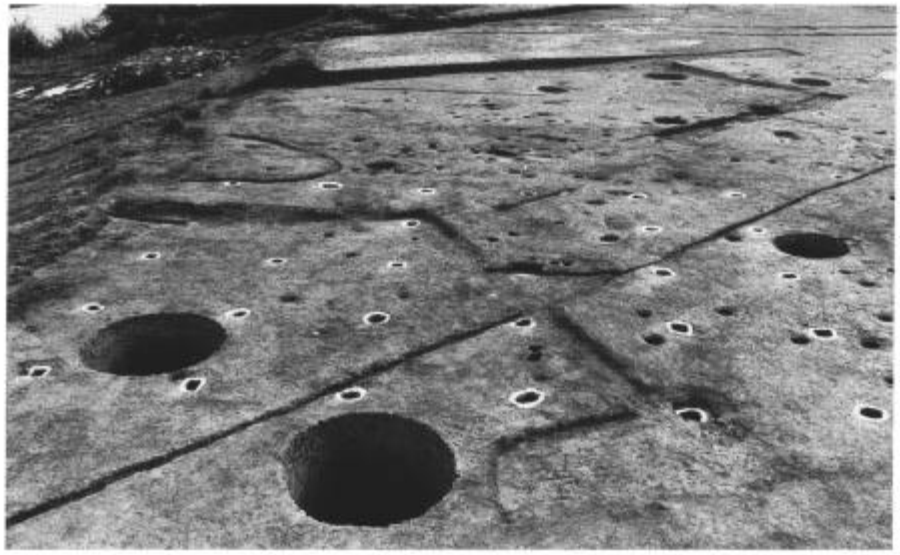


1．調査区東（真上）

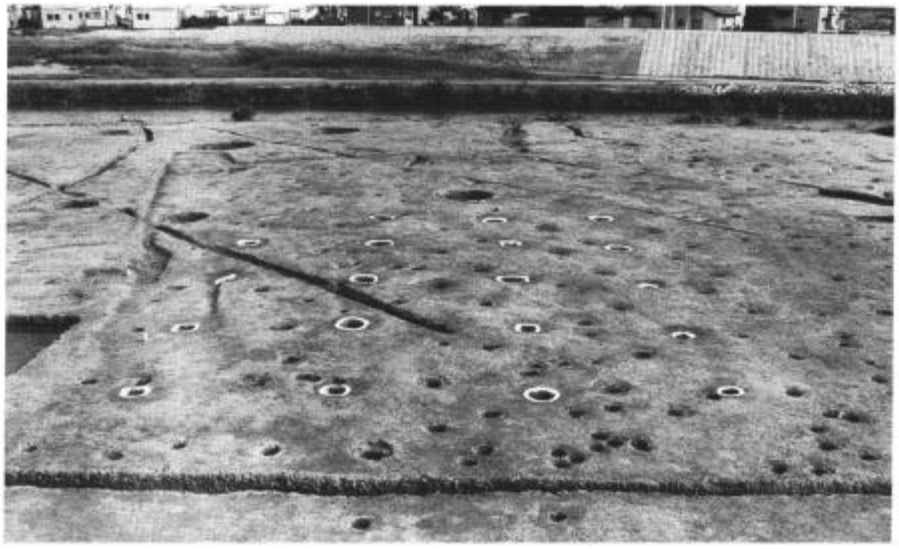


2．調査区西（真上）

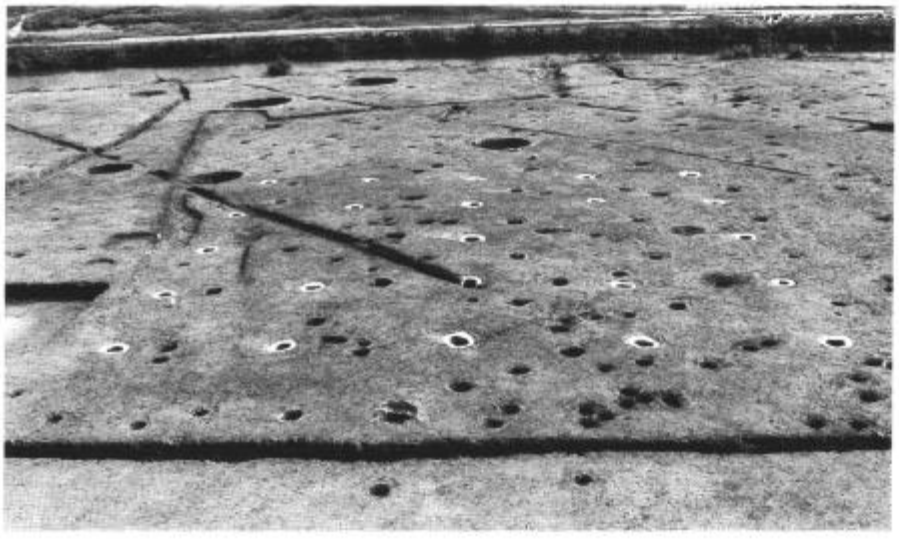
図版4



1．ＳＢ03
掘立柱建物跡（北→）



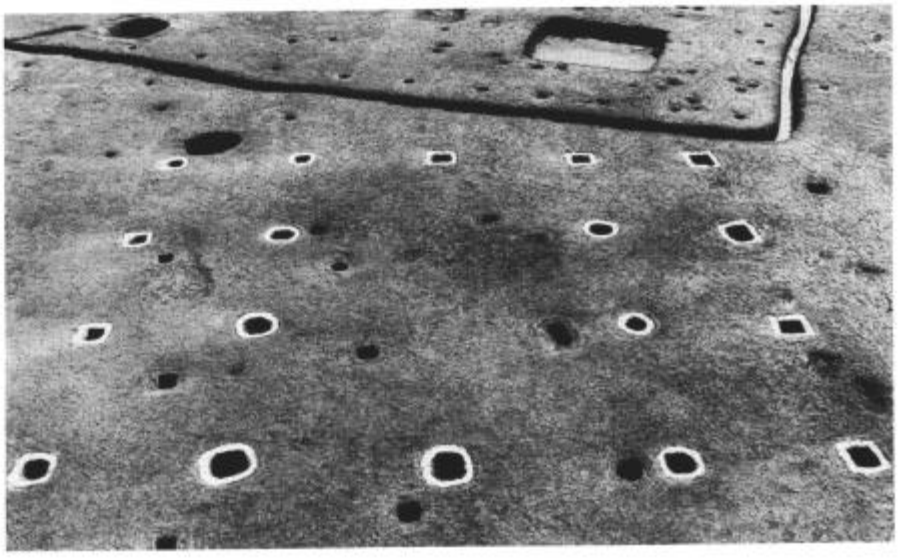
2．ＳＢ37
掘立柱建物跡（西→）



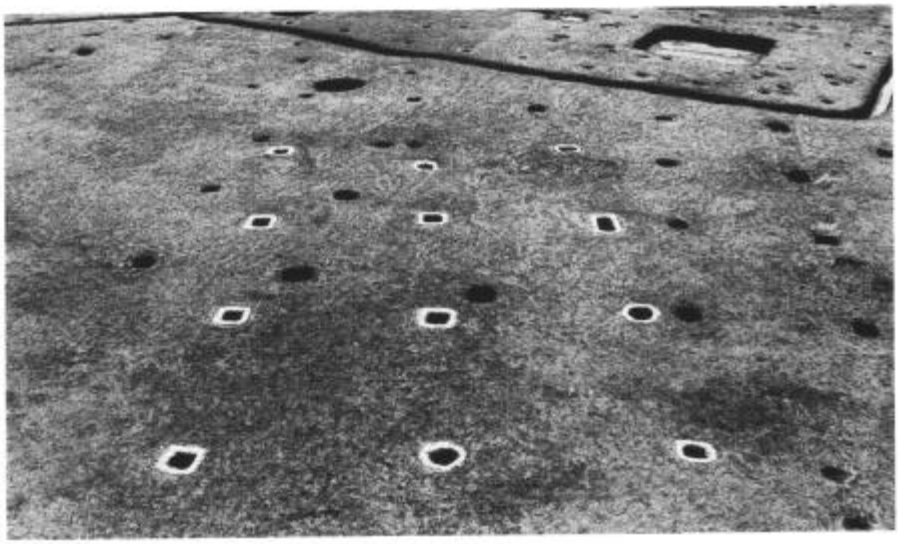
3．ＳＢ39
掘立柱建物跡（西→）

1．ＳＢ55
掘立柱建物跡（西→）

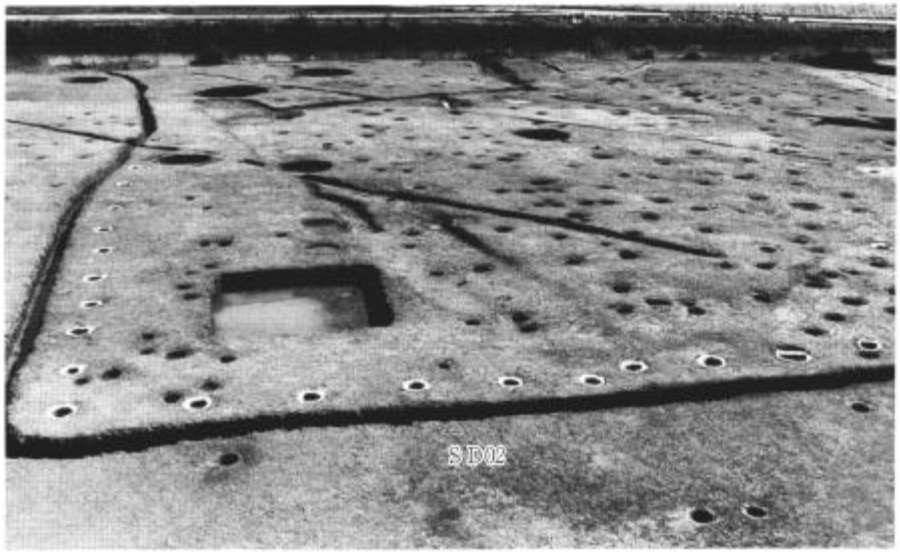
2．ＳＢ82
掘立柱建物跡（北→）



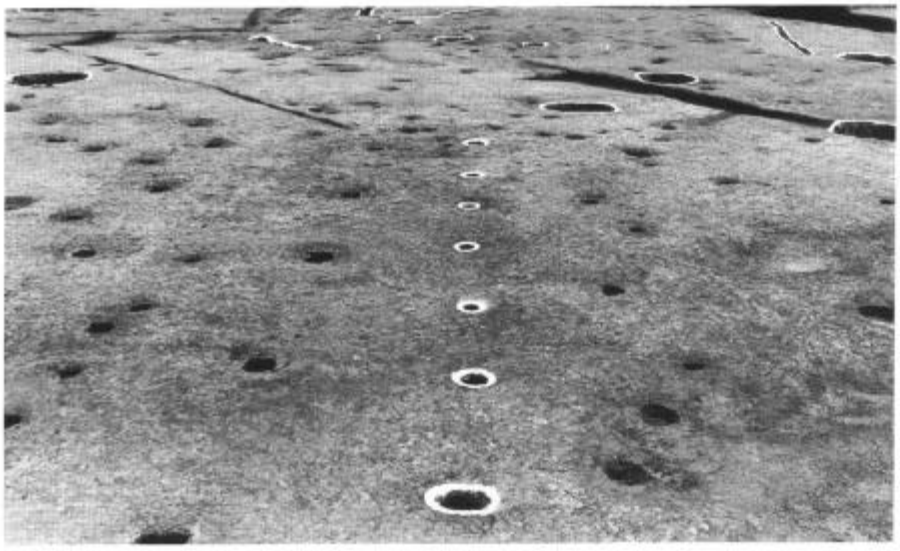
3．ＳＢ214
掘立柱建物跡（北→）



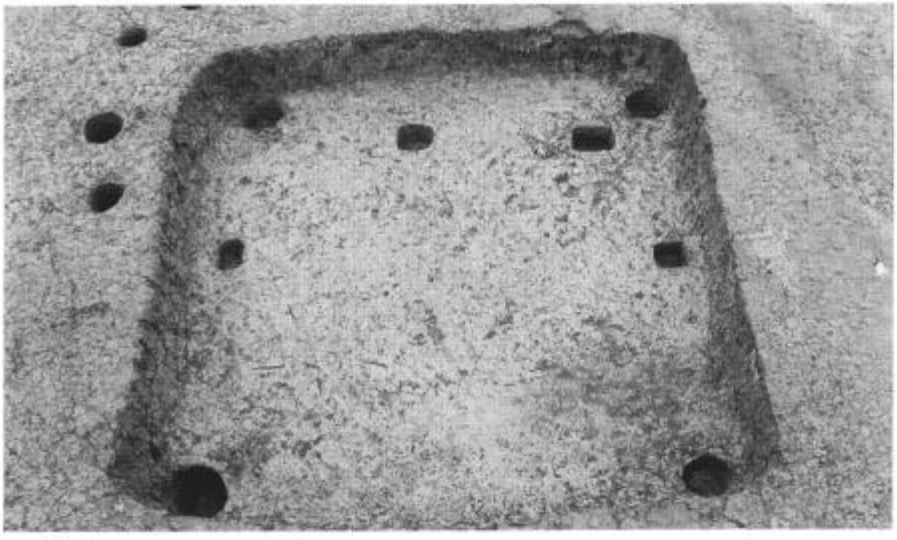
図版6



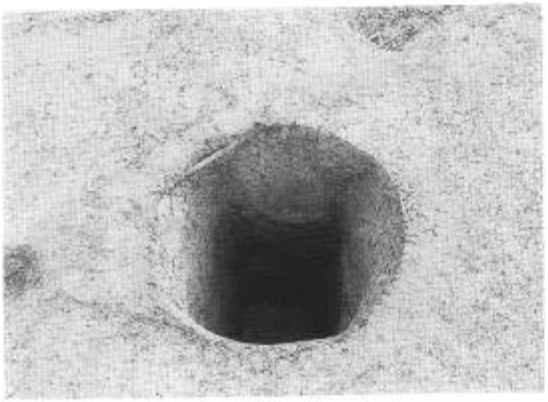
1．ＳＡ11柱穴列（西→）



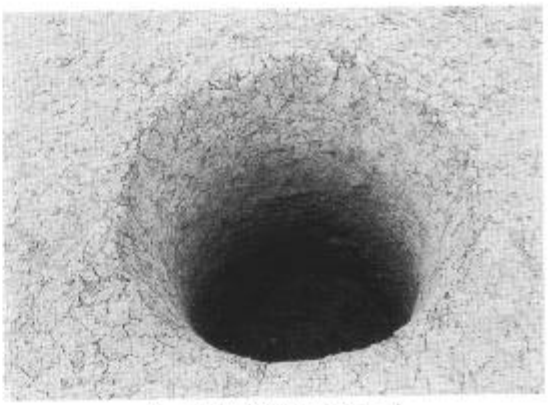
2．ＳＡ280柱穴列（西→）



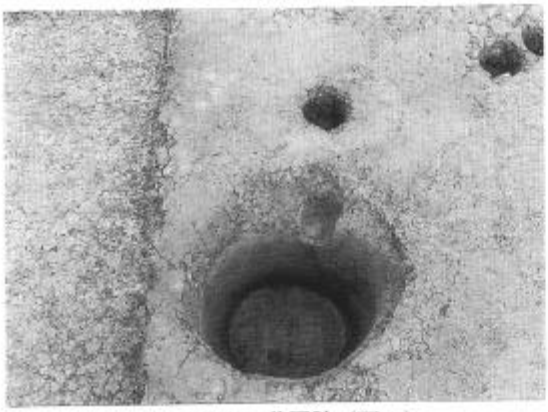
3．ＳＫＩ92柱穴列（西→）



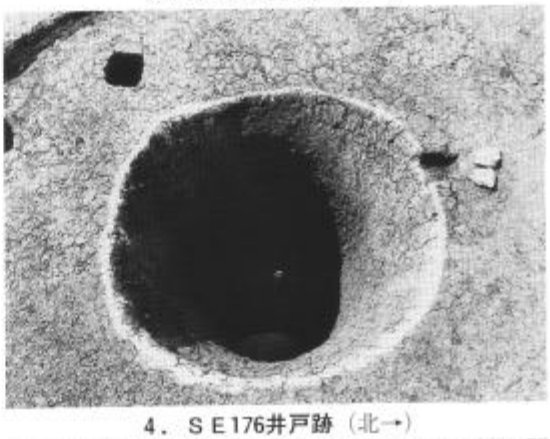
1．ＳＥ01井戸跡（北→）



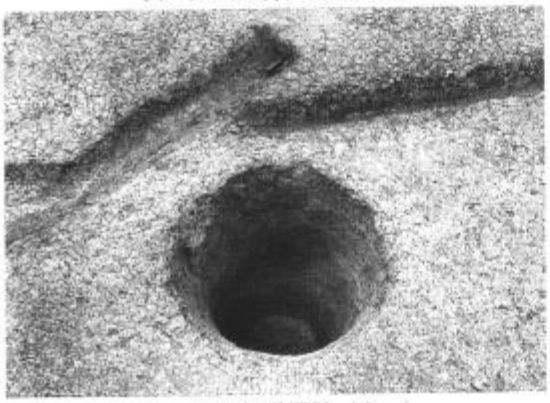
2．ＳＥ70井戸跡（南→）



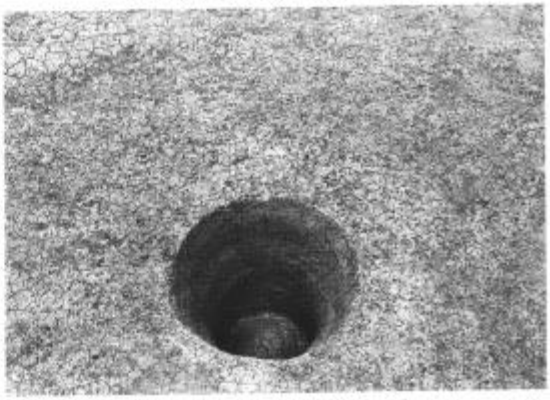
3．ＳＥ127井戸跡（西→）



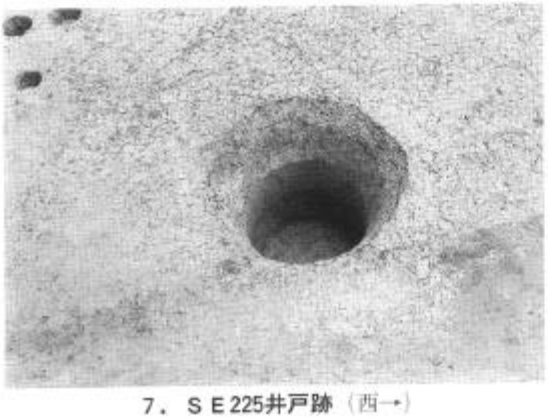
4．ＳＥ176井戸跡（北→）



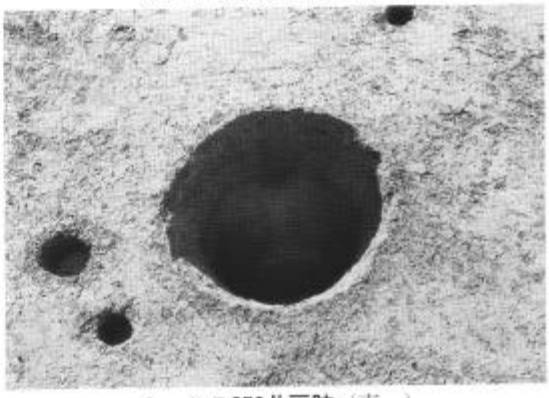
5．ＳＥ211井戸跡（南→）



6．ＳＥ220井戸跡（南→）

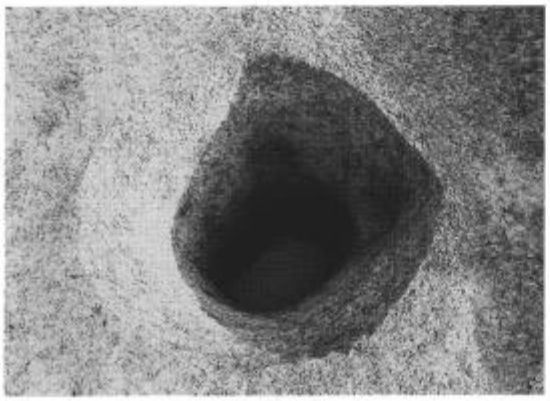


7．ＳＥ225井戸跡（西→）



8．ＳＥ252井戸跡（東→）

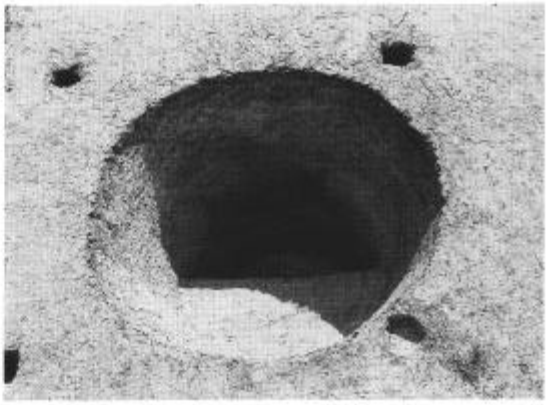
図版8



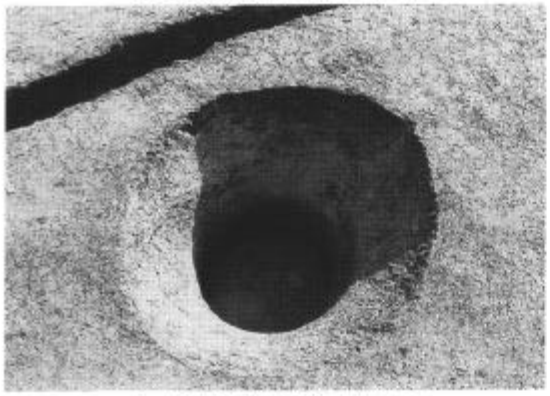
1．ＳＥ316井戸跡（北→）

2．ＳＥ324井戸跡（南→）

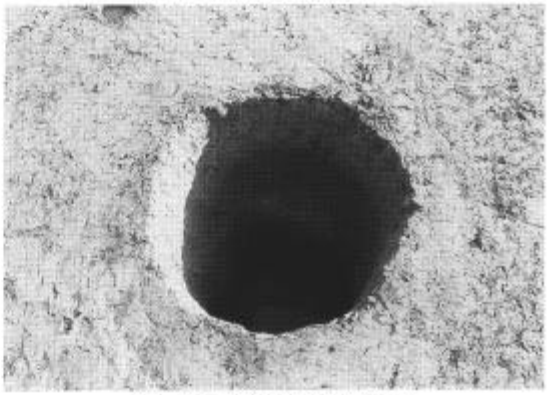
3．ＳＥ326井戸跡（北→）



4．ＳＥ358井戸跡（南→）

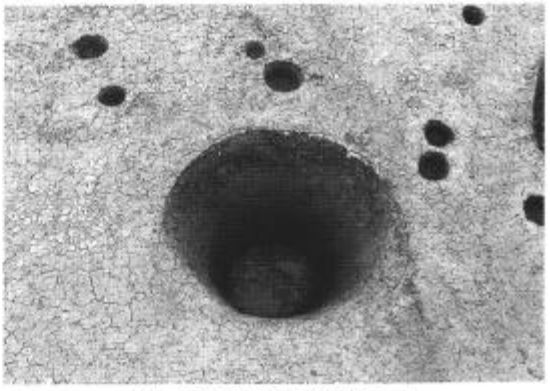


5．ＳＥ364井戸跡（北東→）

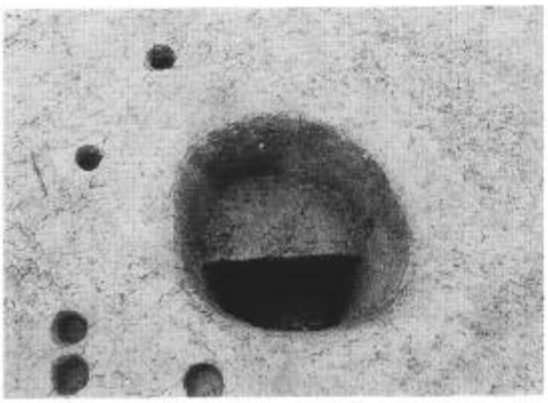


6．ＳＥ502井戸跡（北→）

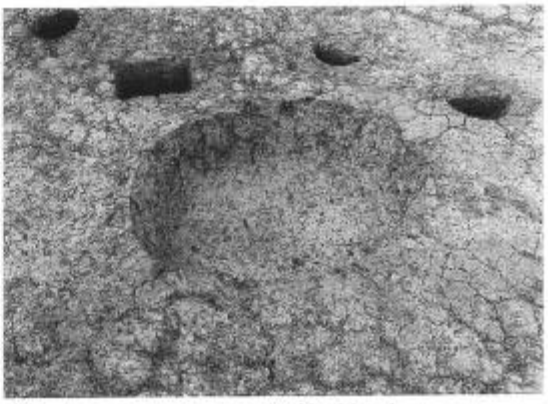
7．ＳＥ555井戸跡（西→）



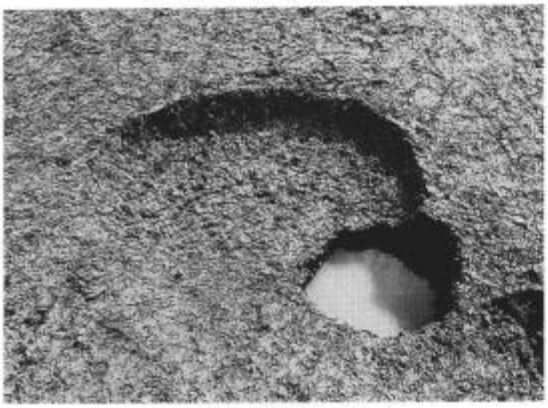
8．ＳＥ715井戸跡（南→）



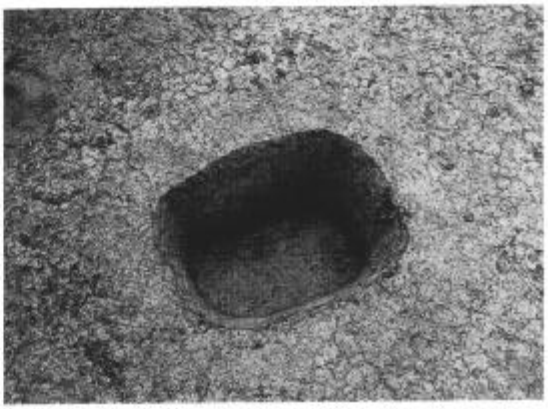
1．ＳＥ716井戸跡（南→）



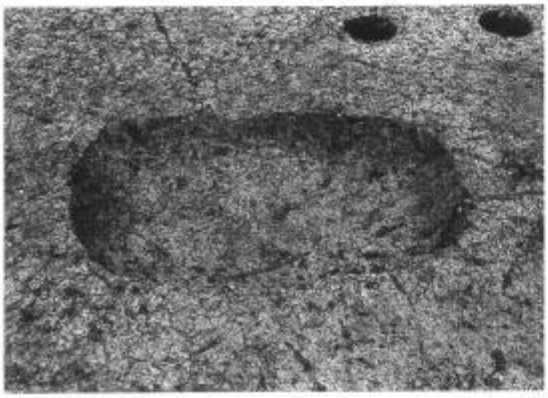
2．ＳＫ109土坑（南→）



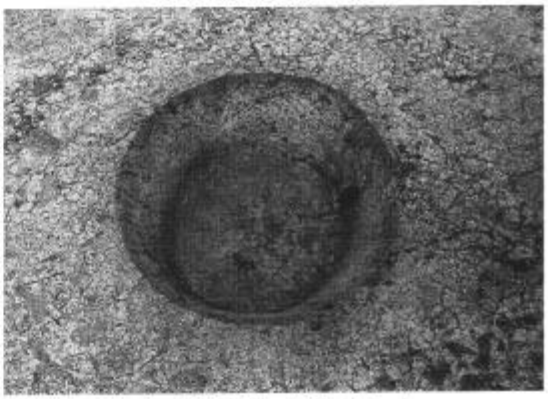
3．ＳＫ119土坑（北→）



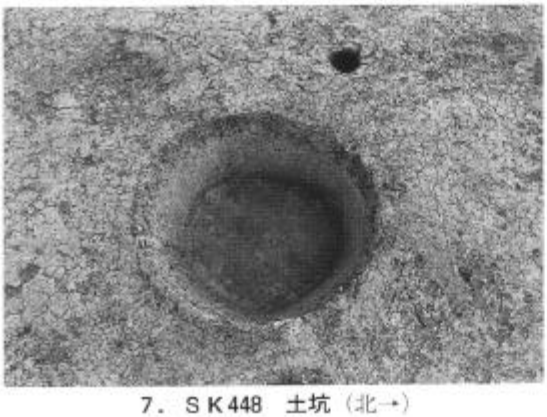
4．ＳＫ203土坑（東→）



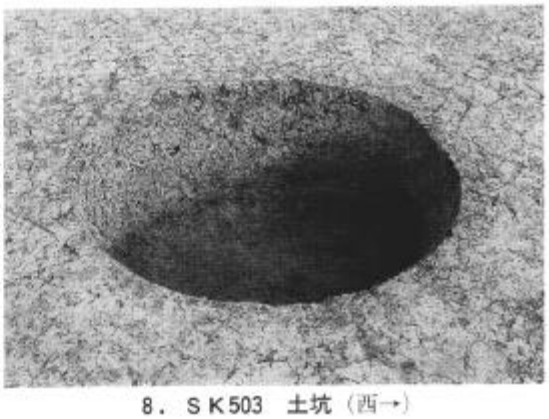
5．ＳＫ294　土坑（南東→）



6．ＳＫ308　土坑（北→）

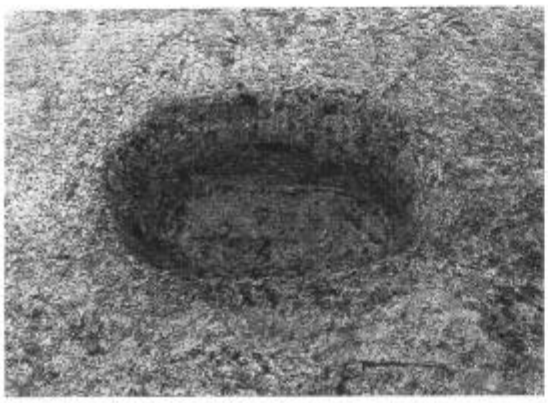


7．ＳＫ448　土坑（北→）

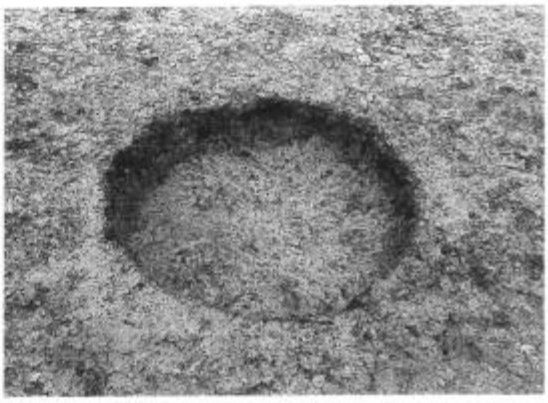


8．ＳＫ503　土坑（西→）

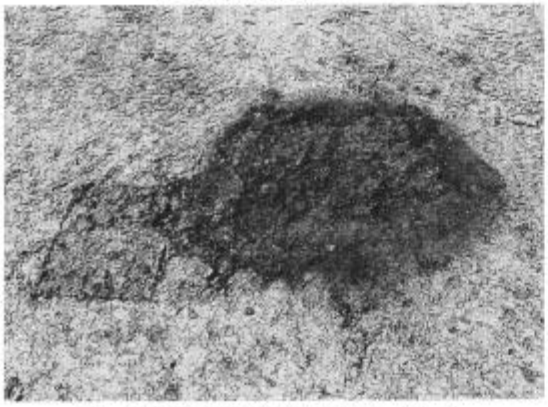
図版10



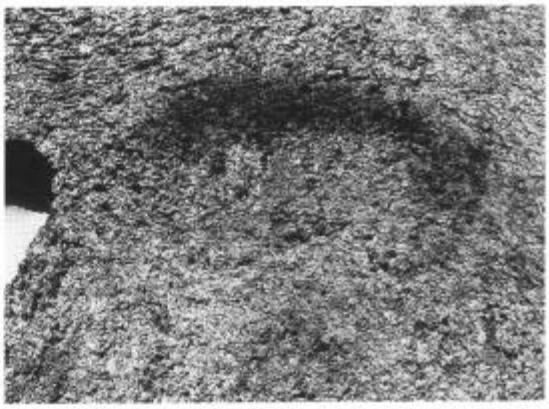
1．ＳＫ539土坑（西→）



2．ＳＫ671土坑（南→）



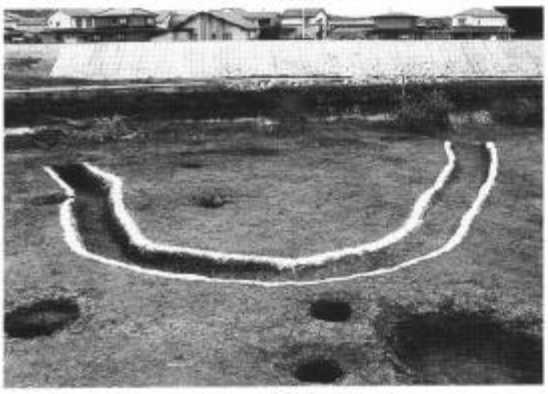
3．ＳＮ96鍛冶炉跡検出状況（北→）



4．ＳＮ96鍛冶炉跡（北→）

5．ＳＤ212溝跡（北→）

6．ＳＤ297溝跡（北→）

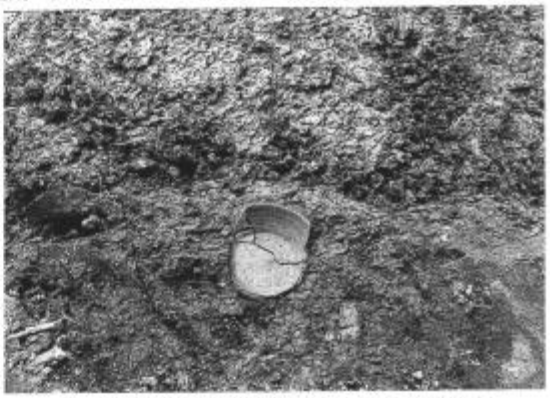


7．ＳＤ311溝跡（西→）

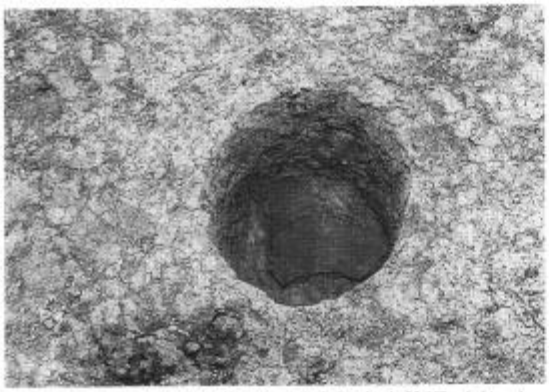
8．ＳＤ531溝跡（西→）

1．ＳＭ343道路跡（南東→）

2．ＳＸ385種別不明遺構物出土状況（南→）



3．ＭＨ44グリッド遺物出土状況（東→）



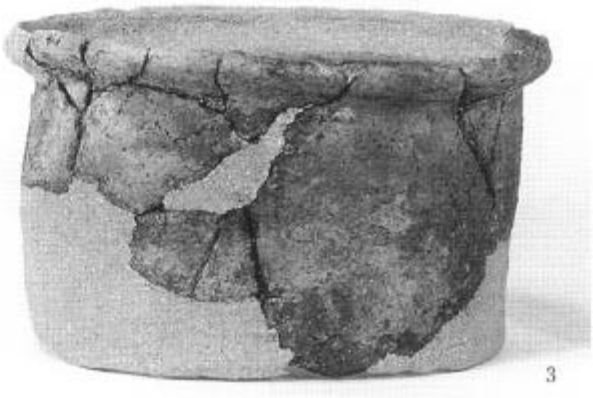
4．ＳＫＰ161柱穴様ピット遺物出土状況（東→）

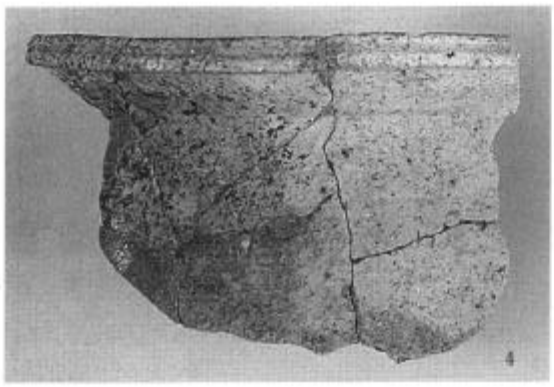
5．ＳＭ343道路跡遺物出土状況（西→）

図版12

1

2


3

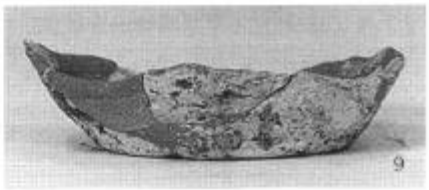

4

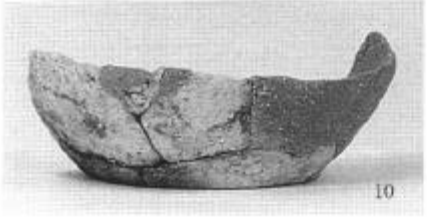
5

6

7

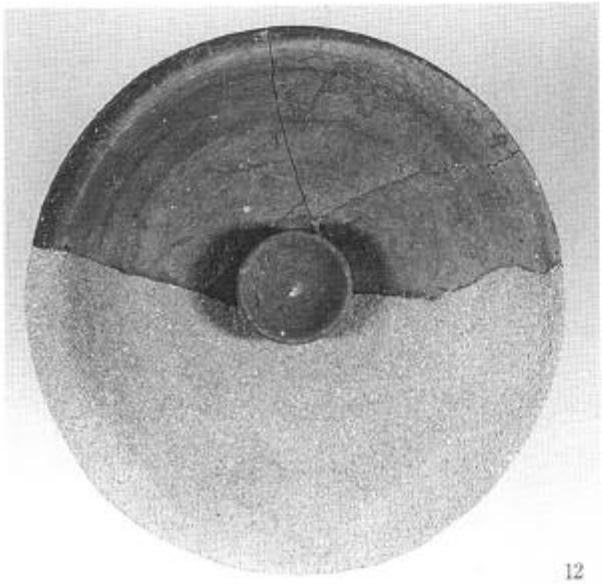
8


9

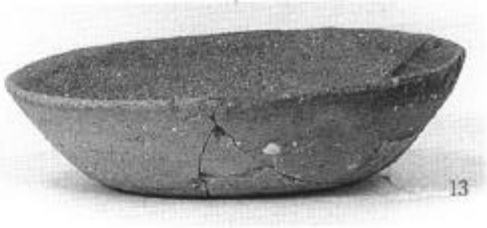

10

11

土師器

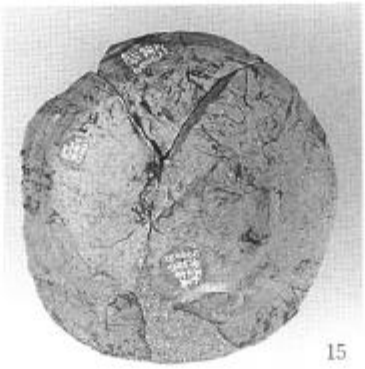


12

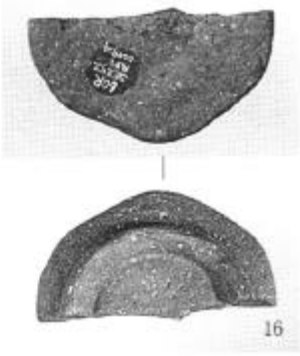


13

14



15

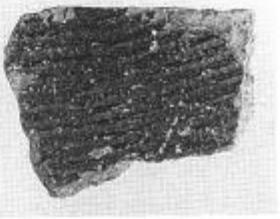


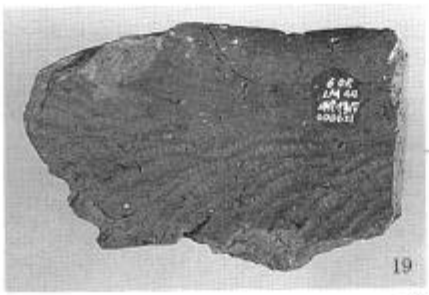
16

17

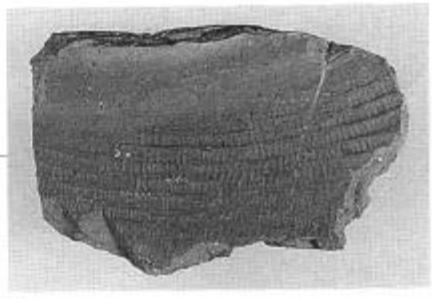
18

20





19



須恵器

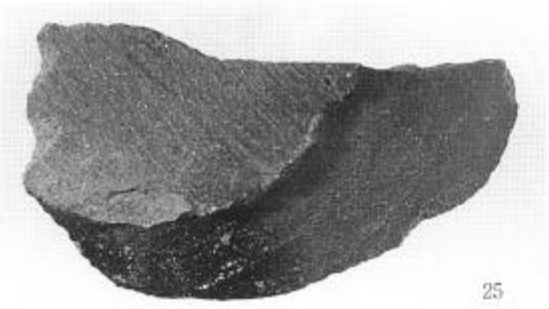
図版14

21

23

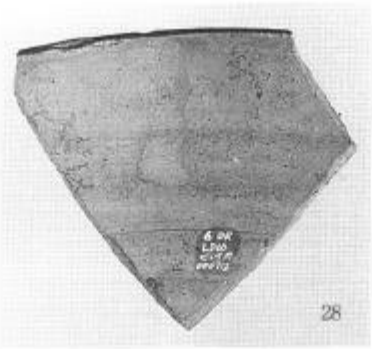
22

24


25

26

27


28

30

29

31

32

33

34

陶磁器(1)

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

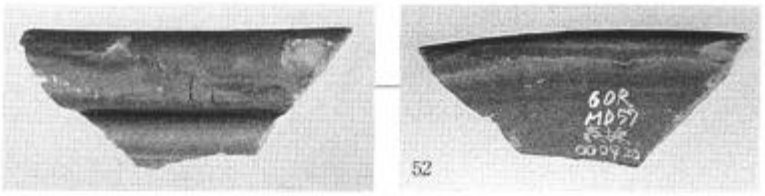
49

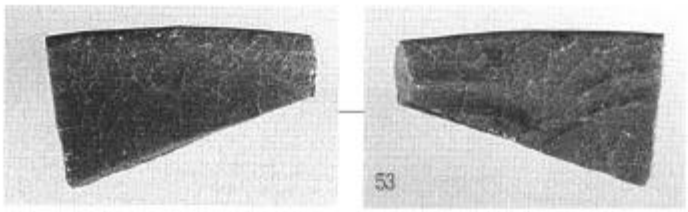
50

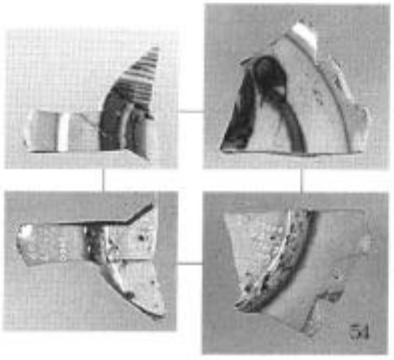
51

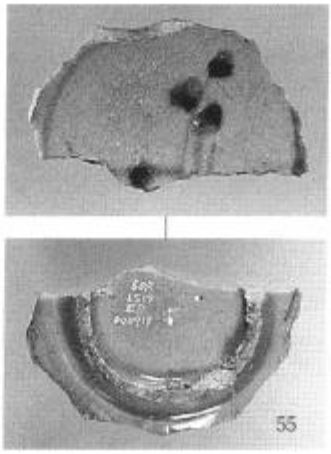
陶磁器(2)

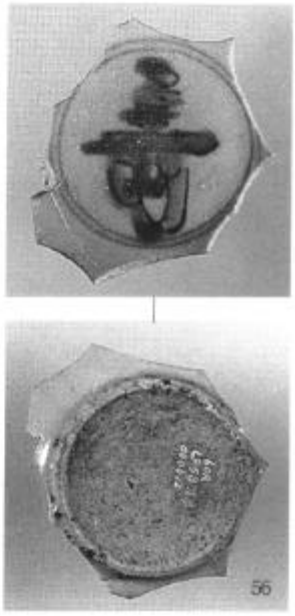
図版16

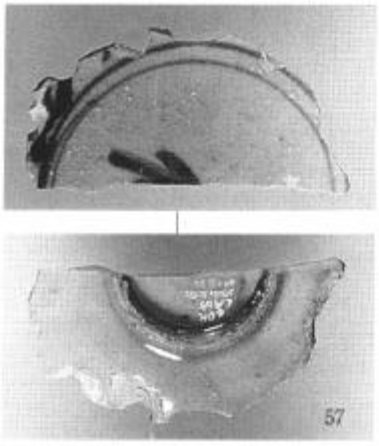


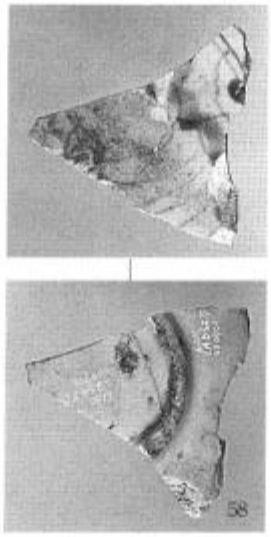


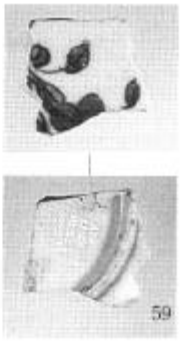


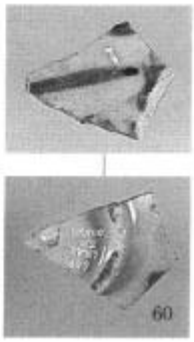




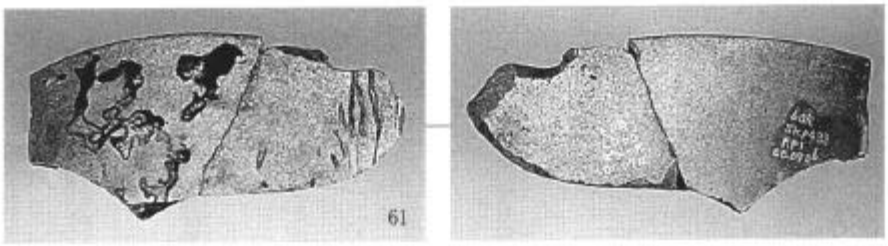


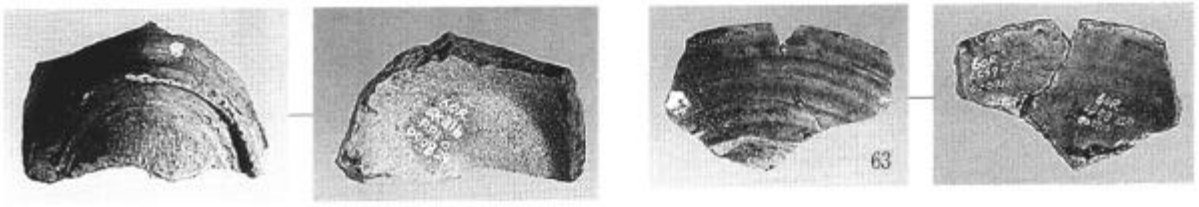




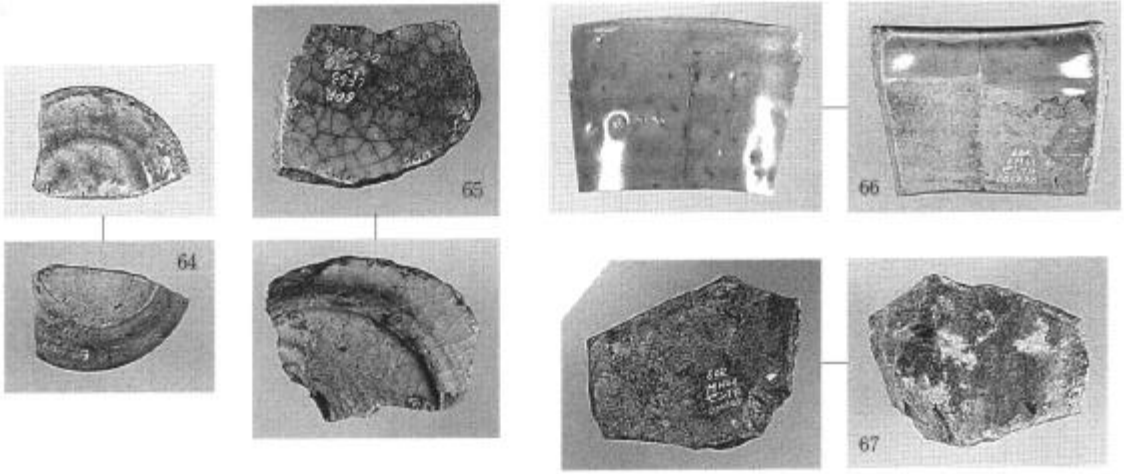


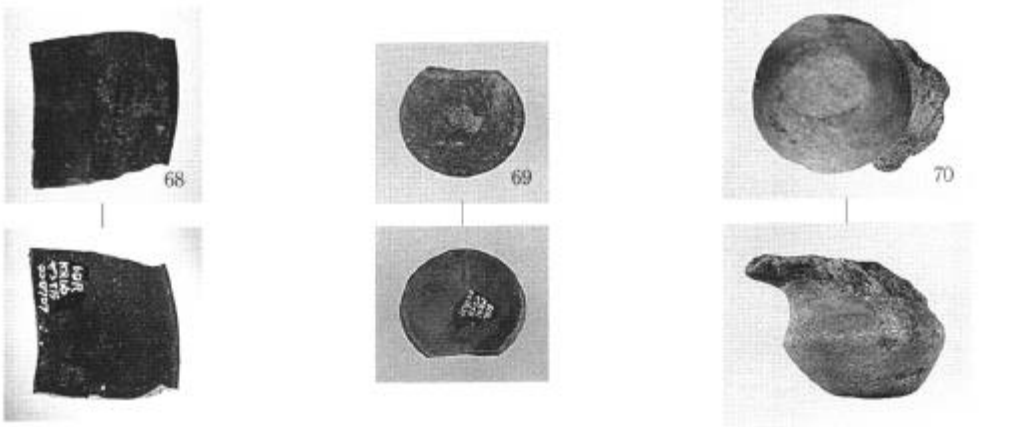
陶磁器(3)





62





陶磁器(4)

図版18

71

73

74

75

76

77

78

72

79

80

81

82

83

84

85

86

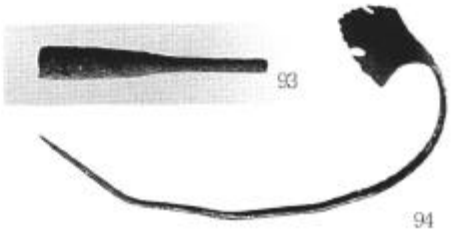
87

88

木製品・金属製品

89

91


93 94

90

92

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

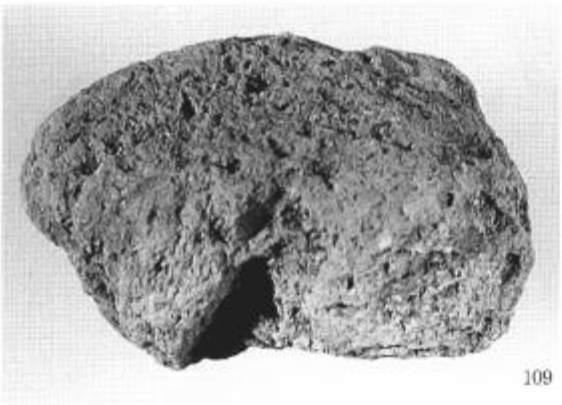
106

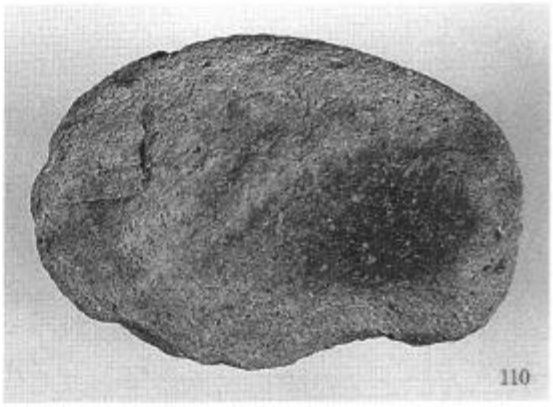
107

108

金属製品・土製品

図版20


109


110

111

112

113

114

115

116

117

石製品

報告書抄録

ふりがな	おおらいせき
書名	大浦遺跡
副書名	芋川災害復旧等関連緊急事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	秋田県文化財調査報告書
シリーズ番号	第336集
編著者名	栗澤光男・鈴木　茂・熊谷　誠・田村瑞保
編集機関	秋田県埋蔵文化財センター
所在地	〒014－0802　秋田県仙北郡仙北町払田字牛嶋20　　TEL0187－69－3331
発行年月日	西暦2002年３月

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 m²	調査原因
おおらいせき 大浦遺跡	あきたけんほんじょうし 秋田県本荘市 おおらあざやはしり 大浦字八走 ばんちほか 145番地外	05205	－	39° 24′ 01″	140° 03′ 35″	20000522 〃 20001013	13,700m²	芋川災害復旧等関連緊急事業に係る事前発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺跡		主な遺物	特記事項
大浦遺跡	散在地 集落跡	平安時代 中世	掘立柱建物跡 柱穴列 柱穴様ピット 竪穴状遺構 井戸跡 土坑 鍛冶炉跡 溝跡 道路跡	7基 3条 594基 1基 17基 12基 1基 10条 1条	土師器・須恵器 陶磁器・曲物 砥石・銭貨 羽口・鉄滓 炭化米ほか	掘立柱建物跡、井戸跡、道路跡等の遺構からなる中世の集落跡で、出土遺物から13世紀～15世紀を中心とする年代であることが明らかとなった。
		近世 他	その他の遺構	2基	陶磁器・銭貨 煙管	

付図　大浦遺跡遺構配置図

※遺構名を付したＳＫＰ柱穴様ピットは、遺物が出土したものに限って記載した。